



平成21年度

学力向上推進事業 実践事例集

○学力向上実践研究推進事業 (平成20年度～22年度)

○夢創造!! チャレンジ推進事業
学力向上推進カウンセラーの活用 (平成21年度)

○全国学力・学習状況調査を活用した
学力向上のための取り組み事例

平成22年 3 月

秋田県教育庁義務教育課

は じ め に

本県では平成20年度から、文部科学省委嘱の「学力向上実践研究推進事業」と県単独事業の「夢創造!! チャレンジ推進事業学力向上推進カウンセラーの活用」を実施しております。今年度は、1 推進地区及び小学校4校、中学校2校を中心として、その実践研究に取り組んで参りました。この二つの事業は、共に「分かる授業」、「魅力ある授業」の実現を目指し、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせ、個性や能力を最大限に伸長させようとするものであります。

県教育委員会といたしましては、この二つの事業の充実を図るため、学力向上推進協議会を設置し、さらに秋田県検証改善委員会を加えて、より実践的な研究と質の高い検証の蓄積に努めて参りました。

平成21年4月に実施された全国学力・学習状況調査で、本県の児童生徒は、3年連続しておおむね良好な状況にあるという結果を得ることができました。この要因としては、「秋田わか杉っ子 学びの十か条」が示すように本県の児童生徒が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けていること、各学校が授業改善の努力と一人一人の児童生徒へのきめ細かな指導を積み重ねていること、家庭や地域の教育力が高く学校に対して協力的であること、大学との協力関係が円滑であること等をあげることができます。

本実践事例集は、今年度の取り組みの中から、地域や学校の実態及び課題を踏まえた特色ある取り組みや特に効果のあった取り組みを「提案」と「成果」という形でまとめております。さらに、検証改善委員会で3年間の全国学力・学習状況調査において成果を上げている学校を訪問し、その学校の「特色ある取り組み事例」も紹介しております。中でも、学校の課題の焦点化や組織的で計画的な取り組みは、多くの学校の参考になるものと考えております。

各学校においては、本実践事例集で示された「提案」や「特色ある取り組み事例」、別に示されている全国学力・学習状況調査報告書「学校改善支援プラン」の提言を踏まえて、今後の学力向上に係る取り組みが一層効果的に推進されることを期待しております。

最後になりますが、今年度、実践研究に取り組まれた推進地区、推進校、活用校、協力校等及び関係各位に深く感謝申し上げます。

平成22年3月

秋田県教育庁

参事（兼）義務教育課長

須藤 幸紀

目 次

はじめに

平成21年度学力向上推進事業

本県の取り組み概要及び状況	1
---------------------	---

学力向上実践研究推進事業

美郷町教育委員会	5
美郷町立千屋小学校	7
美郷町立千畑南小学校	10
美郷町立千畑中学校	13

夢創造 !! チャレンジ推進事業 学力向上推進カウンセラーの活用

大館市立第二中学校	17
秋田市立四ツ小屋小学校	19
大仙市立南外西小学校	21

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取り組み事例

学力向上のための取り組み事例	23
取り組み事例 1 (A 小学校)	24
取り組み事例 2 (B 小学校)	26
取り組み事例 3 (C 小学校)	28
取り組み事例 4 (D 中学校)	30
取り組み事例 5 (E 中学校)	32
取り組み事例 6 (F 中学校)	34

全国学力・学習状況調査分析資料	37
-----------------------	----

平成21年度 学力向上推進事業

本県の取り組み概要及び状況

- 1 推進地区・推進校等一覧
- 2 実施計画
- 3 成果と課題

平成 21 年度学力向上推進事業

本県の取り組み概要及び状況

1 推進地区・推進校等一覧

- (1) 学力向上実践研究推進事業（平成 20 年度～ 22 年度）

推進地区名		推進校名
美 郷 町	小学校 2 校	美郷町立千屋小学校 美郷町立千畑南小学校
	中学校 1 校	美郷町立千畑中学校

- (2) 「夢創造!!チャレンジ推進事業」学力向上推進カウンセラーの活用校（平成 21 年度）

市町村名		活用校
大 館 市	中学校 1 校	大館市立第二中学校
秋 田 市	小学校 1 校	秋田市立四ツ小屋小学校
大 仙 市	小学校 1 校	大仙市立南外西小学校

2 平成 21 年度の実施計画について

- (1) 研究のねらいと課題

＜学力向上実践研究推進事業＞

① ねらい

県教育委員会との連携・協力の下、地域の実情や課題を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うための実践研究を推進し、その成果の普及を図ることにより学力の向上に資する。

② 課題

- ・学習意欲の向上
- ・基礎学力の確実な定着を図る分かる授業の実現
- ・活用する力を伸ばす授業の創造
- ・理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導の充実（理解や習熟の程度の高い児童生徒への効果的な手立ての工夫や発展的な学習の在り方を含む）
- ・校種間の連携に基づいた授業の充実

＜「夢創造!!チャレンジ推進事業」学力向上推進カウンセラーの活用＞

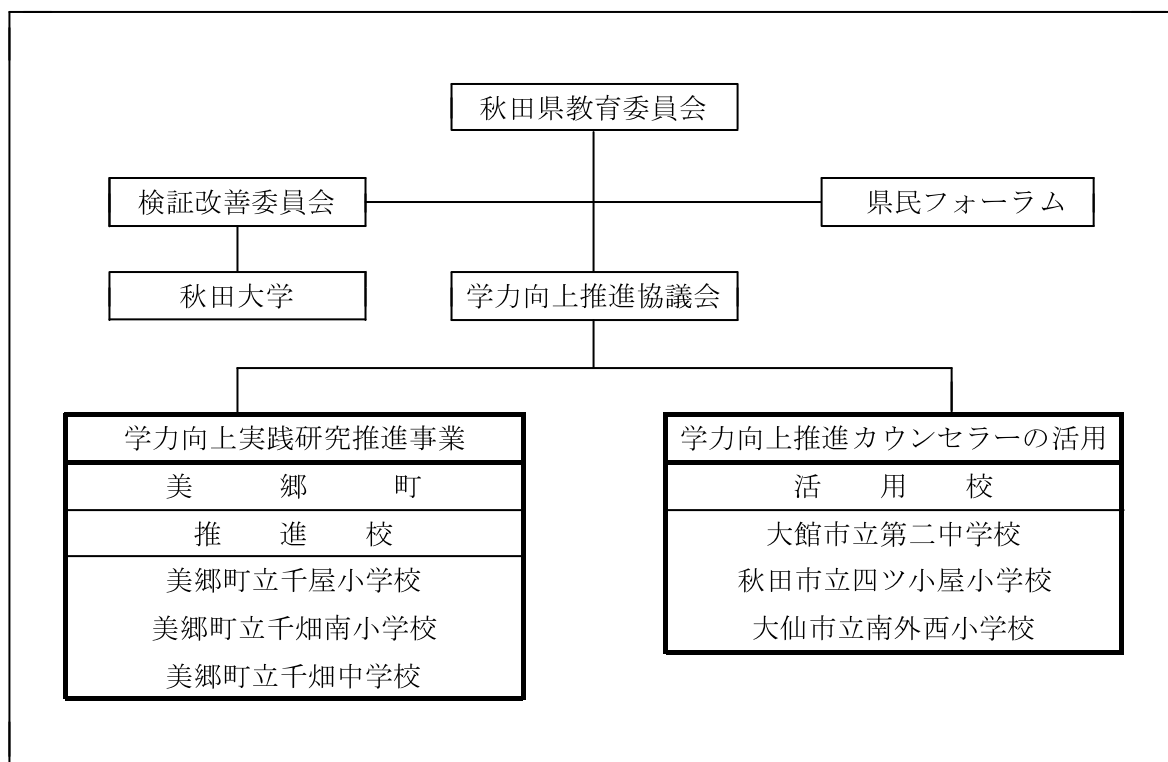
① ねらい

大学教員を学力向上推進カウンセラーとして活用し、課題分析・解決等を目指した研修会や授業研究会を実施することにより、学校教育の課題解決に資する。

② 課題

- ・大学と連携した研究の在り方
- ・教師の授業力の向上
- ・教科等を焦点化した授業改善

(2) 実施体制



3 平成21年度の成果と課題

(1) 成果

- ① 研究内容の焦点化，具体化によって特色ある研究が推進された。

	学 校 名	主 な 特 色
推 進 校	美郷町立千屋小学校	・ 言語活動を充実させ，他とかかわることで学びが深まる授業を展開するための工夫 ・ 思考力・判断力・表現力等の育成を図る単元構成の工夫など，分かる授業・できる授業の推進
	美郷町立千畑南小学校	・ 子ども同士のかかわり合いを確かな「学び」につなげる工夫，必要な知識や技能を習得させるための工夫，活用する力を高めるための授業改善等
	美郷町立千畑中学校	・ 各教科で1時間（1単元）の学習過程に生徒の言語活動を充実させる場面を位置付け，活用する力や思考力・判断力・表現力等の向上を目指した実践等

	学 校 名	主 な 特 色
活用校	大館市立第二中学校	・教科指導力の向上と指導方法の工夫改善等
	秋田市立四ツ小屋小学校	・国語科における読み取る力を高める工夫等
	大仙市立南外西小学校	・「書く・話す・発表する」力をはぐくむための授業改善等

- ② 推進校・活用校等では、取り組みの成果が現れ、県学習状況調査等によって児童生徒の学力に向上が見られた。また、学習意欲や学習習慣等が望ましい状況に変化してきている。
- ③ 「学力向上実践研究推進事業」，「夢創造!! チャレンジ推進事業 学力向上推進カウンセラーの活用」の二事業の連携を図るため、学力向上推進協議会を設置した。他の事業と実践研究の在り方を検討するなどネットワークを広げることができ、事業の充実を図ることができた。
- ④ 秋田大学の教員との連携により、大学のもつ理論的・専門的見地から指導していただき、研究の方向性や検証方法等を明確にし、事業をより一層推し進めることができた。
- ⑤ 「平成20年度学力向上推進事業 実践事例集」や秋田県検証改善委員会による「学校改善支援プラン（H19・20）」により、特に「活用」に関する授業改善が進んだ。
- ⑥ 推進校の自主公開、各教育事務所単位での成果発表会での発表により、成果の普及に努めた。

(2) 課題

- ① 県学習状況調査質問紙の「勉強が好きだ、分かる」などの回答結果から、小学校から中学校にかけて学習意欲が低下する傾向は依然として続いている。学習方法等について、小・中の連携を強めていく必要があると考える。
- ② 改善状況の検証の仕方について、一層検討していく必要がある。全国学力・学習状況調査や県の学習状況調査を活用することはもちろん、取り組みに適した検証方法を考えていきたい。
- ③ 「活用」にかかわる力に関しては、伝えたいことを条件に即して書くことや、事実や方法、理由等を説明したり書いたりする力が十分ではない。学校訪問等を通して課題や授業研究会の在り方を含めた授業改善を推進する必要がある。

「学力向上実践研究推進事業」

美郷町教育委員会

美郷町立千屋小学校

美郷町立千畑南小学校

美郷町立千畑中学校

研究主題

学びの力を身に付け、豊かに生きる千畑の子に

美郷町教育委員会 教育長 後松 順之助

I 推進地区の概要

推進校数	小学校	2校	中学校	1校	合 計	3校
推進校名	千屋小学校, 千畑南小学校 千畑中学校					

II 研究の概要

1 研究のねらい

- ・本町は合併前の旧町村ごとに三つの地区（六郷・仙南・千畑）から形成されているが、本推進地区の研究推進を核として町内各校の連帯感を一層深めたい。
- ・児童生徒が学習に自信をもつことで町が目指す「人づくり」につなげたい。
- ・研究推進を通して教職員の職能意識の維持向上に努め、教職員にとって働きがいのある町を目指したい。

2 取り組んだ課題

(1) 小・中の連携

本町では、数年前から授業を核とした小・中の交流がなされており、今回の研究推進事業においても小・中が連携した実践研究がなされている。

そこで、各推進校共通の取り組みとして次の三つをあげている。

- ・国語力の育成
- ・理数教育の改善・充実
- ・総合的な学習の時間における環境教育（主として水環境）

国語力と理数教育については、全国学力・学習状況調査結果の分析から、B問題で見られた活用に関する学力の改善が課題ととらえている。

総合的な学習の時間については、当町が誇る、恵まれた「水環境」を計画的・継続的に学習していこうとするものである。

(2) 保護者・地域に開かれた研究

実践研究推進にかかわる情報を町内各校はもとより保護者・町民に提供し、積極的に授業参観や意見を聞く場を設けることによって研究成果の把握や検証をより確かなものとする。

学校教育の推進状況に対する町民の満足度

年度	満足・おおむね満足
19年度	73.5 %
21年度	87.0 %

21年度「町づくりアンケート」より

平成21年度 美郷町全国学力・学習状況調査の分析

～美郷町教育委員会・美郷町校長会～

全国学力・学習状況調査において3年連続で秋田県の小・中学生の学力は全国トップレベルという結果が出ました。美郷町の小・中学生の結果概況についてお知らせします。

1. 学力調査の結果概況

小・中学校ともに、全国平均正答率を上回り
無解答率は下回っています。

(1) 小学校では、国語の領域別平均正答率において、全国の結果を上回っていますが、県との比較では「書くこと」「読むこと」「言語事項」がわずかに下回っています。算数は、県や全国の平均正答率を上回っています。(資料-1)

(2) 中学校では、国語、数学ともにすべての領域において県や全国の平均正答率を上回っており、おおむね良好です。特に数学の「図形」および「数量関係」の領域では、県の平均正答率を2～3ポイント上回っています。(資料-1)

※国語の領域とは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」

※算数の領域とは、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

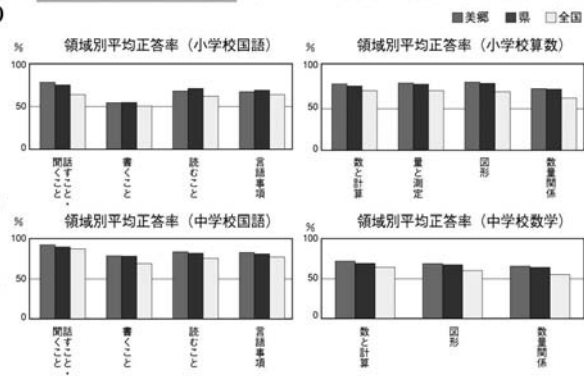
※数学の領域とは、「数と計算」「図形」「数量関係」

◎学力の底上げが見られ、児童生徒はねばり強く問題に取り組んでいます。

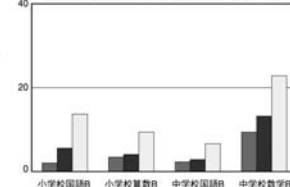
・無解答率が県や全国と比べて低い。(資料-2)

・要点や考えを記述する問題でも、県や全国と比べて平均正答率が高い。(資料-3)

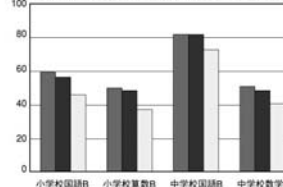
資料-1 領域別平均正答率 (グラフはA問題・B問題の平均正答率の平均値)



資料-2 記述式問題の無解答率



資料-3 記述式問題の平均正答率



町広報掲載例 21年度全国学力学習状況調査

Ⅲ 特徴的な取り組みの状況

1 学校・行政連携組織「美郷町教育を考える会」の発足（平成21年5月8日）

(1) 目的

- ① 将来の美郷町を担う町民として、望ましい資質をはぐくむために、美郷町の子どもたちをどう育てるか、学校教育はどうあるべきかを学校・行政が連携して考える。
- ② 美郷町の未来の創造のために、各学校・行政の教職員同士が互いに語り合い、知恵を出し合って、ここ美郷町でこそ可能な独自の教育活動を模索し、提案し、実践・評価する。

(2) 事業の実施

- ① 学校教育の現状と課題（行政）
- ② 各校の教育活動紹介（各校）
- ③ 「学力向上実践研究推進事業」の平成20年度における実践校の研究発表
- ④ 質疑応答、情報交換会の実施

2 自主公開研究会（平成21年10月28日、千畑南小学校）

(1) ねらい

参観者に見てほしい点をあらかじめ提示し、授業参観後の研究会の話し合いの中心に据え、研究推進の検証をする。

(2) 研究の重点

- ① 子どもたち同士のかかわり合いを確かな「学び」につなげる工夫
- ② 必要な知識や技能を習得させるための工夫
- ③ 活用する力を高める工夫
- ④ 研修体制の整備

Ⅳ 最終年度の取り組みに向けて

平成22年度の取り組み予定

- (1) 自主公開予定（平成22年11月5日、千屋小学校・千畑南小学校・千畑中学校の3校）
町内各校教職員は全員参加予定
- (2) 全町小・中連携研修会（3か年にわたる実践研究の成果と課題を考える）
- (3) 保護者・地域への情報発信・提供
- (4) 地域による評価の充実

研究主題

学ぶ喜びを知り、進んで探究する若松の子に

美郷町立千屋小学校 校長 栗林 守

I 学校の概要 (平成21年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計	教員数
学級数	1	1	2	1	2	1	1	9	17
児童数	37	39	46	38	45	34	3	242	
	学校のホームページアドレス				http://www.obako.or.jp/matunami/				

II 取り組んだ課題

- (1) 児童一人一人の考えを生かし、互いにかかわり合いながら学びを深めるための指導方法と授業構成の工夫
- (2) 学ぶ喜びを感じ、自ら進んで学習に取り組む児童を育成するための手立ての工夫
- (3) 基本的な学習基盤を確立するための手立ての工夫と家庭連携の在り方

III 研究のポイント

1 中心となる取り組み

◇分かる授業・できる授業の推進

- (1) 言語活動を充実させ、他とかかわることで学びが深まる授業を展開するための工夫

- ① 協同的な学習のよさを実感させるために、友達とかかわる場面を意図的に設定する。
- ② 付箋紙^{せん}を利用するなどして、自分の考えや立場を明確にして話し合いに参加させる。
- ③ ペアや小グループ(3～4人)、学級全体など、発達の段階や学習場面に応じた話し合いの形態を工夫する。

<授業の具体例>

6年生 国語

単元名 「平和のとりでを築く」ためにできること

付箋紙に書かれた互いの考えを読み取り、共有したり整理したりして、友達の考えに関連させながら自分の考えを説明する。



6年国語 付箋紙による意見の交流

- (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図る単元構成の工夫

- ① 前時との違いや解決のための見通しを大切にし、既習の内容を意識的に活用させる。
- ② 発展学習として、既習の内容を生かして取り組むことができる内容を取り入れる。
- ③ 他とかかわりから得たアイデアを基に課題解決に当たすることで、情報を効果的に活用させる。

<授業の具体例>

2年生 算数

単元名 たし算のしかたを考えよう～たし算の筆算～

お客さんとお店屋さんに分かれて買い物ゲームを行い、100円で買い物することができる組合せを考える。



2年算数 買い物ゲーム

2 成果及び改善の状況

年間を通して次の2点をテーマにして授業改善に努め、1学級2回の研究授業により課題を明らかにし、日々の授業に生かすことができた。

- ・言語活動の充実を図り、小集団を利用して一人一人の児童が自分の考えを表現する授業
- ・既習内容や身に付けた知識・技能を生かすことができる学習場面を意図的に設定し、活用を実感することができる授業

昨年度末（2月）と11月に実施したアンケート調査から次のような結果を得た。他とかかわりながら活用を意識した学習を積み重ねることにより、児童の理解は深まったと言える。（資料1）

教師を対象にしたアンケートでは、かかわり合う目的を明確にしたことで、児童のかかわりがより活発になったと答えている。具体的には、「①分からないところを教えてもらうために聞く（分かるように教えてあげる）」「②他の方法がないか探すためにかかわる」などである。（資料2）

6年生を対象にして、平成21年度全国学力・学習状況調査の類似問題による検証を行ったところ、次のような結果を得た。日々の積み重ねにより、児童の思考する力や表現する力は、確実に伸びていると考えられる。また、無解答率の減少からも、児童が意欲をもって粘り強く取り組んでいる様子がうかがわれる。（資料3）

「生活や学習についてのアンケート」

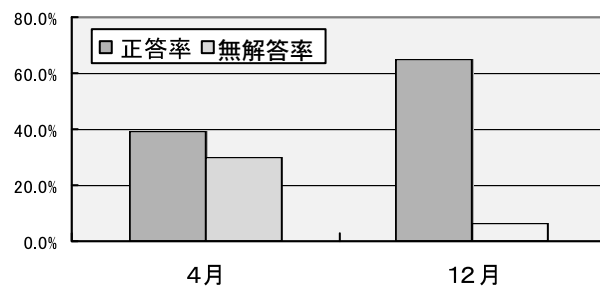
項 目	H21.2	H21.11
普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	88.1%	93.0%
国語の授業の内容はよく分かる。	86.0%	93.0%
算数の授業の内容はよく分かる。	88.6%	92.1%

資料1 児童の実態

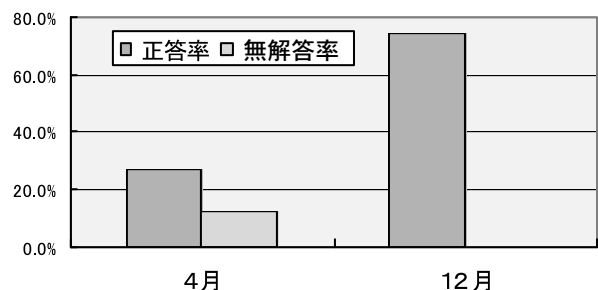


資料2 5年算数 ペアで考えを説明

資料3 全国学力・学習状況調査類似問題による比較（6年生）



<算数> 示された長方形の板にカードを敷き詰められないと判断する方法を記述する問題



<国語> 自分の立場や意図を明確にして話し合う（自分の考えを書く）問題

IV 研究の具体

- 1 分かる授業・できる授業の推進（「中心となる取り組み」参照）
- 2 学習意欲の向上と主体的な学習活動につながる授業改善

(1) パターン化

研究1年目から取り組んでいる基本的な授業のスタイルを継続して実践することにより、児童は今、自分がすべきことが分かり、意欲をもって学習に取り組むことができた。パターン化の具体は次のとおりである。

- ① 本時の課題の明確化（「学習問題」から「本時の課題」の決定）
- ② 課題解決の見通しと自力解決の場の保障
- ③ 目的を明らかにした児童相互のかかわり合いの場の保障
- ④ 集団での課題解決
- ⑤ 本時の課題に対応させた本時のまとめ
- ⑥ 練習問題の実施と学びの振り返り

(2) ノートづくり

発達の段階に応じたノートづくりの指導を徹底したことにより、自らの力で課題を解決しようとする姿勢が身に付いてきた。(資料4)

三角形の面積の求め方

底辺 × 高さ ÷ 2

三角形の面積の公式を考よう。

図公式

底辺 × 高さ ÷ 2

三角形を平行四辺形にして答えを出す。

でも求めたいのは三角形の面積だから、÷2をする。

底辺 × 高さのままだと平行四辺形の面積になる。三角形は平行四辺形の半分のことなので÷2をする。

三角形の面積の公式

底辺 × 高さ ÷ 2

＜ノート指導の実際＞

- ・自分の考えを言葉や図、式、吹き出し、矢印などを使って書かせる
- ・友達のよさを見付けさせ、メモを取らせる
- ・課題に対応したまとめや分かったことを書かせる
(学年に応じて、「教師とともに」から「自分の言葉で」へ)
- ・次の時間に生かすことができるようにする

8 × 4 ÷ 2 = 16

8 × 4 ÷ 2

三角形の面積の公式

底辺 × 高さ ÷ 2

式 8 × 4 ÷ 2 = 16

A 6 cm

三角形の面積の公式は最後に÷2をすることが分かりました。8 × 2 × 2 × 8はすでに半分にされているから÷2をせずに7もいっていいことが分かりました。

資料4
5年算数ノート指導の実際

3 学習スキルと学習習慣の定着

研究1年目に引き続き、掲示物や資料、また、保護者の協力も得ながら、学年に応じた学習スキル及び学習習慣の確実な定着に向けて、継続して取り組んだ。

V 課題とその改善

- (1) パターン化された授業展開を時間内に完結できない場面があった。児童の「分かった・できた」を積み重ねていくためには、ねらいに即して、学習活動の配分を考えた授業展開を工夫する必要がある。
- (2) かかわり合いの場が意見交換や発表で終わってしまうことがあった。かかわり合うことで学びが深まるためには、友達の考えを聞いて判断し、よりよい考えを導き出す「聞く力・友達の考えを受けとめる力」を育成していく必要がある。
- (3) 授業研究を中心にして授業改善に取り組んできたが、効果的な授業研究会の在り方について課題が見られた。その授業における児童のゴールの姿を明確にして、焦点化された話合いの中で課題を見付け、次に生かすことができる授業研究会を積み重ねていく必要がある。

VI 研究実践を振り返って

児童一人一人が「分かる」「できる」を実感することが、意欲と学力の向上に大きく影響していることが分かった。それらを実感させるためのキーワードが協同的な学びである「かかわり合い」と考える。「表現する力」の育成とともに、「聞く力・友達の考えを受けとめる力」の育成を図り、児童相互の対話で進める授業を構築していきたい。

研究主題

たがいに高め合う子どもの育成 ～活用する力を伸ばすための指導の工夫～

美郷町立千畑南小学校 校長 高山 泰文

I 学校の概要 (平成21年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	12
児童数	29	27	21	24	17	34	0	152	
	学校のホームページアドレス				http://www.obako.or.jp/wanpaku/				

II 取り組んだ課題

- (1) 確かな学びにつながる「学び合い」を生かした授業構成の工夫
- (2) 習得した知識や技能を様々な場面で活用させる学習活動の工夫

III 研究のポイント

1 中心となる取り組み

◎子ども同士のかかわり合いを確かな「学び」につなげる工夫

(1) 確かな学びにつながる「学び合い」を生かした授業構成の工夫

- ① 「自力解決の時間→小集団での話し合いの時間→全体での練り合いの時間」の各段階での取り組みの工夫
- ② 話し合いの形態の工夫
 - ・意見交換する相手を自由に選び意見の交流（自由交流と名付ける。）
 - ・学習班の中での意見の交流
- ③ グループでの話し合いのまとめや全体の練り合いのためのホワイトボードの活用



小集団での話し合いの様子

(2) 学年に応じた「聞く」「話す」「かく」「音読」の学習スキルの明確化と定着の指導

① 6年間の系統性をもたせた学団別学習スキル表の作成（資料1）

(資料1) 学団別学習スキル表 ※一部抜粋			
	低 学 年	中 学 年	高 学 年
聞 く ス キ ル	○話をきちんと聞く。 ・話す人を見て聞く。 ・うなずきながら聞く。 ・話が終わったら、質問したり感想を言ったりする。	○自分の考えと比べながら聞く。 ・話す人に目と心を向けて聞く。 ・話す人に反応しながら聞く。 ・不明な点を聞き返しながら聞く。	○話し手の意図をつかみながら聞く。 ・自分の考えや経験と比べながら聞く。 ・大事な言葉をメモしながら聞く。
話 す ス キ	○相手に伝わるようにはっきり話す。 ・体の向きや声の大きさに気を付けて話す。 ・正しい口形で話す。 ・最後までしっかり話す。	○自分の考えを整理して話す。 ・結論を言ってから、理由を話す。 ・つなぎ言葉を使って話す。 ○相手に分かるように話す。 ・図や具体物を使って話す。	○根拠を明確にして話す。 ・情報、気持ち、意見を順序立てて話す。 ・まとめる言葉を使って話す。 ・根拠となる事実を基に話す。 ○相手に意図がよく伝わるように話す。

②「学習スキルカード」による年3回の自己評価の実施

- ・学団別学習スキル表を基に各学年の学習スキル表を作成する。
- ・年3回（8月、10月、2月）学習スキル強化週間を設け、全校で学習スキルの定着に取り組む。
- ・強化週間の最後に、「学習スキルカード」で児童に自己評価させる。
- ・学年ごとに集計し、学級担任は学級の児童の傾向をつかみ、指導に役立てる。

2 成果及び改善の状況

(1) 確かな学びにつながる「学び合い」を生かした授業構成の工夫（資料2）

- 授業の冒頭でフラッシュカードを使って既習事項を振り返らせたり、児童が自主的に利用できるようにヒントカードを用意したりすることで、自力解決の時間内に自分の考えがもてるようになり、自分の考えをもって話し合いに臨むことができるようになった。
- 話し合いの形態を、ペアや小集団にしたり自由交流や学習班での交流にしたりと工夫した。小集団の中では、気軽に自分の考えを言い合えるようになってきた。
- 全体での練り合いの場合は、式や図だけを提示してその意味を考えさせたり、友達の考えを読み取らせたりする場面を意図的に設定することで、受け身になることなく、主体的にその考えを理解し、生かしてみようとする態度が身に付いてきた。
- 話し合い活動を積極的に行うことで、自分の考えを友達に話す授業が楽しいという児童が多くなった。また、学年が進むにつれて交流の中で友達の考えのよさに気付き、自分に取り入れようとする児童が増えてきた。

（資料2） 教師による児童の実態アンケートの結果

	10月 平均	12月 平均
ほとんど……5 だいたい……4 半分程度……3 ちょっと少ない……2 すくない……1		
子どもたちは、授業を楽しみにしている。	3. 89	3. 9
子どもたちは、授業内容をよく理解している。	3. 78	3. 8
子どもたちは、しっかり話を聞こうとしている。	3. 22	3. 45
子どもたちは、意欲的に発表している。	3. 34	3. 36
子どもたちは、意欲的に学び合いをしている。	3. 89	3. 91
子どもたちは、既習事項を活用して問題を解こうとする態度が身に付いている。	3. 56	3. 6
子どもたちに学習習慣が定着している。	3. 59	3. 8
子どもたちの学び合いが活性化するように工夫している。	3. 5	3. 7
家庭学習の仕方を具体的に指導している。	3. 89	4. 4

(2) 学年に応じた「聞く」「話す」「かく」「音読」の学習スキルの明確化と定着の指導（資料3）

（資料3） 学年別児童の学習スキル集計表例

6年生の学習スキルカード				
とてもよくできた…3 もうすこし……1		よくできた……2 もつとがんばろう…0	8/28 平均	10/26 平均
聞く	1	話し手を目を見て、心を向けて聞く。	2. 24	2. 39
	2	うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聞く。	1. 79	2. 15
	3	自分の考えや経験と 比べながら 聞く。	1. 88	2
話す	4	みんなに聞こえる大きさの声で 話す。	2. 03	2. 21
	5	相手の考えを引用したり、まとめたりして話す。	1. 64	1. 88
	6	考えを言ってから、理由を話す。	1. 70	2. 18

*一部抜粋

- 学習スキルカードを用いて自己評価をさせることで取り組みに対する意識の向上を図ることができた。
- 8月と10月の2回の集計を比べると、ほとんどの項目でポイントの向上がみられた。特に、課題だった「話をしっかり聞く」という点は、全部の学年で改善がみられた。

IV 研究の具体

1 具体的な研究内容

- (1) 子ども同士のかかわり合いを確かな「学び」につなげる工夫（「中心となる取り組み」参照）
 - ① 学年に応じた効果的な「学び合い」の場の設定とさせ方の工夫
 - ② 学年に応じた「聞く」「話す」「かく」「音読」の学習スキルの明確化と定着の指導
- (2) 必要な知識や技能を習得させるための工夫
 - ① 教師自作のスキルアップテストの実施と朝自習の取り組みの工夫
 - ② ノート指導の徹底
 - ③ 家庭学習の継続と充実のための指導の工夫（学年×10分間）
- (3) 活用する力を高めるための授業改善
 - ① 課題解決型の授業構成及び自力解決の場と時間の保障
 - ② 必要な情報を取捨選択する学習問題や教材の開発と工夫

2 成果と検証

- (1) 必要な知識や技能を習得させるための工夫
 - ① スキルアップテストでは、合格点を90点に定め、合格するまで何度も再テストを行い確実に定着するように取り組ませている。また、朝自習の課題では、県の算数単元評価問題で

定着の悪かった問題や学習状況調査で正答率の低かった国語の「読むこと」の問題の類似問題を出すなど、工夫した取り組みをした。その結果、市販のテストや県の学習状況調査において成果がみられた。(資料4)

- ② ノートづくりの取り組みを工夫し、自分の考えばかりでなく、参考にしたい友達の考えや学習の大切なポイント等を書き込んだりと学習の蓄積に役立つノートづくりができるようになってきた。(資料5)

(資料4) 県の学習状況調査の結果の経年比較

1 県の学習状況調査国語の「読むこと」の経年比較の結果

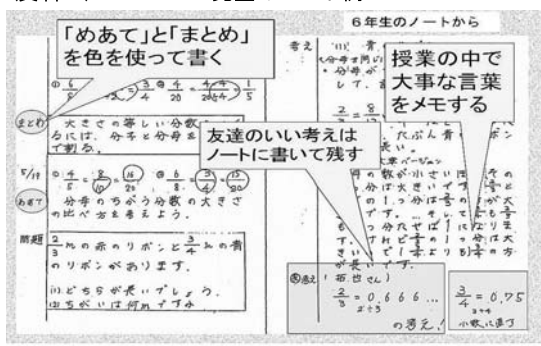
《正答率の経年比較の結果》

平成20年度		平成21年度	
4年生	55.9%	5年生	64.7%
5年生	52.2%	6年生	57.1%

2 昨年度の正答率が低かった問題の追跡調査の結果

	平成20年度	平成21年度
4年国語 物語「読むこと」	0% (4年次)	41.2% (5年次)
5年算数 式の読み取り	29.4% (5年次)	65.6% (6年次)

(資料5) 児童のノート例

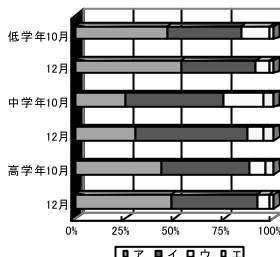


- ③ 家庭学習の習慣は、学年が進むほど定着しており、自主的に行っている児童が増えてきた。60分を超える児童が、中学年でも見られるようになってきたのはその一例である。各担任の取り組みが、児童の学習への主体性をはぐくんできた成果と考えられる。(資料6)

(資料6) 児童の家庭学習実態調査の結果

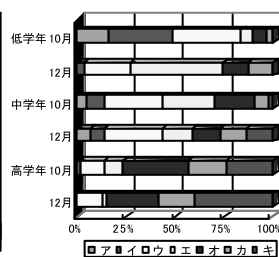
4 宿題や一人勉強を、うちの人から言われる前にやっていますか？

項目	低学年		中学年		高学年	
	10%	12%	10%	12%	10%	12%
ア いつも言われる前にやる	26	30	11	12	22	23
イ 時々言われてからやる	21	21	22	22	23	21
ウ 言われてからやることが多い	8	4	9	3	4	3
エ 毎日言われてからやる	1	1	2	2	2	1



5 宿題や一人勉強を毎日どのくらいの時間やりますか？

項目	低学年		中学年		高学年	
	10%	12%	10%	12%	10%	12%
ア 10分くらい	9	0	2	3	0	0
イ 20分くらい	18	2	4	3	1	0
ウ 30分くらい	20	13	13	13	6	6
エ 40分くらい	3	26	12	7	5	1
オ 50分くらい	4	7	9	6	17	13
カ 60分くらい	2	7	3	6	10	9
キ 60分以上	0	0	1	6	12	19



(2) 活用する力を高めるための授業改善

- ① 課題解決型の授業を行い、既習事項の活用を積極的に行わせることで自力解決の場面ですまずく児童が少なくなり、図や数直線などを使って答えを導こうとする児童が増えてきた。
- ② 県の算数単元評価問題で定着が難しかった問題を学習問題に取り上げた授業の構成、既習事項の活用と生活への適用力、PISA型読解力を意識した単元構成の工夫、研究授業を通して「活用する力」を付けるための指導の工夫などについて研修を深めることができた。

V 課題とその改善

- (1) 児童に身に付けさせたい力の見取りが曖昧になってしまったので、検証方法をもう一度見直し、児童の変容を的確に見取っていく。
- (2) さらに、文章や資料を読み取る力を一層身に付けさせるために、全国学力・学習状況調査や県の学習状況調査で比較分析を行い、問題点を明らかにして授業改善を行っていく。
- (3) 「学び合い」を質の高い話し合いにするために、有効な話し合いの進め方や形態等について研修を深め、来年度はその実践を行っていく。

VI 研究実践を振り返って

今年度は、全教職員が自主公開研究会という一つの目的に向かって、ベクトルをそろえ研究に取り組むことができた。その結果、学力を支える子どもたちの学習習慣や学習に対する意欲の向上を図ることができた。来年度は、公開を控え、新学習指導要領の先行実践を発信していかなければならない役目もあり、今以上に全教職員で共通理解を図りながら研究を進めていきたい。

研究主題

生きる力を支える基礎・基本を養い，学びが深まる指導
—生徒がのりだし，考え，ねり合う授業の工夫—

美郷町立千畑中学校 校長 松田 篤

I 学校の概要（平成21年5月1日現在）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援学級	計	教員数
学級数	2	2	2				0	6	1 7
生徒数	7 0	6 5	7 6				0	2 1 1	
	学校のホームページアドレス				http://www.obako.or.jp/mahirune/				

II 取り組んだ課題

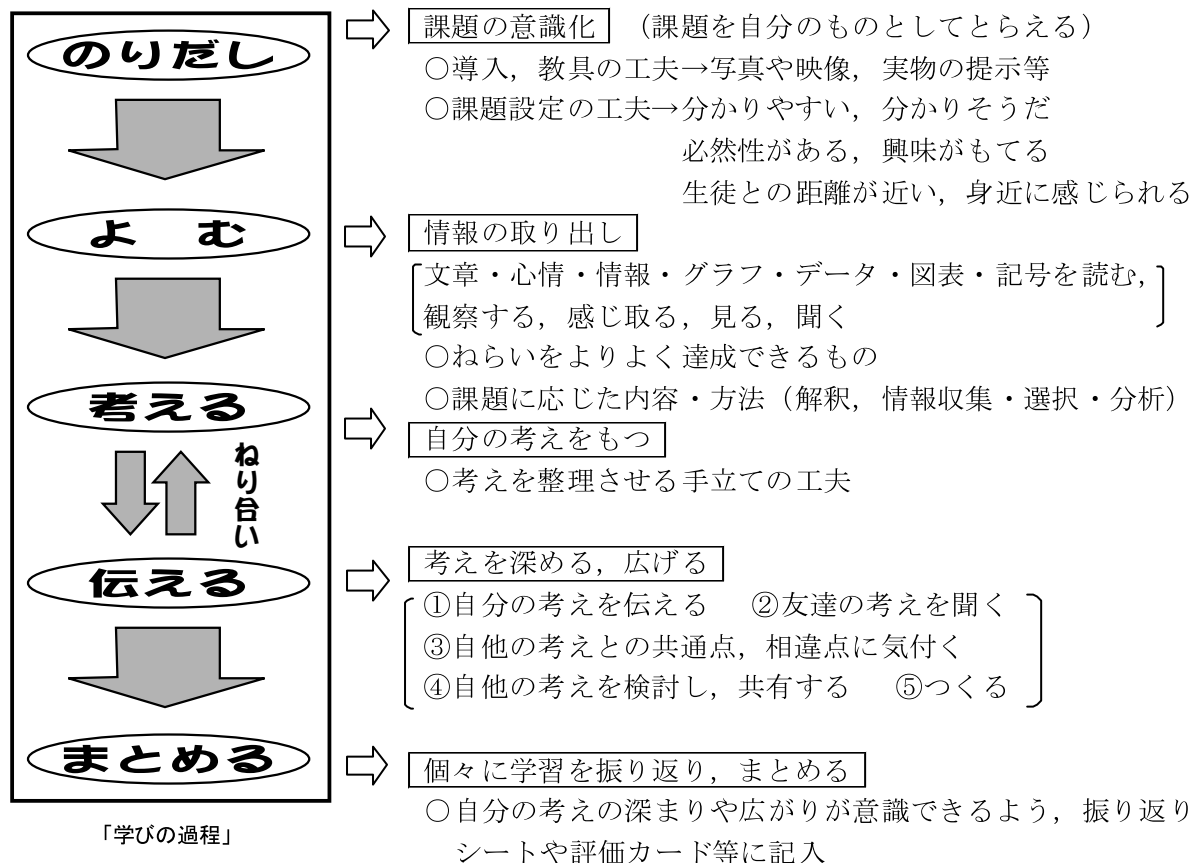
- (1) 学ぶ意欲を高め，基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための指導方法，教材の工夫
- (2) 各教科等における言語活動の充実を通して，活用する力を身に付けさせる単元の開発や指導方法，教材の工夫

III 研究のポイント

1 中心となる取り組み

◎言語活動の充実を基にした学習過程の実践

各教科の1時間（1単元）の学習過程を設定して，生徒の言語活動を充実させることにより，活用する力，思考力，判断力，表現力等を向上させることができるという考えから，本校の「学びの過程」を作成し全教科で取り組んだ。



2 成果及び改善の状況

各教科で魅力ある導入や発問の工夫に取り組んだことにより、生徒は、興味をもって学習に取り組めるようになってきており、1、2年生を対象とした学習状況調査の結果、どちらの学年も半数を超える生徒が「勉強が好きだ」と回答している。また、情報の取り出しや考える時間を保障することによって、生徒がスムーズに学び合いに入り、学び合いを通して主体的に課題解決に取り組む姿が見られるようになってきた。

〈平成21年度全国学力・学習状況調査から〉

質 問 項 目	本校 (%)	全県 (%)
普段の授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っている	85.5	72.3
普段の授業などでは自分の考えを発表する機会を与えられていると思う	89.5	82.6

〈授業参観カードの教師の記述から〉

- 子どもたちが一生懸命考えている姿が印象的だった。
- 動きがあるのに騒然とならず、互いの意見交換や発表がきちんとできていた。
- グループの話し合いを通して考えが変わったり、考えを深めたりしている姿が見られた。

IV 研究の具体

1 具体的な研究内容

(1) 言語活動の充実を基にした学習過程の実践（「中心となる取り組み」参照）

「学びの過程」作成に当たっては生徒の学習意欲を高めることや、主体的に課題解決に取り組む姿を目指した。また、「学びの過程」を実践するに当たっては、全教科でそれぞれの段階における具体的な手立てを考えて実践に取り組み、成果について検証した。

(2) 全教科での実践と研究の共有

全教科で「学びの過程」に沿って授業研究会を実施するとともに、普段の取り組みについても「わたしの実践紹介」として、「研究便り」に載せることで互いの実践を共有した。

また、教師・生徒の授業に対する取り組みの検証や教師の指導力向上をねらいとして教師相互の授業参観期間（スキルアップウィーク）を設定した。期間は6月と12月に約2週間ずつで、授業参観カードに授業者が本時のねらいと視点を記入し、参観者は「学びの過程」や本時の視点に沿って評価や感想、アドバイスなどを記入した。

(3) 学び合いやねり合いが効果的に行われるようにするための取り組み

話しやすい学級の雰囲気や信頼関係の構築、ねらいに応じた形態の工夫を意識して

	のりだし	よむ	考える
国 語	課題設定の工夫 ・「めざすゴール」の明示 ・単元によっては、資料や実物を提示し、他教科との関連を想起させ、関心を高めるよう工夫する。	・生徒が目的、意図をもって文章を読むよう、読む視点を明確に示す。 ・読もうとする文章における読む目的、意図にあったキーワードに着目させる。	・要点をまとめたり 情を考えたりの の構成や特徴を考 の文章を読み比べ いて評価したりす ・自分の意見や考え 時間を確保する。
社 会	導入の工夫 ・書き、矛盾、疑問をもつ導入（よむと共通する場合あり） 導入を生かした課題設定 課題に対する予想の認定 魅力ある教材の関与	・あえてにそった資料を提示する。 （文章を読む、情報を読む、グラフを読む、データを読む、観察する、見る、聞く）	・自分で資料や情報 る、データ等を比 の確保や学習シー
数 学	課題意識を高め、学習意欲を引き出す導入の工夫 ・既習内容の何を扱うかということ	・課題を焦点化する「よみ」の指導 （どのような数学的内容に開示するのか（数学化））	・問題解決の過程を ・結果から「なぜこ たのか」「どうや

「学びの過程」を成立させる手立て（一覧表の一部）

3年 社会（4元名「わたしたちの生活と経済」）		
（ねらい）コンビニエンスストアの経営戦略を考えることを通じて、様々な資料や友達との意見を基に経営の工夫を多面的・多角的に考察することができる。		
段 階	形 態	生 徒 の 活 動
のりだし	一斉	・授業時にあるコンビニエンスストアを地図で確認し、生徒の日常生活と関連させて課題を確認する。
よむ	グループ	・前時のリサーチングで得たデータを読みとる。（どんな場所にあればよいか？ 品物は？ 工夫していることは？）
考える	グループ	・読みとった情報を基に自らコンビニエンスストアを経営する際の経営戦略をグループで考える。
伝える	一斉	・各グループの発表を聞き、共通点や相違点を見つめ、考えを深める。
まとめる	グループ	・他のグループの意見を参考に自分のグループの経営戦略を修正し、プレゼンテーションの準備をする。

3年社会「学びの過程」の授業実践

取り組んだ。さらに、話し方、聞き方などを向上させる手立てが必要であると考え、言語活動の基本となる「話す・聞く・書く・読む」の各技能についてチェック項目を作成した。これについてはスキルチェック表としてまとめ、生徒の自己評価を通して意識を高めさせるとともに向上を図った。

友だちが作った式をよむ学習

5/17(水) 学習課題 正方形を5つ作り時のマッチ棒の本数(16本)をもとめる式

1 年数学 「学びの過程」で読み取ったことをノートに記述

3 成果と検証

生徒の変容や授業改善の状況については、授業参観カードの記述や生徒・教師アンケート、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査等で検証した。

特に活用する力の変容については、各教科で定期テストごとに活用する力を問う問題を入れて比較したり、全国学力・学習状況調査等を使った比較や県学習状況調査における活用する力の問題を使った比較をしたりして変容について検証した。

次の表は、2 年生において実施した県学習状況調査における活用する力の問題を使った比較で、成果が見られた項目の一部である。平成 2 0 年度県学習状況調査問題に 9 月に取り組んだ結果と平成 2 1 年度県学習状況調査問題の結果とを比較したものである。

教 科	評 価 項 目	正答率 (%)	
		H 2 0	H 2 1
国 語	資料について自分の見聞を交えて書く力	6 7 . 6	8 4 . 5
社 会	都道府県に関する資料を関連付けて読み取り、適切に考察する力	6 7 . 6	7 6 . 9
数 学	y が x の一次関数であるものを識別する力	1 6 . 1	3 6 . 9
理 科	実験結果からコイルの動く向きを推定する力	4 7 . 5	5 8 . 0
英 語	文のつながりや構成を考えた文章を書く力	4 4 . 6	6 1 . 5

2 年 活用する力についての平成 2 0 年度と平成 2 1 年度の問題の正答率比較

V 課題とその改善

- (1) 活用する力について検証した結果、ほとんどが改善されていたが、下がった項目もあった。その原因を分析するとともに、検証方法についても再度検討して改善を図りたい。
- (2) 今年度は言語活動の充実に重点を置いて取り組んできたが、これまでの調査結果から「根拠を基にして相手を説得したり、分かりやすく説明したりする力」や、「文章から読み取った情報を簡潔にまとめて書くこと」などの「書く力」について課題があることが明らかになってきた。今後、これらの課題解決に向けて意図的、継続的に向上を図る実践を進めていく必要がある。
- (3) これまで主に学んだ知識の「習得」「活用」に力を入れて研究を進めてきたが、今後、自ら学び、自ら考える力の向上についても意識して取り組むことで「探究」につながるようにしていきたい。

VI 実践を振り返って

学力向上実践研究推進事業指定 2 年目の今年度は、全教科で授業改善に向けて実践を積み重ね、評価と検証に取り組んだ。その結果、生徒の姿や数値として成果が実感できるようになってきている。これを励みとして、指定最終年度となる平成 2 2 年度は、更なる課題の解決と授業改善を目指し、研究を進めていきたい。

「夢創造!! チャレンジ推進事業 学力向上推進
カウンセラーの活用」

大館市立第二中学校

秋田市立四ツ小屋小学校

大仙市立南外西小学校

研究主題

教科の専門性を高め、教科指導力の向上を目指す 「学力向上カウンセラー」の活用

大館市立第二中学校 校長 伊勢 善和

I 学校の概要 (平成21年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援学級	計	教員数
学級数	2	2	2				1	7	1 4
生徒数	5 6	4 5	5 5				2	1 5 8	
学校のホームページアドレス					http://www3.ocn.ne.jp/~odate.2/				

II 活用のねらい

小規模校にあつては教科担当者数が少なく、教科部会が成立しない場合が多い。本校の場合、理科担当は小学校から今年度中学校に異動となった教諭、及び講師の2名である。理科以外の教科担当者を交えた指導案検討会や授業参観、授業研究会を行うなど工夫をしているが、教科の専門的な見地からの研究と修養を深めることが難しい。また、理科の基礎的・基本的事項が定着していないという生徒の実態も踏まえ、指導方法の改善など教科指導全般の向上を図ることで、生徒は学ぶ喜びをもち、基礎・基本の定着につながるのではないかと考え、次の点をねらいとした。

- (1) 理科の指導力の向上をねらいとする。授業構想・指導案作成、実験等の準備、授業での指導・支援の在り方、評価、学習環境の整備等、教科指導全般について向上を図る。
- (2) 理科担当教師が日頃解決したいと考えている理科教育に関すること、及び理科の専門的内容に関することについての解決を図る。

III 特徴的な取り組み

1 提 案

《学習指導案作成に向けた学力向上カウンセラーによる指導》

- ・これまでの校内研究の成果を生かした学習指導案の作成
- ・理科以外の教科担当者を交えた校内指導案検討会
- ・学力向上カウンセラーへ学習指導案等の送付
- ・学習指導案等についての指導・助言
- ・学習指導案の修正
- ・学力向上カウンセラー来校、研究授業と研究協議会（他教科担当も含む）



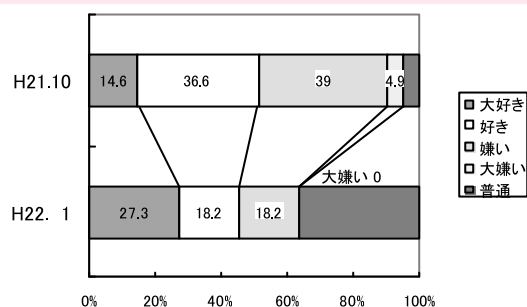
2年研究授業

FAX・電話によるやりとりで改善を図る

2 成 果

学習指導案作成段階で理科教育学専門の学力向上カウンセラーから、学習指導案作成にかかわる基本的なことはもちろん、教科の専門性や特異性にかかわる内容について指導・助言を得て、単元全体の指導構想・指導計画・実験準備等について改善を図った。その結果、(学習内容にもよるので一概に言えないが)「理科が大好き」の生徒の割合がおよそ2倍に、また「嫌い・大嫌い」の割合が著しく小さくなった。

「理科が好きですか」(2年)



IV 実施の概要

- 1 指導案作成に向けた学力向上カウンセラーによる指導・助言（提案参照）
- 2 学力向上カウンセラー訪問（他教科担当も含む研究授業と研究協議会）

（1）学力向上カウンセラー：秋田大学 川村教一 准教授

（2）取り組みの実際

- ① 研究授業
 - ・ 1年「大地の変化」－マグマの粘性^{のりひど}と火山の形のちがひ
 - ・ 2年「化学変化」－化学変化の前後における物質の質量
- ② 研究協議会
 - ・ 授業研究会
 - ・ 教材研究上、指導上の質問事項についての指導・助言

（3）成果

① 教科指導全般について具体的な指導・助言を受け、事後の教科指導に生かされるようになった。

② 本時のねらいや学習課題の表現、及び評価についての考え方は他教科にも通ずるものであった。本校は今年度、明確なねらいのもと、「終末」10分～15分を確保し評価を生かして個に応じた補充・発展の指導をすることによって、基礎・基本の定着を図ることを目指して共通実践してきた。本校の研究施策に対して深化が図られた。

③ 授業者の感想から（一部のみ掲載）

- ・ 学習指導要領の内容をしっかりと指導すること、教科書を活用することの大切さを再認識させられた。
- ・ 実験において、安全指導にし過ぎはない。実験で安全保証されている場合でも、日常での安全性を考え、実験材料や学習内容について指導すべきことの大切さが分かった。

3 教材研究、教科指導に関する相談、及び専門的内容に関する適時的な指導・助言

以下のような質問事項に対し、具体的な指導・助言を得た。

- ・ 太陽系の広さの感覚をつかませるためにどんな効果的な方法があるか。
- ・ 地層の観察がしやすいところを教えてほしい。化石が出る場所など。
- ・ 子どもが「理科を学ぶことは日常生活に役立つ」と感じるためにはどうすればよいか。
- ・ 実験を含む授業で、考察及びまとめまで1時間で完結しないときの評価の在り方を知りたい。

4 今後の取り組み

理科の教科指導について継続的に支援・指導、情報をいただくこととした。また、次年度に向けてSPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）の活用についての助言をいただきたいと考えている。



材料の粘性を変えての火山の形の比較



研究協議会の様子

V 成果の普及に関する取り組み

- （1）ホームページによる紹介
- （2）大館市教育実践発表会（毎年1月実施）
- （3）大館市研究主任協議会における各校の学力向上施策についての情報交換の場での紹介

VI 研究実践を振り返って

教科の指導力向上を検証するためには、後期に1回だけのカウンセラー訪問ではなく、前期も含め数回の訪問を実施すべきであったと考えている。生徒の定着度の面での変容はデータのまだ明らかではないが、電話等で随時、専門的かつ実践的な指導・助言を受けられることは、とても効果的であった。理科に焦点を当てての本事業の活用であったが、結果的に校内研究全体への波及も得られた。可能であれば、このようなつながりを継続したいものと考えている。

研究主題

学び合い高め合う子どもの育成 ～ 読み取る力を育てる国語科の授業づくりを通して ～

秋田市立四ツ小屋小学校 校長 鈴木 了

I 学校の概要 (平成21年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	
児童数	54	47	56	54	62	62	6	341	18
学校のホームページアドレス					http://www.ygy-es4@edu.city.akita.akita.jp				

II 活用のねらい

- (1) 本校の研究の視点に基づき、子どもたちの力を伸ばす上で、担任が悩んでいる点や、さらに子どもたちの学力を高めるための手立てなどについての指導助言を得ることで、研究の推進を図る。
- (2) 国語科における読み取る力を高めるための具体的な手立てについての指導・助言を生かし、教師の授業力の向上を図る。

III 特徴的な取り組み

1 提 案

【叙述を基に読み取りを深める手立ての工夫】

- ・ 子どもの読み取りを深めるためには「どこでどんな発問をするのか」など、教師の深い教材分析が不可欠である。その考えのもとに本時の細案を作成し、予想される子どもの反応とそれに対する支援の手立て、個々に読み取った内容をさらに深めるための切り返しの発問などについて詳細に想定した。この細案（密案）についても、事前に指導・助言を受け、強く揺さぶる必要のある言葉、気付かせたい言葉などについての視野を広げ、教材分析の手法を学ぶことができた。
- ・ 課題解決に当たっては、「自力」で読み取る時間と、グループや全体で考える「学び合い」の時間を設定した。「自力」解決の場面では、重要語句や文章に線を引いたり、書き込みをしたり、学習シートに自分の考えをまとめたりすることで、読み取りの根拠を明確にしながら、登場人物の気持ちを読み深めることができるようにした。「学び合い」の場面では、「子どもたちが気付かないところ、曖昧にしているところに発見を仕掛ける」という助言を生かし、キーワードとなる表現を取り上げながら、その語句がもつ意味について切り返しの発問を重ねることで、子どもたちの読みを揺さぶる場を設けた。

2 成 果

【提案授業を行った4年生の子ども意識の変容と学力の定着】

下の表は、本校独自の国語意識調査の一部であるが、言葉に注視して読み取ったり、キーワードとなる表現に焦点を当てて話し合ったりする活動を積み重ねることで、子ども自身が読み取る力への自信を深めただけでなく、学び合いの効果についても実感でき、学習意欲の向上が図られた。

調 査 項 目	5月 (%)	9月 (%)
国語科の学習が好き。(好き、どちらかというとき)	96	100
問題の文章を読んで、何についてたずねられているか正しく読み取ることができる。(いつもできる、どちらかというとき)	57	85
友達と考えを出し合ったり、一緒に活動したりすることが好き。(好き、どちらかというとき)	90	96

また、今年度の秋田県学習状況調査では「読む力」を調査する4年□の問題で(6)96.2%、(7)82.7%、(8)90.4%の達成率であり、(9)ではまだ不十分な面が見られるものの、着実に力を付けていることがうかがえる。

IV 実施の概要

1 読み取る力を育てる授業実践

(1) 事前の取り組み

学力向上カウンセラーをより効果的に活用するために、解決したい事柄を明確にした上で、指導・助言をいただいた。メールを通して繰り返し指導を仰ぐとともに、学年部職員と研究主任の3名で大学を訪問し、単元を構想する際の考え方や、読み取る力を育てるための具体的な方策やこれまで本校が抱えていた研究推進上の悩みについて解決の方向性を示していただいた。

(2) 指導助言を生かした授業改善

読み取る力を育てるために、どこをどのように読むと読み取れるのかに気付かせていくという、読みの意識化を図る指導を重ねた。それまで漠然と用いていた「大事な言葉」の意味を「作品の節目で繰り返し出てくる言葉や筆者がある意図をもって使っている言葉」とし、見付けるための視点を具体的に示した。「普通とは違った書き表し方をしている」「倒置法や体言止めなどの技法が使われている」「繰り返されている」「二か所以上で響き合っている」など、着眼する部分を明確にすることで、グループの話合いも焦点化することができた。読み取るための様々な方法を具体的に提示し、積み重ねることが、生きて働く力をはぐくむことにつながると考えている。



グループによる学び合い

2 成果

子どもの変容(Ⅲの2参照)と同時に、教師の意識にも大きな変化が見られた。カウンセラー活用にかかわる教師の意識調査の結果(全くそう思う・だいたいそう思うの割合)については、次のとおりである。

学力向上カウンセラーの活用にかかわる教師の意識調査	事前 (%)	事後 (%)
学び合う力を育てる手立てが分かり、授業の中で実践している。	3 3	1 0 0
国語科の「読む」授業について、キーワードとなる言葉や文章などをきめ細かく分析して授業を展開している。	1 3	1 0 0
読み取る力を育てる手立てが分かり、実践を通して子どもたちの力を伸ばしている。	1 3	1 0 0
研究会では、熱心な話合いが行われ、研究の深まりに効果がある。	7 3	9 3

これらの結果から、学力向上カウンセラーの活用によって、学び合う力を育てるための手立て、読み取る力を育てるための手立てについての手掛かりを得ることができ、教師が自信をもって授業改善に取り組み始めたということが明らかになった。本校の研究主題のもと、具体的な実践力につながる方策について研修を深めることができた。

V 成果の普及に関する取り組み

- (1) 学力向上カウンセラーの先生に指導・助言をいただいた内容について、その都度研究通信で発信して校内で共有化を図るとともに、共通実践事項を確認して授業改善に取り組んだ。
- (2) 学年通信、PTAの懇談会等の場を活用し、取り組みの様子や子どもたちの変容について保護者に伝えた。
- (3) 提案授業をDVDに録画し、大学生への授業に活用していただいた。

VI 研究実践を振り返って

研究を進めていく中で生じた課題や疑問について、校内での話合いのみでは、現在の方角で進めてよいのか迷う場面や、適切な解決方法を得られずに行き詰まる場面もあった。

本事業を活用し、広い視野からの指導・助言をいただいたことで、研究の方向性がより明確になるとともに、子どもたちを伸ばすための具体的な手立てを講じることができるようになったことは、本校にとっての大きな財産である。この成果を、今後の研究推進に生かし、更なる授業改善に努めていきたい。

研究主題

共に学び、豊かに表現できる子どもの育成

大仙市立南外西小学校 校長 小原 靖

I 学校の概要 (平成21年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計	教員数 12
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	
児童数	8	20	11	21	14	14	2	90	
	学校のホームページアドレス				http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~na-nishisvo/				

II 活用のねらい

本校では、国語科を中心に「書いて考える・考えながら書くノート指導」に取り組みながら研究を進めてきた。児童は学習意欲が高まり、基礎的な学力も向上しつつあるが、表現力が不足している点が課題である。そこで、「共に学び合いながら『書く・話す・発表する』力をはぐくむための授業改善」を図るために、大学教員の指導や助言を得て、より一層研究を推進することとした。

III 特徴的な取り組み

1 提 案

国語科を中心に、豊かに表現する子どもの姿を具体的にイメージして、単元計画や授業構成を工夫した授業研究会を行い、授業改善を図りながら指導力の向上を図る。

以下は、そのための施策である。

- ・ 学び合う価値のある課題かを吟味し、授業で付けたい力を明示する。
- ・ 基本話形等、学年に応じた話合いのスキルを身に付けさせるとともに、「自力解決の場」「考えを表現する場」「練り合いの場」を設定し、授業展開に応じたノートづくりと学び合いの形態を工夫する。
- ・ 学び合う中で考えを伝え合う力を高めていくことにより、豊かな表現力を培う。

2 成 果

- ・ 物語教材を中心に研究したことにより、指導観だけでなく、作品分析を含めて題材観を深めることの大切さを学んだ。
- ・ 全教職員で研修する機会を得、授業改善のための手立てを共有できたことで、今後、皆で視点を確認しながら取り組むことができる。
- ・ 話合いで、自分の考えを進んで述べようとする児童が増えた。
- ・ 課題の記入や自分の考えを書いたり、まとめたりするノートづくりに慣れたせいか「書いて考える・考えながら書く」ことが身に付いてきた児童が増えた。
- ・ 意欲的に学ぼうとする児童の姿が増えた。

児童によるアンケート

(平成20年度12月と平成21年度12月の比較 対象：全校児童)

- ①進んで手を挙げ、自分の考えを発表していますか。
- ②ノートの書き方をしっかり身に付けましたか。
- ③学校の勉強はわかりやすく、楽しいですか。

	①20年度	①21年度	②20年度	②21年度	③20年度	③21年度
はい	38%	43%	65%	85%	46%	59%
だいたい	31%	46%	29%	15%	42%	37%
あまり	26%	8%	5%	1%	9%	5%
いいえ	5%	3%	1%	0%	2%	0%

IV 実施の概要

1 4年生国語の授業について

- (1) 授業研究協議会 7月6日(月) 授業者：小林秀子教諭
学力向上カウンセラー：秋田大学 成田雅樹 准教授

(2) 成果と課題

国語教材「白いぼうし」(光村図書)において、次のような指導・助言を受けた。

- ① 「書くこと」の指導について、全職員が授業改善への手立てを共有できたこと。
- ② ファンタジー教材であっても文章に即して読み取らせること。
- ③ 伏線のもつ意味を含め、作品分析をしっかり行って授業構築を図ること。
- ④ 表現においては、「意欲や必要感をもたせて、相手・目的・題材・内容によりどのように(構成)して話すか・書くかが大切だ」ということ。



(4年 グループでの話し合い)

2 5年生国語の授業について

- (1) 授業研究協議会 11月17日(火) 授業者：小池郁子教諭
学力向上カウンセラー：秋田大学 成田雅樹 准教授

(2) 成果と課題

国語教材「大造じいさんとガン」(光村図書)において、次のような指導・助言を受けた。

- ① 前回の指導を踏まえた実践から、ほとんどの児童が「文章に即して読み取る」ことができるようになってきている。
- ② 進んで自分の考えを発表できる児童が増え、自分と違う意見をノートに「書いて考え」て自分の意見を発表できる児童も増えてきている。
- ③ 書く指導は、「相手意識」「目的意識」「自分意識」をはっきりさせて書くための中身をもたせることが重要である。それぞれの意識を明確にさせて、「意見や感想」「その根拠」「理由」を書かせることがポイントとなる。



(5年 ペアでの話し合い)

V 成果の普及に関する取り組み

- (1) 今後も、児童の「共に学び合う」活動の場を大切にして、他者の意見に対して意見を述べたり、自分の意見を振り返って意見を述べたりすることができるように、論理的な思考力をはぐくんでいきたい。また、「なぜそう考えるのか」という理由や根拠を問う発問をしていきたい。
- (2) 今後も、国語の授業研究を中心に授業改善に取り組んでいくつもりである。そして、書く指導を学年別に体系的にとらえ、「課題を理解し、その理解に基づいて自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝える力」として書く力を育てていきたい。
- (3) 今後も、授業研究会に際しては早めに指導案を提示することとし、事前検討会までに参加者が教材分析等を十分に行って検討会に臨めるようにしたい。

VI 研究実践を振り返って

成田雅樹准教授の専門が国語であり、特に「書くこと」の研究をしていることから、本校の重点施策の一つである「書くこと」への指導の検証と授業改善、その後の実践に大変有意義な機会をいただいた。

特に、全教職員で研修を受け、授業改善の手立てを共有できたことで、今後、研究の視点や内容を確認しながら取り組めることが大きな収穫である。

さらに、この研修で学んだことを機会をとらえて発信していくつもりである。

全国学力・学習状況調査を活用した 学力向上のための取り組み事例

取り組み事例1（A小学校）

取り組み事例2（B小学校）

取り組み事例3（C小学校）

取り組み事例4（D中学校）

取り組み事例5（E中学校）

取り組み事例6（F中学校）

学力向上のための取り組み事例

平成19年度から始まった全国学力・学習状況調査において、秋田県の児童生徒たちは3年連続して全国トップクラスの成績を収めることができました。本県では、この結果を分析することで、本県学校教育の成果と課題を明らかにして、学校教育をより一層充実させるために秋田県検証改善委員会という組織を立ち上げております。

今年度、検証改善委員会では、全国学力・学習状況調査において、良好な状況である学校の取り組み事例を紹介することにより、県内すべての小・中学校の授業改善に役立ててほしいと考えております。

○事例紹介のねらい

全国学力・学習状況調査において、安定した成果を上げている学校や課題が解決されてきた学校では、授業や授業以外にどんな取り組みを行い、どんなことが基盤になっているのでしょうか。秋田県検証改善委員会では、本県の3年間の結果を分析してきましたが、このような特色ある取り組み等を紹介することは、多くの学校で参考になると考えました。

本県の学校には、学力向上に向けて一生懸命取り組んではいるものの、残念ながら結果に結びつかず悩んでいる学校があることも事実です。特色ある取り組みにより成果を上げている学校の優れた事例を参考として、各校でこれからの取り組みの一助となれば幸いです。

○秋田県検証改善委員会について

本委員会は、大学教授などの県内外の有識者と県教育庁職員、市町村教育委員会職員等により構成されております。

○取り組み事例について

次のような内容について、安定した成果を上げている学校や課題が解決されてきた学校（小学校3校、中学校3校）における、特色ある取り組み事例を紹介しております。

1 学力向上のための学校体制

- (1) P D C Aの具体
- (2) 校内研修体制の具体
- (3) 小・中連携

2 学力向上のための特色ある取り組み

- (1) 授業における取り組み
- (2) 授業以外における取り組み

3 校長会や教務主任会、教育研究会等の学校を超えたネットワークの活用

取り組み事例1（A小学校）

（1）小・中連携（相互補完的、校種横断的連携）で望ましい学習・生活習慣の確立を図る

小・中併設校のよさを生かし、子どもの発達の段階を踏まえ、基本的な学習・生活習慣などについての基本型を作成し9年間を通して一貫した指導をしている。また、授業の中で「つかむ」「高め合う」「まとめる」などの学習活動を共有し、児童生徒主体の分かる授業の構築に向けて取り組んでいる。

9年間を通して身に付けさせる基本的な学習・生活習慣



将来 夢を実現するために

～学びから活力を・価値ある体験から自立の機会を～
《短期》 基本の型づくり
 ～授業や行事、交流体験などあらゆる機会～
【小1～3年生：「つ」がつく年齢のうちにしつけを】
 あいさつ(おはよう)、返事(ハイ)、始末(準備・片付け)
【小4～6年生：学習習慣と生活リズムの確立を】
 返礼(ありがとう)、試行(やってみる)、
 活用の工夫(学習や読書を言葉や体験に生かす)、
 自律(折り合いをつけてがまんする)
【中1～3年生：心と体を磨き合いよりよく生きる心を】
 知恵(思いどおりに手や足を動かし社会に役立てる)、
 責任・勇気(社会ルールを守り自分の行動に責任をもつ)

1時間の授業の流れ(どの教科でも共通して取り組みたいこと)



【1時間の学習の流れの中で共通して取り組みたいこと】

	○児童の姿	◇教師の働きかけ
つかむ	「おもしろそうだな」 「やってみよう！」 「きょうは、これができれば いいんだな」	◇ねらいに合った教材の提示 ◇ねらいを的確につかめるよ うな発問や指示 ◇活動のポイントの提示
高め合う	「絵、図、文章などをつかって やってみよう」 「前に習ったことを使えないかな」 「できるだけがんばるぞ！」	◇活動への明確な指示 ◇ねらい達成に生かせる教材 ・教具の提示 ◇自力解決の時間の保障 ◇児童の気付きや考えのよさ の引き出し

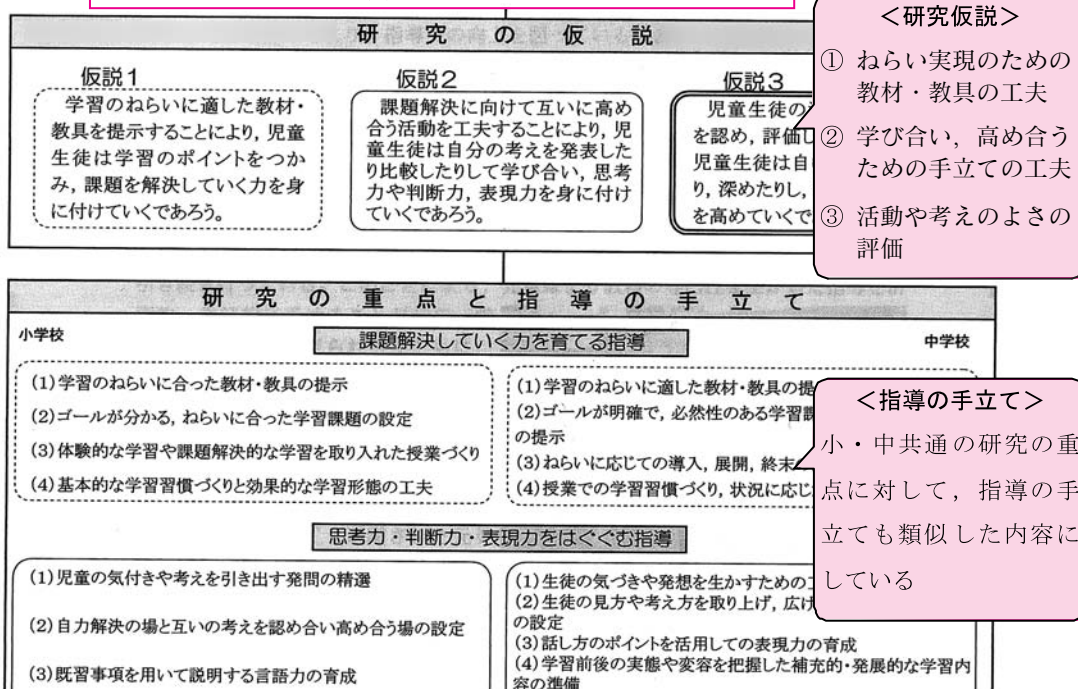
3 基本的な授業の流れ

	○ 生徒の姿	◇ 教師の働きかけ
つかむ	「前の時間は～をやった」 「これをやるぞ」 「今日のゴールは～だ」	◇ねらいに適した教材の提示 ◇厳選した発問や指示 ◇活動のポイントの提示
高め合う	「まず、やってみよう」 「途中まででも、頑張ろう」 「こうやって進めるとよさそう」 「分かりやすく伝えよう」 「私とは違う感じがするね」 「そこを直せばうまくいきそう」 「もっとよい方法はないかな」	◇活動へ取り組むための明確な指示 ◇課題解決につなげるための教材・教具 の使用 ◇主体的な活動や自力解決の保障 ◇生徒の気づきや発想の見取り ◇適切な学習形態の工夫 ◇生徒の見方や考え方を引き出す工夫 ◇活動や考えのよさの紹介
まとめる	「これで、できた」 「自分の言葉でまとめよう」 「似ている場面に使おう」 「次の時間も頑張ろう」	◇ねらいに合ったまとめの工夫 ◇学習内容の定着の確認、評価 ◇次時への意欲喚起

(2) 小・中相互参加の授業研究会で授業改善を図る

小中地域協同で、将来を生きる「底力」をはぐくむという基本理念の下、9年間を見通した「評価の観点と単元」を作成し授業を行っている。また、授業づくりの基本軸を決め、どの学年、どの教科であっても共通実践することで、発達の段階に応じた、かつ連続性のある指導が継続・徹底され学力向上が図られている。授業研究会では、小・中の教員が互いの授業を見合う視点を明確にして指導・助言をし合うとともに、それぞれの専門性を生かして話し合いを深め指導力向上を図っている。

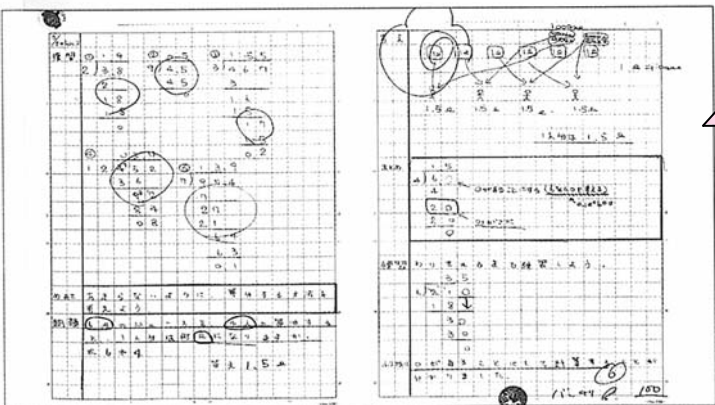
小・中共通の研究仮説、研究の重点、指導の手立て



(3) 学習の跡が残るノート指導で思考力・判断力・表現力をはぐくむ

小・中を通して自分の考えや友だちの考えを書いたり、授業の流れやポイントが分かるようなノートづくりにも力を入れ、思考力・判断力・表現力をはぐくんでいる。

ノートの書き方



＜書く指導の継続・徹底＞
 ノート指導の他に、感じたことや思ったことなど書く指導を継続して取り組んでいる。高学年の児童であれば、原稿用紙2枚程度は難しいと感じていない。

7つの共通項目を設定。
 高学年では、1時間の授業を見開き1ページにまとめている。

① 月日を書きましょう

③ 振り返りを書きましょう

⑤ 大胆に余白をとりましょう

⑦ 丁寧に書きましょう

② めあてを書きましょう

④ 文頭はそろえましょう

⑥ ノートは見やすく区切りましょう

取り組み事例2（B小学校）

（1）課題解決のための強化月間を設定し、基礎・基本の定着を図る

特定の1か月間、朝の15分間で、国語と算数の課題解決のための補充学習を行う「パワーアップ月間」を設定している。年2，3回設定しているが、学年の実態に応じて、県学習状況調査や単元評価問題、市で実施している基礎学力調査等から課題と考えられる問題等を選定し、問題を解く学習を通して基礎・基本の定着を図っている。

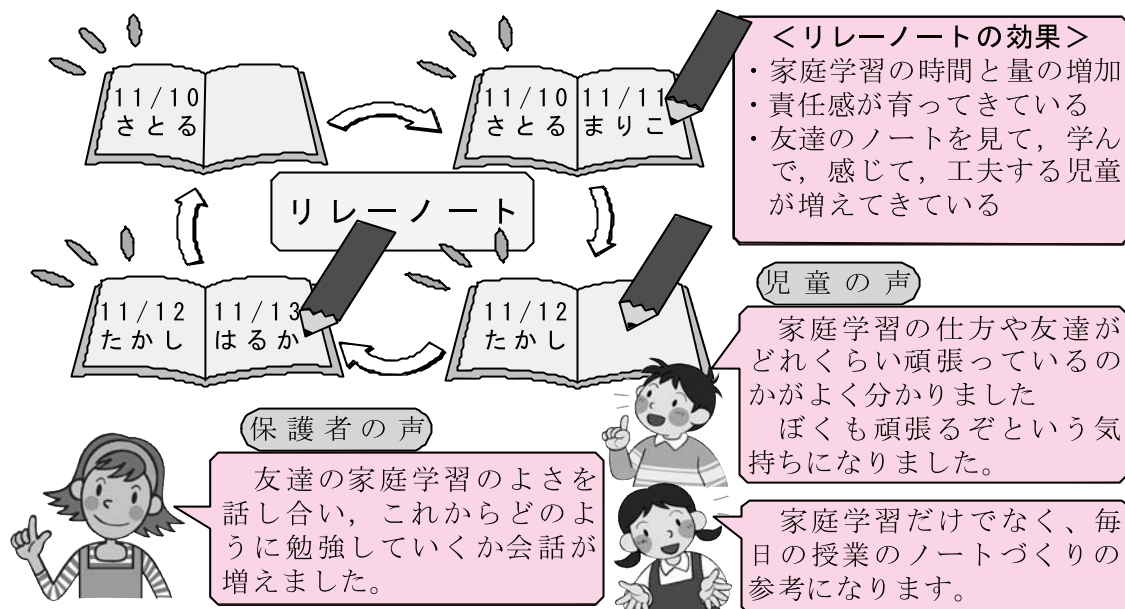
<例>

第2回パワーアップ月間

- 1 期間 11月中旬～12月中旬
- 2 時間 8：25～8：40
- 3 実施方法
 - ・学年の実態に応じて問題を作成する。
 - ・県学習状況調査や市で実施している基礎学力調査等の過去問題を活用する。
- 4 内容
 - <国語>…作文や言語事項で現学年の弱点と思われるものを取り入れる。
 - <算数>…県学習状況調査や単元評価問題、市で実施している基礎学力調査などで正答率が低い問題を取り入れる。

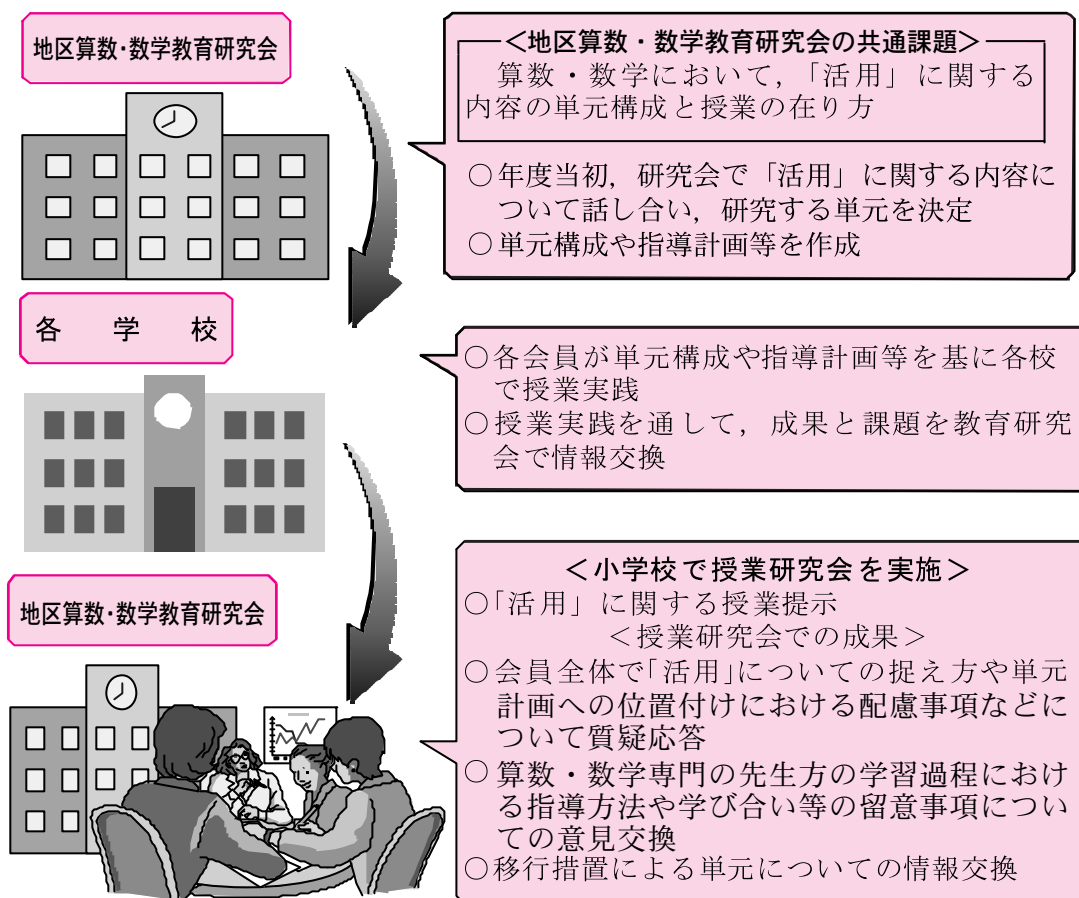
（2）リレーノートで家庭学習の仕方を身に付けさせる

1冊の家庭学習ノートを、学級や生活班でリレーすることで、家庭学習の仕方や内容について、効果的に学ぶことができる。



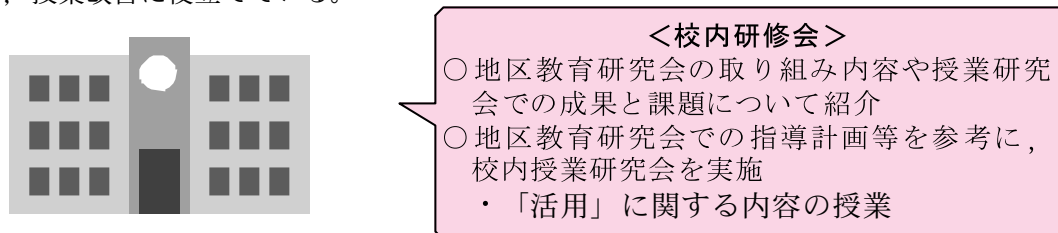
(3) 教育研究会とのネットワークを活用し指導力向上を図る

地区教育研究会員が研究会全体の課題を解決するために話し合い、そこで提案された指導計画に従って授業実践を積み重ね、情報交換をした後、それを基に授業研究会を行い成果と課題を共有している。



地区算数・数学教育研究会での研修内容をB小学校で活用

地区算数・数学教育研究会での授業研究会の内容を、校内研修会で報告して情報を共有し、授業改善に役立てている。



取り組み事例3（C小学校）

（1）補充的学習で家庭学習の仕方を習得し、基礎学力の定着を図る

全学年において、帰りの会 の前に20分間の補充的学習を行い、主として国語や算数の基礎・基本の定着を目指し、計画的に取り組んでいる。また、補充的学習との連動及び家庭との連携により家庭学習の習慣化も図っている。

<補充的学習のねらい>

- ・国語や算数の基礎・基本の定着を図る。（回復指導も含む）
- ・発展的な内容や活用に関する問題にも興味をもって取り組めるよう挑戦の機会を設定する。
- ・子ども一人一人がめあてや課題を意識して取り組めるような工夫をして、子どもたちが学習に主体的に取り組もうとする意欲を高める。

<補充的学習の取り組み>

- ・学級担任以外が担当・・・学級担任はサポート
- ・事前準備すること・・・昼休みまでに学習内容やめあて等を計画表に記入
休み時間に、学習するプリント類を自己選択。
（プリント類は、プリント倉庫に保管されている）

※プリント倉庫→特別教室や廊下の棚にプリント類を保管してあり、子どもたちはいつでも自由にもらうことができ、家庭学習にも活用できる。

<プリントの内容>

全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の過去問題、ローマ字プリント、算数の単元評価問題（H17～H20）など

家庭学習のてびき

学年のめあて
低学年…毎日机におかいて学習する習慣を身に付けよう
中学年…学校で学習したことをさらに深めよう
高学年…自分の学習の仕方を身に付けよう

みんなのやくそく
①自分から進んで静かなところで学習しよう。
学習する時間を決めよう。
(10分×学年)
時 分～時 分
お休みの日
時 分～時 分
学習する場所を決めよう。
②家庭学習ノートには、日付・始めた時刻・終わった時刻・学習内容・ふりかえりを書きましょう。
③学習のメニューをヒントにどんな学習をするか決めていきましょう。
チャレンジルームに準備をしているプリント類も活用できます。

学級担任が家庭学習の計画内容を確認

補充的学習

家庭学習

学級担任が家庭学習を点検し奨励

「家庭学習のてびき」を配付し、学習時間や学習内容等を計画表に記入させ、さらに保護者の協力を得ながら家庭学習に取り組ませました。

補充的学習のおかげで家庭学習の内容や学習時間が増え、ノートの作り方も上手になってきました。

(2) 「事前検討会」を工夫して「授業研究会」の充実を図る

授業研究会を全職員の研究にするため、全職員で研究テーマとの関連や学習過程などについて事前検討を行っている。授業研究会終了後は、全職員での共通実践事項を確認し、明日からの授業改善につながる工夫をしている。

授業研究会の流れ

事前・・・全職員による授業づくり

検討会①→研究テーマとの関連や本時のねらい、評価規準等について協議

検討会②→学習活動や発問、板書計画、評価問題等について協議

検討会③→研究推進委員会において指導案等を含め再検討

当日・・・ワークショップ型授業研究会

協議の視点→事前検討会で焦点化された課題等について協議

まとめ→明日からの共通実践事項を確認して終了

(例) 発問を工夫する→中心発問を小黒板に記入し、児童の活動が活発になるようにする。

学習の約束を徹底する→学習の約束を教室掲示するだけでなく、家庭にも配付し、保護者の協力を得る。

事後・・・共通実践事項の継続

(3) 「ネットワーク」を活用して「学力向上」を図る

自校の様々な課題を解決するために、多方面のネットワークを利用して情報を収集し、課題改善に役立てています。

県教育委員会

- ・ 単元評価問題の活用
- ・ 算数の要請訪問
- ・ 総合教育センターHPからの情報活用
- ・ 総合教育センターの出席講座の活用

市教育委員会・教育研究所

- ・ 校長会、教頭会、研究主任会の情報活用
- ・ 研究集会での学力向上の取組事例を自校の研究に活用
- ・ 市内小中学校のネットワークの活用

特別支援教育における 専門家・支援チーム

- ・ 通常学級に在籍する特別な支援を要する児童への指導についての相談

地区教育研究会

- ・ 年間計画・実践指導案集等の資料
- ・ 事前研修会への参加・報告

取り組み事例4（D中学校）

（1）「生徒が作ったテスト問題」で「学習力」をつける

月2回（部活動が休止の日）、家庭学習として、全校生徒がそれまでの学習のまとめの発信や、テスト予想問題を作成する「かがやきディ」を設定している。生徒が作成した問題は、パソコン部の生徒がデータ入力し、予想問題集を作ってテスト勉強に役立てている。この問題を基に校内模擬テスト大会を開催している。

生徒に解答を求める道筋だけでなく、逆回路の思考経路も鍛えることが、将来的に役立つという考えの基、このような取り組みを実践している。

「かがやきディ」のねらい

- 問題づくりを通して、学習のポイントを理解できる。
- 作成過程を通して、興味・関心の深まり、結果として知識・理解の定着が期待できる。
- 意欲的に取り組むことにより知的好奇心が刺激される。

生徒が作ったテスト問題

生徒が作った問題（数学）

Q 次の3点が一直線上にあるとき、aの値を求めなさい。

- (1) (1, 4), (3, a), (4, 10)
 (2) (-4, 17), (2, -1), (a, -4)

2. 二十四角形の内角の和を求めよう。

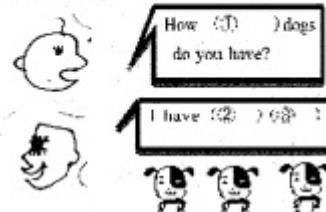
	六角形	二十四角形
頂点の数	6	?
分けられる三角形の個数	4	?
内角の和	720°	?

3. 五角形の内角の和を別の分割をして求めよう。⇒ 中心から三角形にわける



生徒が作った問題（英語）

次の二人の会話の（ ）に当てはまる単語を書きなさい。



問 右の時間割とあっている英文を2つ選びなさい。

- ア We have English on Tuesdays
 イ We have English on Wednesdays.
 ウ We don't have fine arts on Fridays
 エ We don't have math on Mondays.

	月	火	水	木	金
1	数	国	社	理	数
2	理	英	体	国	英
3	美	技	数	英	国

おすすめ内容表

教科	単元・教材	おすすめ内容・ひとこと
国語	文法の復習	* 短い文章を引用して、品詞を問うクイズをつくりましょう。 * 自立語限定にすると取り組みやすいかも……。 * 解答に自信がなかったら、明朝、確認に来てください。
社会	歴史	* 次の資料の時代、内容、背景（なぜ出されたのか）などをまとめよう！ ～ 「永仁の徳政令」「分国法」「刀狩令」「楽市」「武家諸法度」「慶安御触書」など
理科	磁界	* 磁石、導線、コイルのまわりの磁界について、図に表してみよう。

各教科の先生方からは「おすすめ内容」として作成してもらいたい内容をアドバイスしています。

(2) 「教科を超えた研修会」で「授業力」をつける

授業研究会を実施する際は、複数教科でチームを編成し、事前研修会を2回程度行って授業づくりをしている。

＜（例）6月25日に国語、数学、英語で授業研究会を実施する場合＞

授業研究会までの流れ

- ① 5月20日…全職員が複数教科で5人程度ずつに分かれて、国語、数学、英語の3チームを編成する。
(国語チーム：国語2人、社会1人、音楽1人、美術1人 など)
- ② 6月7日……第1回事前研修会では、生徒の実態や研究主題、研究仮説等との関連について話し合いを行う。
- ③ 6月17日…第2回事前研修会では、当日の学習活動や発問、板書計画等について生徒目線で意見交換を行う。

授業研究会当日→ワークショップ型授業研究会

＜教科を超えた研修会のよさ＞

- ・事前検討会で協議した内容等について検証できる。
- ・授業中の生徒の姿を基にして、建設的な意見交換を行うことができる。
- ・他教科から指導技術等を学び合うことができる。
- ・教師の同僚性が育成される。

(3) 「小・中連携」で「人間関係づくりや学びの連続性を重視した指導」をする

子どもたち同士が交流することで、中学校に入学してからの人間関係づくりの橋渡しになり、教師同士の交流は、授業スタイルや学習活動を共有することになっている。小学校の教育活動を参考にすることで、中学校での指導を系統性のあるものにすることができる。

研究主任会で、小学校の学習スタイルや家庭学習状況等について話し合い、中学校での取り組みの参考にする。



小学校外国語活動を中学校の英語教員が参観し、指導方法について意見交換を行う。

小学校の学習発表会に、中学校の吹奏楽部が参加して学習活動を応援する。

取り組み事例5（E中学校）

（1）心を育てて生活の安定、学力の向上を図る

生徒の基本的な生活習慣を確立し、心を育て生活を安定させるために、次のような取り組みをしている。

年間を通しての登校指導

- 生徒指導主事、学級担任以外の学年部職員が毎朝生徒玄関に立ち、遅刻防止や服装指導を兼ねて、生徒への挨拶や声かけを継続
- 交通量の多い交差点や学校前の横断歩道には、職員が年間を通して交代で立ち、生徒への安全指導を実施

校内に適応指導教室の設置

- 教室には入れないが学校で学習する意欲のある生徒が対象
- 学習の場を保障し、教室へ復帰するステップとすることが目的
- 学級担任が本人及び保護者と面談し、本教室の意義を理解させ、学習への意欲を確認した後、校長の了解を得て入級
- 担任は不登校対応教員で、毎日の連絡や日誌の点検、給食指導等を担当
- 教科担任数は次のとおりで、個別指導を行い学力向上を目指す

・国語3人　・社会3人　・数学4人　・理科2人　・英語3人
・音楽2人　・美術1人　・保体3人　・技術家庭2人

- 必要に応じて、教科ごとの連絡ファイルを作成

（2）授業改善で指導力アップを図る

他教科の授業における「学び合い」や「かかわり合い」について、実践例を紹介し合うことで、生徒主体となる授業づくりや学習形態における配慮事項等を意見交換し、授業改善に役立てている。

学び合いの実践例紹介

- ・共感的人間関係を生かして学び合いを充実させ、生徒主体の授業づくりを実現させるため、教科を超えて実践例を紹介し合う。

※形態をグループにただけでは学び合いは成立しない。

- ・役割分担やグループの考えをまとめるなど、方法や内容を明確にする。
- ・ペア活動は必然的に全員が学習活動に参加することになり有効である。

高い専門的な視点から学ぶ

- ・平成21年度は、秋田大学の阿部昇教授の講話を基にして、指導案作成を通して授業改善に生かす研修を行っている。次に示す例は、その一部分である。

〈指導案作成のための留意点〉

※ねらいについて→生徒に付けたい力を生徒の立場で記入する。

何をどのように理解するのか、何の何ということに気付くのか等、その時間で何を通してどういうことができればよいのかをできるだけ具体的に示すことが望ましい。そのために多少文章が長くなることはやむを得ない。

(例) ×分かりやすい発表の仕方を様々に工夫することができる。

○たくさんの情報の中から、相手意識をもって発表内容を整理することができる。

※教師の支援について→教師の動きをただ書くのではなく、授業づくりの重点にかかわる支援を中心に記述する。

「～できるように～する。」と教師が実施する立場で書くことが望ましい。学び合いについては、その意図を明確に示す。生徒主体の授業という観点からも「～させる」という表現をできるだけ避ける。

(例) 授業づくりの重点の一つが「学び合いの充実」であった場合

- ・自分の考えをまとめるシートと話し合いの手引きを準備し、○○の視点から課題別の班で話し合うことにより、考え方の高まりや深まりを図る。【学び合いの充実】

(3) 家庭学習を充実させ、基礎・基本の定着を図る

基礎・基本の定着を図るために、家庭学習のノートの作り方を紹介するとともに、家庭学習の目的意識を明確にするなど工夫した取り組みをしている。



あなたの家庭学習ノートは？

早いもので、もうすぐ11月になりますね。
定期テストⅢが11月17日(火)に予定されています。2日(月)にはテスト範囲を配布し計画を立てる予定です。定期テストに向けて、いつも以上に毎日の家庭学習が大切になります。春からずっと継続して頑張っている人がたくさんいます。学習の仕方や学習内容は様々ですが、家庭学習ノートを見ていると努力している姿が想像できます。今回はその家庭学習ノートに注目し、家庭学習の仕方について考えてみたいと思います。
目的意識のはっきりした

「美しさ」を感じる家庭学習ノート

〇めあて：「必ず覚える！」Kさん



「前の授業と今日の授業の復習をし、その復次の予習をした。」そうです。自分で理解しやすいよう図を書き、めあて：「復習、予習を理解できるようにする！」Mさん

家庭学習ノートの例

〇めあて：「大事な所をはっきりさせ覚え

家庭学習は毎日提出させ確実に点検

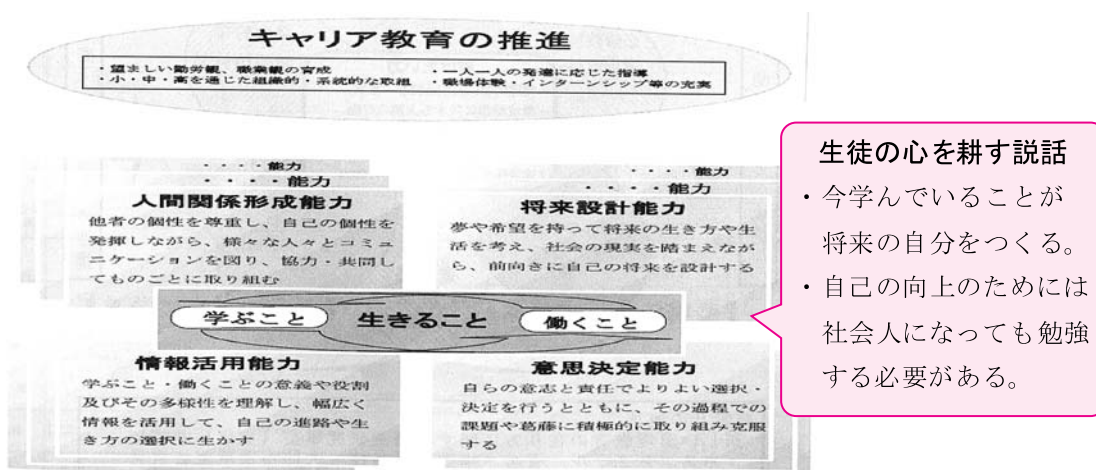
- 学習日より「学び合い」を活用し、よりよい家庭学習ノートづくりを啓発
- 「東大合格生のノートはかならず美しい」をヒントに、家庭学習ノートが自分にとって分かりやすいノートにするため創意工夫
- 自分は、今日の家庭学習で何を頑張るのか、何をめあてに学習するのか等、目的意識をはっきりさせて家庭学習ノートに取り組むことを確認

(例) 今日の理科の授業内容を理解し必ず覚える。
テスト前に見直したとき、一目で分かるようにまとめる。

取り組み事例6（F中学校）

（1）効果的な言葉かけ生徒を本気にさせる

この学校では、生徒に学習意欲をもたせるために、「人は何故学ぶのか」「人は何故働くのか」を常に考えさせ、キャリア教育と関連付けた指導を継続してきている。また、全校集会や学年集会等では、生徒の心に響く説話をしている。



（2）昼の自学と家庭学習で基礎学力の定着を図る

各教科における基礎学力の確実な定着のために、昼の時間や家庭学習の仕方などを工夫し、教科担任と面談する機会などを設定するなどしてきめ細かい指導をしている。

昼の自学の時間（20分）の取組

- ・毎日昼休みに自学の時間を設定し、全学年で5教科の補充学習を実施している。学級担任以外の教員が担当となり、曜日ごとに各教科の問題に取り組んでいる。

基礎学力の確実な定着

- ・休日前に週末課題を与えることにより家庭学習を充実させ、担任は家庭学習を確実に点検するようにしている。家庭学習を提出できなかった場合は、部活動の前に個別指導を行っている。また、学習の遅れがちな生徒への対応として、放課後教室を行っている。

生徒の希望による教科担任との面談

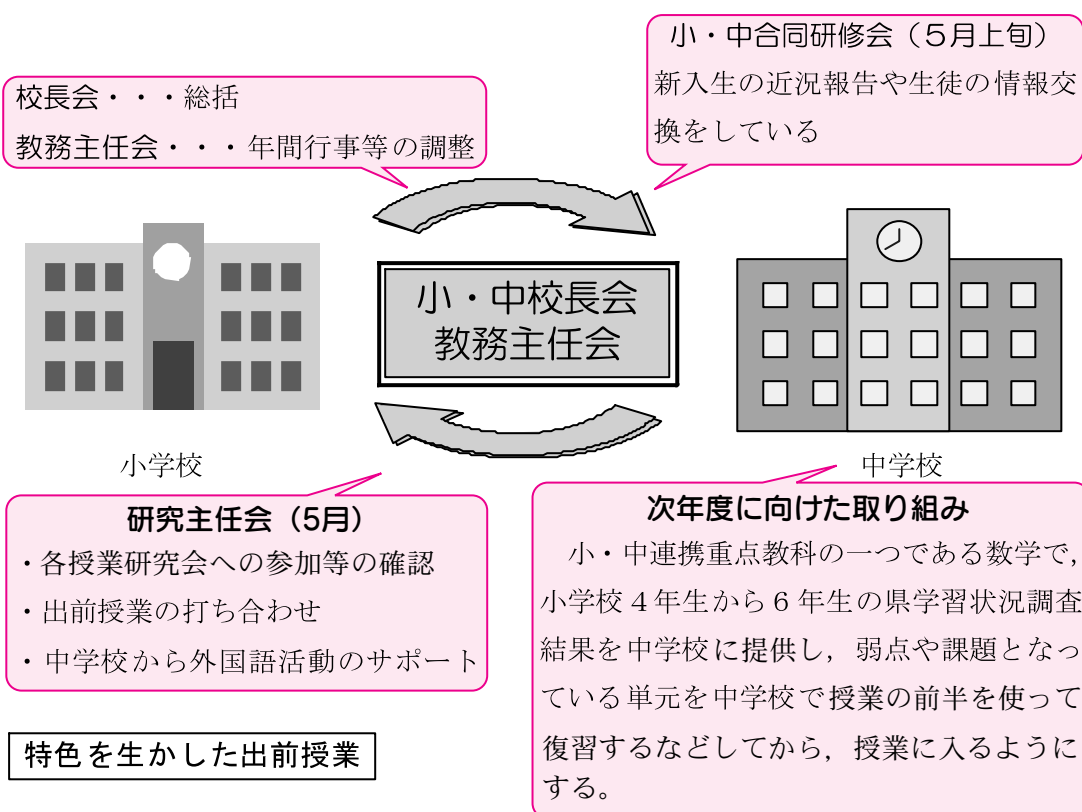
- ・夏休み前に生徒の希望により、各教科担任と面談する機会を設定している。苦手教科の学習の仕方や普段の悩みなどについて相談する機会を設定し、生徒の学習意欲向上を目指している。個人カルテを準備して個々の生徒に対応している教科もある。

(3) 小・中連携で生徒指導や教科指導のスムーズな橋渡し

小学校から中学校への円滑な橋渡しをするために、地区小・中学校長会と教務主任会が母体となり、生徒指導や授業改善などについて研修会を行っています。また、環境教育に力を入れており、その特色を生かした取り組みも実践している。

―― 小・中連携のねらい ――

- 生徒指導における学校不適応等の未然防止
- 小・中の授業研究会に互いに参加し、各教科における指導方法等を研究
- 特別支援を要する子どもの情報交換



全国学力・学習状況調査分析資料

秋田わか杉っ子 学びの十か条

児童生徒質問紙

学校質問紙

学校度数分布

市町村分布

秋田わか杉っ子 学びの十か条

関連項目への回答状況

秋田県教育委員会では、平成19年度、本調査の結果を基に、「秋田わか杉っ子 学びの十か条」を作成し、発表しました。これは、児童生徒質問紙調査において、全国平均を上回った項目を組み合わせで作成したもので、秋田の子どもたちの生活習慣や学習意欲、学校の熱意ある取り組み、それらを支えている家庭や地域のよさを表現しています。

今年度の「十か条」に関連する項目^{*1}の分析結果は、全国平均との比較^{*2}で、昨年度に引き続き、ほとんどの項目で上回っていることが分かりました。

また、昨年度との比較^{*3}では、上昇率が高いトップ3は次の項目です。今年度は、小・中学生ともに「家で学校の授業の復習」が4位に入るなど、家庭学習に関する項目が良好な状況にあります。

<小学校>

- ①家で学校の授業の予習(+4.9)
- ②学校以外の学習1時間以上(+4.3)
- ③家で自分で計画して勉強(+3.9)

<中学校>

- ①数学の記述問題を最後まで努力(+8.7)
- ②携帯電話やメールをしない(+5.0)
- ③家で自分で計画して勉強(+4.5)

逆に下降率が高いワースト3は次のとおりであり、改善が必要な課題です。

<小学校>

- ①算数の記述問題を最後まで努力(-18.2)
- ②テストの間違いを後で勉強(-9.2)
- ③地域の歴史や自然に関心あり(-0.7)

<中学校>

- ①テストの間違いを後で勉強(-10.6)
- ②数学の授業内容がよく分かる(-3.2)
- ③国語の授業で考えを話し書く(-2.8)

小・中学生ともに、「テストの間違いを後で勉強」が大きく下がっており、間違いをそのままにせず弱点克服に向けて努力する態度をはぐくむことが課題の一つといえます。

また、昨年度課題としていた、家庭・地域での読書活動に関する項目は、依然として全国平均を下回っている状況です。昨年9月に発表した「第二次県民の読書活動推進計画^{*4}」を基に、子どもたちの本に親しむ機会が、家庭や地域においてもますます充実するよう取り組んでいきたいものです。

詳しい結果は、以下のとおりですので、ぜひ、ご一読ください。

これからも、ふるさと秋田を支えるたくましい人材の育成を目指して、学校・家庭・地域が一体となった『オール秋田』の教育力を十分に発揮していきましょう。

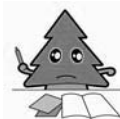
- *1 特に着目した重要な項目（「主要項目」と呼ぶ）が、内容の見直しによって削除されたものが今年度もいくつかありました。その場合には、関連する内容の項目（「補助項目」と呼ぶ）によって年度間の比較や全国との比較ができるようにしました。
- *2 年度ごとの比較では、1ポイント以上の変化を、矢印で示しています。
- *3 全国平均の欄の（ ）内の数値は、平成20年度のものです。
- *4 第二次県民の読書活動推進計画は、秋田県教育庁生涯学習課ホームページからダウンロードできます。

第二次読書活動推進計画

検索

一 早ね早おき朝ごはんに家庭学習

規則正しい生活がスタートライン



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	普段、7時より前に起きますか	90.3	向上	91.8	76.5
主要	普段、10時より前に寝ますか	50.9	↗	53.8	43.3
主要	朝食を毎日食べていますか	96.3		97.4	96.0
主要	家で学校の授業の復習をしていますか	79.7	↗	83.2	46.0
主要	家で学校の授業の予習をしていますか	49.3	↗	54.2	37.5

<中学校>

主要	普段、7時より前に起きますか	83.1		83.0	65.7
主要	普段、11時より前に寝ますか	38.3		38.9	31.8
主要	朝食を毎日食べていますか	95.7		96.3	92.4
主要	家で学校の授業の復習をしていますか	67.1	↗	71.1	40.3
主要	家で学校の授業の予習をしていますか	36.1		36.7	29.5

二 学校の話題ではずむ一家団らん

笑いが脳を活性化



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	家の人と普段、朝食を一緒に食べていますか	67.1		67.2	62.2
主要	家の人と普段、夕食を一緒に食べていますか	91.0		91.9	89.0
主要	家の人と学校での出来事について話をしていますか	70.8	↗	73.3	70.9

<中学校>

主要	家の人と普段、朝食を一緒に食べていますか	52.9	↗	54.3	42.3
主要	家の人と普段、夕食を一緒に食べていますか	84.3		85.2	81.7
主要	家の人と学校での出来事について話をしていますか	62.7		63.6	59.8

三 読書で拓く心と世界

めくるページ、広がる想像力



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	読書は好きですか	77.8		78.6	71.8
主要	家や図書館で、普段、1日に30分以上読書をしますか	33.9		33.3	35.2

<中学校>

主要	読書は好きですか	78.1	低下	76.1	67.4
主要	家や図書館で、普段、1日に30分以上読書をしますか	29.9	↘	27.9	26.6

四 話して書いて伝え合う国語

国語力は学びの基本



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	68.1	↗	69.9	56.0
主要	解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	—		79.6	67.6
補助	国語の勉強は好きですか	63.7	↗	66.5	58.3
補助	国語の勉強は大切だと思いますか	91.8	↗	92.9	90.3
補助	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.9	↗	83.4	80.0

<中学校>

主要	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	60.7	↘	57.9	41.8
主要	解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	—		81.5	69.4
補助	国語の勉強は好きですか	60.5		61.0	56.7
補助	国語の勉強は大切だと思いますか	91.3	↘	90.2	87.6
補助	国語の授業の内容はよく分かりますか	73.1	↗	74.4	68.8

五 難問・難題にも挑戦する算数・数学

あきらめずやりきることで能力アップ



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.6	↗	82.9	76.8
主要	算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	81.0	↗	82.0	78.3
主要	言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.5	↘	80.3	68.0
補助	算数の勉強は好きですか	69.2	↗	70.8	66.2
補助	算数の勉強は大切だと思いますか	93.5		94.1	91.9
補助	算数の授業の内容はよく分かりますか	81.7	↗	83.6	79.2

<中学校>

主要	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	67.6		66.7	64.8
主要	言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	52.0	↗	60.7	48.0
補助	数学ができるようになりたいと思いますか	91.0		91.5	91.5
補助	数学の勉強は好きですか	53.6	↘	52.1	52.5
補助	数学の勉強は大切だと思いますか	82.6	↘	80.4	77.5
補助	数学の授業の内容はよく分かりますか	69.3	↘	66.1	64.9

六 新発見の連続、広がる総合

総合の時間は脳のビタミン



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	「総合的な学習の時間」の授業では、新しいことを発見できると思いますか	80.1		—	(71.2)
主要	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	83.2	➡	85.8	77.5
補助	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	79.4	➡	82.3	76.0

<中学校>

主要	「総合的な学習の時間」の授業では、新しいことを発見できると思いますか	65.3		—	(48.2)
主要	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	68.9		68.7	58.7
補助	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	70.5		70.1	60.5

七 きまり、ルールは守ってあたりまえ

落ち着いた教室で高まる集中力



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	学校のきまりを守っていますか	90.8	➡	93.0	88.5
補助	携帯電話の使い方について、家の人との約束を守っていますか（持っていないを含む）	—		97.2	94.1
補助	友達との約束を守っていますか	97.2		97.4	96.5

<中学校>

主要	学校の規則を守っていますか	92.8		93.4	88.6
補助	携帯電話の使い方について、家の人との約束を守っていますか（持っていないを含む）	—		90.1	79.8
補助	友達との約束を守っていますか	97.4		97.3	96.1

八 いつも気をつけている言葉づかい

相手意識でみがく活用力



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
補助	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	92.4	➡	93.5	89.4
補助	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	93.7	➡	93.9	91.4
補助	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—		83.0	75.6

<中学校>

補助	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	84.7		85.0	83.0
補助	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	93.7		93.5	91.9
補助	普段の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—		72.3	52.7

九 説明は筋道立てて伝わるように

整理する工夫が脳のトレーニング



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	84.4		84.4	79.3
主要	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	65.3		66.0	56.3
主要	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	74.7		74.9	66.2
主要	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.5		85.3	79.5
補助	授業ではノートをていねいに書いていますか	—		76.2	73.6

<中学校>

主要	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	84.2		82.7	69.6
主要	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	54.2		51.6	39.3
主要	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	67.6		66.8	55.1
主要	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.0		76.4	76.8
補助	授業ではノートをていねいに書いていますか	—		82.5	85.1
補助	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりとに内容を理解しながら読んでいますか。	70.7		70.0	60.7

十 学んだことは生活で学校ですぐ活用

活用できて本当の生きる力



<小学校>

	項目の分類と内容	H20	変化	H21	H21全国
主要	新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	81.4		—	(75.5)
主要	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	73.9		74.4	64.0
補助	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.9		89.8	85.1
補助	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.0	↗	92.4	88.2

<中学校>

主要	新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	67.2		—	58.5
主要	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	41.2	↘	39.2	34.3
補助	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.3	↘	83.1	78.4
補助	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	71.3	↘	69.8	65.2

3年間の全国との肯定的な回答の比較

平成21年度全国学力・学習状況調査						秋田県教育委員会作成					
回答結果集計 [児童質問紙]											
秋田県一児童（公立）と全国の比較						小学校調査					

質問 番号	質 問 事 項	備 考	H19			H20			H21			H20-H21 差
			秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
1	朝食を毎日食べていますか		96.8	95.2	1.6	96.3	95.4	0.9	97.4	96.0	1.4	1.1
2	学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか		87.9	85.2	2.7	88.8	85.3	3.5	90.8	86.5	4.3	2.0
3	毎日、同じくらいの時刻にねていますか		73.9	71.9	2.0	75.3	72.7	2.6	78.6	75.1	3.5	3.3
4	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか		90.1	88.5	1.6	91.2	89.0	2.2	92.3	90.2	2.1	1.1
5	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか		94.1	93.1	1.0	94.8	93.5	1.3	95.7	93.8	1.9	0.9
6	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか		75.9	72.3	3.6	77.4	72.3	5.1	79.7	74.1	5.6	2.3
7	自分には、よいところがあると思いますか		72.8	71.5	1.3	74.6	73.4	1.2	77.5	74.6	2.9	2.9
8	将来の夢や目標をもっていますか		85.7	83.7	2.0	87.6	84.7	2.9	89.6	86.3	3.3	2.0
9	ふだん(月曜日から金曜日)、何時ごろに起きますか	7時より前に起きる	91.1	74.5	16.6	90.3	75.0	15.3	91.8	76.5	15.3	1.5
10	ふだん(月曜日から金曜日)、何時ごろにねますか	10時より前に寝る	52.5	42.1	10.4	50.9	41.4	9.5	53.8	43.3	10.5	2.9
11	ふだん(月曜日から金曜日)、1日にどれくらいの時間、すいみんをとることが最も多いですか	8時間以上	75.9	73.2	2.7	76.0	72.6	3.4	78.8	74.3	4.5	2.8
12	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	2時間未満	42.5	39.9	2.6	29.9	30.2	-0.3	32.4	30.4	2.0	2.5
13	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	2時間未満				76.6	76.0	0.6	76.9	76.7	0.2	0.3
14	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、インターネットをしますか	2時間未満				93.5	92.9	0.6	93.1	92.7	0.4	-0.4
15	携帯電話で通話やメールをしていますか	もっていない、ほとんどしない	90.5	77.6	12.9	87.7	74.3	13.4	88.4	75.8	12.6	0.7
16	学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか	1時間以上	59.4	57.9	1.5	56.9	56.1	0.8	61.2	57.2	4.0	4.3
17	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	23.6	23.0	0.6	23.3	22.7	0.6	24.7	22.8	1.9	1.4
18	学習塾(家庭教師をふくむ)で勉強をしていますか	学習塾に通っていない	79.7	55.1	24.6	77.1	51.5	25.6	78.9	52.4	26.5	1.8
19	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか	30分以上	35.5	39.2	-3.7	33.9	36.8	-2.9	33.3	35.2	-1.9	-0.6
20	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか	週に1～3回程度以上							16.0	18.2	-2.2	
21	家の人とふだん(月曜日から金曜日)、朝食をいっしょに食べますか		66.9	60.7	6.2	67.1	60.7	6.4	67.2	62.2	5.0	0.1
22	家の人とふだん(月曜日から金曜日)、夕食をいっしょに食べますか		91.3	87.8	3.5	91.0	88.0	3.0	91.9	89.0	2.9	0.9
23	家の人と学校での出来事について話をしますか		70.4	68.4	2.0	70.8	69.2	1.6	73.3	70.9	2.4	2.5
24	家の手伝いをしていますか		75.3	78.4	-3.1	73.8	77.5	-3.7	75.5	78.5	-3.0	1.7
25	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	持っていないを含む							97.2	94.1	3.1	
26	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか					64.2	52.0	12.2	68.1	54.7	13.4	3.9
27	家で学校の宿題をしていますか		95.1	94.7	0.4	95.4	95.2	0.2	96.7	95.5	1.2	1.3
28	家で学校の授業の予習をしていますか		46.4	32.9	13.5	49.3	26.9	22.4	54.2	37.5	16.7	4.9
29	家で学校の授業の復習をしていますか		74.5	40.1	34.4	79.7	43.4	36.3	83.2	46.0	37.2	3.5
30	家で苦手の教科の勉強をしていますか								70.8	47.9	22.9	
31	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか					77.8	63.1	14.7	68.6	49.5	19.1	-9.2
32	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか		96.9	96.3	0.6	96.6	96.4	0.2	97.0	96.5	0.5	0.4
33	学校で好きな授業がありますか		93.4	92.7	0.7	93.2	92.4	0.8	94.8	93.3	1.5	1.6
34	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか		68.7	66.0	2.7	70.5	66.1	4.4	73.7	67.8	5.9	3.2
35	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか		54.7	46.0	8.7	57.8	48.2	9.6	57.1	47.2	9.9	-0.7
36	今住んでいる地域の行事に参加していますか		77.4	62.0	15.4	75.6	59.9	15.7	78.1	62.4	15.7	2.5
37	学校のきまりを守っていますか		90.4	86.2	4.2	90.8	86.3	4.5	93.0	88.5	4.5	2.2
38	友達との約束を守っていますか		96.9	96.0	0.9	97.2	96.4	0.8	97.4	96.5	0.9	0.2
39	人が困っているときは、進んで助けていますか		78.4	76.3	2.1	80.8	77.7	3.1	83.2	78.6	4.6	2.4

3年間の全国との肯定的な回答の比較

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [児童質問紙]

秋田県一児童（公立）と全国の比較

小学校調査

質問番号	質問事項	備考	H19			H20			H21			H20-H21 差
			秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
40	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか		91.0	88.6	2.4	92.4	88.7	3.7	93.5	89.4	4.1	1.1
41	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか		92.5	91.0	1.5	93.7	91.9	1.8	93.9	91.4	2.5	0.2
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		96.4	94.7	1.7	96.4	94.7	1.7	97.0	94.9	2.1	0.6
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか		93.2	91.9	1.3	93.6	92.4	1.2	94.7	92.5	2.2	1.1
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか		80.1	75.3	4.8	79.4	73.6	5.8	82.3	76.0	6.3	2.9
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、ふだんの生活や社会に出たときに役に立つと思いますか		82.8	78.3	4.5	83.2	75.7	7.5	85.8	77.5	8.3	2.6
46	ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか								59.0	53.0	6.0	
47	ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思いますか					84.4	79.7	4.7	84.4	79.3	5.1	0.0
48	ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか								83.0	75.6	7.4	
49	授業では、ノートをていねいに書いていますか								76.2	73.6	2.6	
50	400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか								27.7	30.7	-3.0	
51	学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか								35.2	34.8	0.4	
52	国語の勉強は好きですか		64.8	59.6	5.2	63.7	56.1	7.6	66.5	58.3	8.2	2.8
53	国語の勉強は大切だと思いますか		92.6	91.1	1.5	91.8	89.4	2.4	92.9	90.3	2.6	1.1
54	国語の授業の内容はよく分かりますか		80.0	78.0	2.0	80.9	78.0	2.9	83.4	80.0	3.4	2.5
55	読書は好きですか		75.6	71.3	4.3	77.8	72.3	5.5	78.6	71.8	6.8	0.8
56	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		90.0	87.6	2.4				89.8	85.1	4.7	
57	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか					68.1	56.4	11.7	69.9	56.0	13.9	1.8
58	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てをくふうしていますか					65.3	57.3	8.0	66.0	56.3	9.7	0.7
59	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか					74.7	67.1	7.6	74.9	66.2	8.7	0.2
60	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか					77.7	71.9	5.8	77.5	70.8	6.7	-0.2
61	国語B-1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しいと思いますか								43.0	45.8	-2.8	
62	解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか								79.6	67.6	12.0	
63	算数の勉強は好きですか		68.2	65.0	3.2	69.2	65.4	3.8	70.8	66.2	4.6	1.6
64	算数の勉強は大切だと思いますか		94.2	92.5	1.7	93.5	91.7	1.8	94.1	91.9	2.2	0.6
65	算数の授業の内容はよく分かりますか		79.9	77.1	2.8	81.7	78.4	3.3	83.6	79.2	4.4	1.9
66	算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか		79.6	76.1	3.5	81.0	77.2	3.8	82.0	78.3	3.7	1.0
67	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか		78.9	74.7	4.2	80.6	76.0	4.6	82.9	76.8	6.1	2.3
68	算数の授業で学習したことをふだんの生活の中で活用できないか考えますか		69.9	62.3	7.6	73.9	65.1	8.8	74.4	64.0	10.4	0.5
69	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		92.6	90.1	2.5	91.0	87.4	3.6	92.4	88.2	4.2	1.4
70	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか					81.8	77.0	4.8	83.6	78.1	5.5	1.8
71	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか					85.7	78.4	7.3	85.6	78.7	6.9	-0.1
72	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか					85.5	81.4	4.1	85.3	79.5	5.8	-0.2
73	言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか					98.5	96.6	1.9	80.3	68.0	12.3	-18.2
74	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)		90.1	87.1	3.0	65.9	55.4	10.5	62.9	56.6	6.3	-3.0
75	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)		66.1	69.8	-3.7	59.9	58.1	1.8	64.1	62.0	2.1	4.2
76	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)		92.9	90.0	2.9	85.8	79.0	6.8	90.1	83.6	6.5	4.3
77	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)		66.2	67.6	-1.4	68.4	68.3	0.1	71.3	70.7	0.6	2.9

3年間の全国との肯定的な回答の比較

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [生徒質問紙]

秋田県一生涯（公立）と全国の比較

中学校調査

質問 番号	質 問 事 項	備 考	H19			H20			H21			H20-H21 差
			秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
1	朝食を毎日食べていますか		95.5	91.6	3.9	95.7	91.9	3.8	96.3	92.4	3.9	0.6
2	学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか		89.0	83.1	5.9	89.6	83.3	6.3	90.5	83.8	6.7	0.9
3	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		69.7	66.9	2.8	73.9	68.2	5.7	73.8	69.4	4.4	-0.1
4	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか		91.7	88.9	2.8	93.2	90.4	2.8	93.4	90.9	2.5	0.2
5	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか		94.3	92.0	2.3	94.3	91.9	2.4	94.6	91.9	2.7	0.3
6	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか		65.9	62.0	3.9	67.9	61.9	6.0	67.1	62.1	5.0	-0.8
7	自分には、よいところがあると思いますか		63.9	60.5	3.4	66.3	60.8	5.5	66.5	61.2	5.3	0.2
8	将来の夢や目標を持っていますか		75.0	70.7	4.3	77.1	70.7	6.4	77.1	71.0	6.1	0.0
9	普段（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか	7時より前に起きる	82.2	63.9	18.3	83.1	65.1	18.0	83.0	65.7	17.3	-0.1
10	普段（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか	11時より前に寝る	37.8	29.8	8.0	38.3	29.4	8.9	38.9	31.8	7.1	0.6
11	普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか	8時間以上	23.1	23.4	-0.3	25.2	23.9	1.3	24.1	25.2	-1.1	-1.1
12	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	2時間未満	41.1	38.8	2.3	36.7	33.0	3.7	38.9	35.0	3.9	2.2
13	普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	2時間未満				82.9	78.5	4.4	83.1	78.8	4.3	0.2
14	普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、インターネットをしますか	2時間未満				86.7	84.0	2.7	84.8	82.7	2.1	-1.9
15	携帯電話で通話やメールをしていますか	もっていない、ほとんどしない	57.2	44.8	12.4	57.4	42.8	14.6	62.4	45.2	17.2	5.0
16	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	1時間以上	65.1	65.0	0.1	67.6	65.4	2.2	70.2	65.3	4.9	2.6
17	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	45.7	36.8	8.9	48.8	36.7	12.1	52.0	37.1	14.9	3.2
18	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	学習塾に通っていない	67.5	40.2	27.3	62.4	35.8	26.6	66.0	36.7	29.3	3.6
19	家や図書館で、普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書を読みますか	30分以上	31.3	29.7	1.6	29.9	27.9	2.0	27.9	26.6	1.3	-2.0
20	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか	週に1～3回程度以上							4.9	7.9	-3.0	
21	家の人と普段（月曜日から金曜日）、朝食を一緒に食べていますか		51.3	40.6	10.7	52.9	40.6	12.3	54.3	42.3	12.0	1.4
22	家の人と普段（月曜日から金曜日）、夕食を一緒に食べていますか		84.8	80.3	4.5	84.3	80.4	3.9	85.2	81.7	3.5	0.9
23	家の人と学校での出来事について話をしていますか		61.7	57.8	3.9	62.7	57.9	4.8	63.6	59.8	3.8	0.9
24	あなたは、家の手伝いをしていますか		58.1	63.3	-5.2	56.3	60.6	-4.3	57.7	63.0	-5.3	1.4
25	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	持っていないを含む							90.1	79.8	10.3	
26	家で自分で計画を立てて勉強していますか					41.7	34.2	7.5	46.2	37.9	8.3	4.5
27	家で学校の宿題をしていますか		87.7	80.2	7.5	88.2	81.4	6.8	91.0	83.0	8.0	2.8
28	家で学校の授業の予習をしていますか		36.1	29.5	6.6	36.1	28.4	7.7	36.7	29.5	7.2	0.6
29	家で学校の授業の復習をしていますか		63.1	39.2	23.9	67.1	39.6	27.5	71.1	40.5	30.6	4.0
30	苦手な教科の勉強をしていますか								63.0	41.7	21.3	
31	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか					65.8	52.9	12.9	55.2	38.1	17.1	-10.6
32	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか		95.3	94.5	0.8	95.6	94.7	0.9	95.1	94.7	0.4	-0.5
33	学校で好きな授業がありますか		80.0	77.5	2.5	80.2	77.2	3.0	82.2	78.7	3.5	2.0
34	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか		70.0	67.3	2.7	70.7	64.1	6.6	71.8	66.1	5.7	1.1
35	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか		29.4	22.3	7.1	31.9	23.5	8.4	30.9	23.4	7.5	-1.0
36	今住んでいる地域の行事に参加していますか		46.7	37.5	9.2	45.1	37.0	8.1	46.3	37.8	8.5	1.2
37	学校の規則を守っていますか		90.7	85.7	5.0	92.8	87.4	5.4	93.4	88.6	4.8	0.6
38	友達との約束を守っていますか		97.0	95.6	1.4	97.4	96.1	1.3	97.3	96.1	1.2	-0.1
39	人が困っているときは、進んで助けていますか		75.8	72.4	3.4	76.5	72.7	3.8	76.5	72.2	4.3	0.0

3年間の全国との肯定的な回答の比較

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [生徒質問紙]

秋田県一生涯（公立）と全国の比較

中学校調査

質問 番号	質 問 事 項	備 考	H19			H20			H21			H20-H21 差
			秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
40	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか		82.1	82.4	-0.3	84.7	82.7	2.0	85.0	83.0	2.0	0.3
41	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか		92.8	91.8	1.0	93.7	92.5	1.2	93.5	91.9	1.6	-0.2
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		89.6	87.9	1.7	92.5	89.5	3.0	92.5	90.3	2.2	0.0
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか		90.4	89.6	0.8	91.7	90.5	1.2	91.6	90.4	1.2	-0.1
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか		68.6	59.9	8.7	70.5	59.3	11.2	70.1	60.5	9.6	-0.4
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、ふだんの生活や社会に出たときに役に立つと思いますか		67.7	59.7	8.0	68.9	56.9	12.0	68.7	58.7	10.0	-0.2
46	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか								37.8	24.6	13.2	
47	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか					84.2	74.5	9.7	82.7	69.6	13.1	-1.5
48	普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか								72.3	52.7	19.6	
49	授業では、ノートを丁寧に書いていますか								82.5	85.1	-2.6	
50	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか								24.7	26.7	-2.0	
51	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか								26.4	24.9	1.5	
52	国語の勉強は好きですか		59.4	56.8	2.6	60.5	55.2	5.3	61.0	56.7	4.3	0.5
53	国語の勉強は大切だと思いますか		92.0	89.9	2.1	91.3	87.3	4.0	90.2	87.6	2.6	-1.1
54	国語の授業の内容はよく分かりますか		69.6	65.4	4.2	73.1	66.8	6.3	74.4	68.8	5.6	1.3
55	読書は好きですか		75.2	67.9	7.3	78.1	69.0	9.1	76.1	67.4	8.7	-2.0
56	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		88.3	84.8	3.5	85.3	79.7	5.6	83.1	78.4	4.7	-2.2
57	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか					60.7	43.1	17.6	57.9	41.8	16.1	-2.8
58	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか					54.2	39.9	14.3	51.6	39.3	12.3	-2.6
59	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか					67.6	55.5	12.1	66.8	55.1	11.7	-0.8
60	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか					70.7	61.5	9.2	70.0	60.7	9.3	-0.7
61	国語Bー2の問題にあるような、長い文章を読むのは難しいと思いますか								43.1	44.5	-1.4	
62	解答を文章で書く問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか								81.5	69.4	12.1	
63	数学の勉強は好きですか		49.4	51.0	-1.6	53.6	52.8	0.8	52.1	52.5	-0.4	-1.5
64	数学の勉強は大切だと思いますか		81.8	78.8	3.0	82.6	78.1	4.5	80.4	77.5	2.9	-2.2
65	数学の授業の内容はよく分かりますか		62.2	63.6	-1.4	69.3	65.5	3.8	66.1	64.9	1.2	-3.2
66	数学ができるようになりたいと思いますか		89.8	89.9	-0.1	91.0	89.0	2.0	91.5	91.5	0.0	0.5
67	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか		63.7	63.0	0.7	67.6	63.6	4.0	66.7	64.8	1.9	-0.9
68	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか		35.5	30.7	4.8	41.2	34.6	6.6	39.2	34.3	4.9	-2.0
69	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		73.7	69.2	4.5	71.3	65.6	5.7	69.8	65.2	4.6	-1.5
70	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えていますか					68.4	62.7	5.7	67.8	63.6	4.2	-0.6
71	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか					72.6	65.5	7.1	71.7	65.7	6.0	-0.9
72	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか					78.0	77.0	1.0	76.4	76.8	-0.4	-1.6
73	解答を言葉や式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか					52.0	42.7	9.3	60.7	48.0	12.7	8.7
74	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)		95.6	94.7	0.9	90.5	89.9	0.6	94.6	94.1	0.5	4.1
75	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)		80.0	85.4	-5.4	61.9	68.0	-6.1	90.1	91.1	-1.0	28.2
76	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)		93.2	92.8	0.4	88.8	89.0	-0.2	91.8	92.0	-0.2	3.0
77	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)		68.8	76.8	-8.0	56.8	68.5	-11.7	80.4	85.4	-5.0	23.6

3年間の全国との肯定的な回答の比較

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [学校質問紙]

秋田県一学校（公立）と全国の比較

小学校調査

質問 番号	質 問 事 項	H19			H20			H21			H20-H21 差
		秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
11	第6学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	94.0	90.6	3.4	95.5	91.8	3.7	96.1	92.0	4.1	0.6
12	第6学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95.1	89.8	5.3	93.6	90.0	3.6	95.0	90.2	4.8	1.4
13	第6学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	91.1	85.9	5.2	92.8	87.1	5.7	95.7	87.2	8.5	2.9
17	学校の教育用コンピュータ1台当たりの児童数	64.9	48.4	16.5	64.7	47.2	17.5	64.6	47.6	17.0	-0.1
18	学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数(事務職員は除く)	37.6	31.2	6.4	44.1	38.9	5.2	47.9	47.4	0.5	3.8
19	普通教室にLANが整備されていますか	58.5	43.5	15.0	58.2	44.9	13.3	60.7	47.7	13.0	2.5
20	司書教諭が置かれていますか							28.4	53.5	-25.1	
21	学校図書館図書基準が達成されていますか	35.8	46.4	-10.6	39.9	47.9	-8.0	42.8	50.7	-7.9	2.9
22	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する(いわゆる「学校司書」など)が置かれていますか(ボランティアは除く)							13.2	39.5	-26.3	
23	第6学年の児童に対して、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか	98.9	92.0	6.9	99.2	93.2	6.0	97.7	89.6	8.1	-1.5
24	第6学年の児童に対して、学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか	39.4	59.9	-20.5	40.7	67.3	-26.6	68.1	77.8	-9.7	27.4
25	第6学年の児童に対して、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	61.4	40.9	20.5	61.2	41.9	19.3	61.4	48.8	12.6	0.2
26	第6学年の児童に対して、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	1.1	2.1	-1.0	0.4	1.7	-1.3	0.8	1.2	-0.4	0.4
27	第6学年の児童に対して、長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	58.5	47.8	10.7	62.0	50.0	12.0	35.8	25.2	10.6	-26.2
28	児童の様々な考えを引き出し、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか				95.1	94.2	0.9	97.3	94.8	2.5	2.2
29	児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか				98.8	96.9	1.9	98.5	97.4	1.1	-0.3
30	児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか				74.9	66.2	8.7	80.5	69.5	11.0	5.6
31	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか				97.7	96.6	1.1	98.5	97.3	1.2	0.8
32	学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか				99.6	97.7	1.9	99.2	97.9	1.3	-0.4
33	児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えていますか				94.0	91.3	2.7	95.8	91.6	4.2	1.8
34	児童に対して本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導していますか							98.1	93.1	5.0	
35	児童に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか							89.4	90.3	-0.9	
36	児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか							95.3	91.2	4.1	
37	学校や地域であいさつするよう指導していますか				100.0	99.4	0.6	99.2	99.2	0.0	-0.8
38	国語の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか				9.8	13.2	-3.4	11.7	13.4	-1.7	1.9
39	国語の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか				17.5	19.7	-2.2	17.1	19.5	-2.4	-0.4
40	国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか				29.7	30.3	-0.6	31.1	32.8	-1.7	1.4
41	算数の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか				4.2	6.7	-2.5	4.3	7.1	-2.8	0.1
42	算数の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか				7.6	10.7	-3.1	6.2	10.2	-4.0	-1.4
43	算数の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか				25.5	25.5	0.0	26.1	26.8	-0.7	0.6
44	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか				94.7	86.9	7.8	96.9	91.7	5.2	2.2
45	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか				99.2	88.1	11.1	98.8	92.9	5.9	-0.4
46	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか				93.9	77.4	16.5	96.9	83.5	13.4	3.0
47	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか				91.6	48.6	43.0	95.3	59.8	35.5	3.7
48	学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成19・20年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか				92.4	81.8	10.6	96.9	84.6	12.3	4.5
49	平成20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか							95.7	72.1	23.6	
50	調査対象の児童に対する算数の授業において、前年度に習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	94.3	80.7	13.6	51.8	40.5	11.3	42.0	39.7	2.3	-9.8
51	調査対象の児童に対する算数の授業において、前年度に習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか							31.5	32.2	-0.7	
52	第6学年の算数の授業で、習熟度別の少人数による指導を行うにあたって、少人数学習集団をどのように編制しましたか							64.2	50.7	13.5	
53	習熟度別の少人数による指導を行うにあたり、学習プリント等の教材として、主にどのようなものを用いましたか				58.5	45.9	12.6	54.9	43.1	11.8	-3.6
54	調査対象の児童に対する算数の授業で、第4学年のとき習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習熟できるようにしましたか							38.1	33.8	4.3	
55	調査対象の児童に対する算数の授業で、第4学年のとき習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか							27.2	27.6	-0.4	

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [学校質問紙]

秋田県一学校（公立）と全国の比較

小学校調査

質問 番号	質 問 事 項	H19			H20			H21			H20-H21 差
		秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
56	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか							74.7	68.9	5.8	
57	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに発展的な学習の指導を行いましたか							36.9	39.2	-2.3	
58	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか							91.5	87.5	4.0	
59	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに書く習慣を付ける授業を行いましたか							91.8	89.1	2.7	
60	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか							89.9	83.3	6.6	
61	調査対象の児童に対する国語の授業で、前年度までに漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか							98.8	97.9	0.9	
62	第6学年の国語の授業では、教科担任制を実施していましたか	2.1	2.2	-0.1	3.0	2.1	0.9	1.9	2.2	-0.3	-1.1
63	調査対象の児童に対する算数の授業で、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか							95.7	86.7	9.0	
64	調査対象の児童に対する算数の授業で、前年度までに発展的な学習の指導を行いましたか							62.6	54.5	8.1	
65	調査対象の児童に対する算数の授業で、前年度までに実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか							70.1	61.9	8.2	
66	調査対象の児童に対する算数の授業で、前年度までに計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか							96.9	98.0	-1.1	
67	第6学年の算数の授業では、教科担任制を実施していましたか	6.7	5.1	1.6	5.7	4.9	0.8	0.0	0.0	0.0	-5.7
68	発達障害を含む障害のある児童に対して「個別の指導計画」を作成していますか							89.1	80.6	8.5	
69	調査対象の児童に対して、前年度までに地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか							73.5	74.2	-0.7	
70	調査対象の児童に対して、前年度までにボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか							22.9	35.1	-12.2	
71	調査対象の児童に対して、前年度までに博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか							28.8	34.1	-5.3	
72	職場見学や職場体験活動を行っていますか	43.6	32.6	11.0	42.2	34.4	7.8	46.7	36.2	10.5	4.5
73	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	95.7	95.9	-0.2	96.9	95.8	1.1	97.7	96.3	1.4	0.8
74	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか							65.4	73.1	-7.7	
75	調査対象である第6学年の児童に対して、第5学年間までの間に集団宿泊活動を行いましたか							98.1	93.6	4.5	
76	調査対象の児童の国語の指導として、前年度までに家庭学習の課題(宿題)を与えましたか							96.2	99.0	-2.8	
77	調査対象の児童の国語の指導として、前年度までに保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか							98.5	93.0	5.5	
78	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか							93.8	76.0	17.8	
79	国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか							98.8	95.6	3.2	
80	調査対象の児童の算数の指導として、前年度までに家庭学習の課題(宿題)を与えましたか							97.7	99.0	-1.3	
81	調査対象の児童の算数の指導として、前年度までに保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか							98.8	92.4	6.4	
82	算数の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか							94.6	75.6	19.0	
83	算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか							99.2	95.2	4.0	
84	調査対象である第6学年の児童に対して、前年度、定期的な家庭訪問をどれくらい行いましたか							84.0	92.8	-8.8	
85	調査対象である第6学年を対象とした授業参観を、前年度、どれくらい実施しましたか							5.4	4.0	1.4	
86	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか							65.8	62.2	3.6	
87	保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか							98.8	99.6	-0.8	
88	地域の人々が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか	99.7	80.0	19.7	98.9	81.2	17.7	95.7	81.9	13.8	-3.2
89	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	77.7	91.0	-13.3	80.9	92.1	-11.2	82.1	91.9	-9.8	1.2
90	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	89.8	91.3	-1.5	87.9	92.7	-4.8	91.0	93.7	-2.7	3.1
91	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	98.9	96.3	2.6	99.6	96.1	3.5	98.8	96.2	2.6	-0.8
92	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか	90.6	83.3	7.3	91.9	84.3	7.6	89.8	83.0	6.8	-2.1
93	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか				99.3	93.9	5.4	98.9	94.1	4.8	-0.4
94	指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力合っていますか				98.5	96.1	2.4	97.7	97.2	0.5	-0.8
95	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教育職員の間で共有し、取組にあたっていますか				100.0	98.0	2.0	99.7	98.4	1.3	-0.3
96	学校運営に校長のリーダーシップが発揮できていると思いますか	90.5	92.0	-1.5	91.3	91.5	-0.2	89.9	90.7	-0.8	-1.4
98	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか				96.6	77.5	19.1	97.3	81.5	15.8	0.7

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [学校質問紙]

秋田県一学校（公立）と全国と比較

中学校調査

質問 番号	質 問 事 項	H19			H20			H21			H20-H21 差
		秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
11	第3学年の生徒は、熱意を持って勉強していると思いますか	92.5	84.0	8.5	94.7	85.1	9.6	91.0	85.2	5.8	-3.7
12	第3学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	99.3	90.4	8.9	97.7	91.2	6.5	97.0	90.6	6.4	-0.7
13	第3学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	94.8	87.0	7.8	96.2	88.0	8.2	97.8	86.5	11.3	1.6
17	学校の教育用コンピュータ1台当たりの生徒数	68.6	49.2	19.4	67.4	47.7	19.7	72.4	47.5	24.9	5.0
18	学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数(事務職員は除く)	32.1	29.1	3.0	34.9	38.2	-3.3	41.1	46.6	-5.5	6.2
19	普通教室にLANが整備されていますか	64.9	43.6	21.3	65.2	45.3	19.9	64.9	46.5	18.4	-0.3
20	司書教諭が置かれていますか							31.3	54.7	-23.4	
21	学校図書館図書基準が達成されていますか	33.6	41.7	-8.1	34.1	42.3	-8.2	32.8	43.8	-11.0	-1.3
22	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員(いわゆる「学校司書」 など)が置かれていますか(ボランティアは除く)							18.6	39.7	-21.1	
23	第3学年の生徒に対して、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか	95.5	84.6	10.9	96.2	86.4	9.8	91.8	79.2	12.6	-4.4
24	第3学年の生徒に対して、学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか	38.1	38.3	-0.2	33.3	39.7	-6.4	49.3	47.6	1.7	16.0
25	第3学年の生徒に対して、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	77.6	55.4	22.2	84.8	57.2	27.6	64.1	47.2	16.9	-20.7
26	第3学年の生徒に対して、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	4.5	3.3	1.2	3.0	3.4	-0.4	2.2	2.2	0.0	-0.8
27	第3学年の生徒に対して、長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施していますか	91.0	75.0	16.0	91.7	77.0	14.7	72.5	60.2	12.3	-19.2
28	生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか				92.4	88.8	3.6	96.3	89.6	6.7	3.9
29	生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか				96.2	91.5	4.7	94.8	92.5	2.3	-1.4
30	生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか				96.2	95.9	0.3	96.3	95.9	0.4	0.1
31	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話を するなど)の維持を徹底していますか				98.5	95.7	2.8	97.0	96.8	0.2	-1.5
32	学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する 指導をしていますか				97.7	97.1	0.6	100.0	97.0	3.0	2.3
33	生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えていますか				89.4	84.6	4.8	88.8	80.9	7.9	-0.6
34	生徒に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導 していますか							91.8	83.0	8.8	
35	生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか							94.0	81.5	12.5	
36	生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をして いますか							94.0	85.5	8.5	
37	学校や地域であいさつをするよう指導していますか				99.2	98.7	0.5	100.0	98.9	1.1	0.8
38	国語の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか				5.3	3.4	1.9	3.0	3.4	-0.4	-2.3
39	国語の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータ等を使う 学習活動を行っていますか				8.4	6.6	1.8	11.2	6.7	4.5	2.8
40	国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、ディ ジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか				15.9	13.4	2.5	19.4	14.9	4.5	3.5
41	数学の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか				1.5	2.3	-0.8	0.7	2.1	-1.4	-0.8
42	数学の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータを使う学 習活動を行っていますか				7.6	4.0	3.6	6.7	3.4	3.3	-0.9
43	数学の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、ディ ジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか				22.0	14.1	7.9	23.2	14.3	8.9	1.2
44	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画に反映 させましたか				95.5	86.0	9.5	95.5	90.0	5.5	0.0
45	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改 善に活用しましたか				98.5	82.9	15.6	97.8	88.7	9.1	-0.7
46	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけ ではなく、学校全体で活用しましたか				89.4	71.4	18.0	90.3	78.7	11.6	0.9
47	平成19・20年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか				84.1	39.2	44.9	86.6	50.8	35.8	2.5
48	学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成19・20年度全国学力・学習状況 調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか				91.7	78.9	12.8	91.0	80.8	10.2	-0.7
49	平成20年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人 たちに対して公表や説明を行いましたか							88.8	68.1	20.7	
50	調査対象の生徒に対する数学の授業において、前年度に習熟の遅いグループに対 して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	81.4	72.1	9.3	47.8	36.7	11.1	44.0	33.9	10.1	-3.8
51	調査対象の生徒に対する数学の授業において、前年度に習熟の早いグループに対 して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか							36.5	29.6	6.9	
52	調査対象である第3学年の生徒に対する数学の授業において、習熟度別の少人数 による指導を行うにあたって、少人数学習集団をどのように編制しましたか							62.7	41.8	20.9	
53	習熟度別の少人数による指導を行うにあたって、学習プリント等の教材として、主 にどのようなものを用いましたか				62.9	37.8	25.1	53.0	33.2	19.8	-9.9
54	調査対象の生徒に対する数学の授業で、第1学年のとき習熟の遅いグループに対 して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか							31.4	27.8	3.6	
55	調査対象の生徒に対する数学の授業で、第1学年のとき習熟の早いグループに対 して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか							23.9	23.9	0.0	

平成21年度全国学力・学習状況調査

秋田県教育委員会作成

回答結果集計 [学校質問紙]

秋田県一学校（公立）と全国と比較

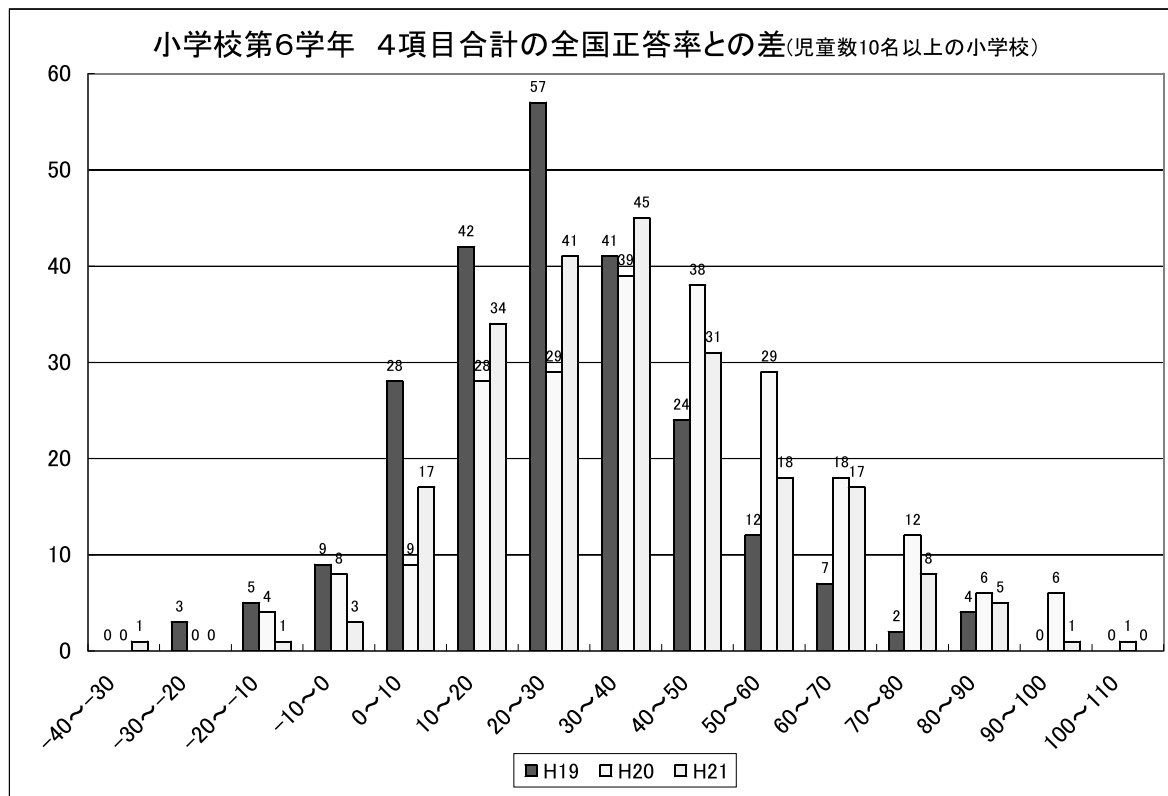
中学校調査

質問 番号	質 問 事 項	H19			H20			H21			H20-H21 差
		秋田	全国	差	秋田	全国	差	秋田	全国	差	
56	調査対象の生徒に対する国語の授業で、前年度までに補足的な学習の指導を行いましたか							83.5	74.1	9.4	
57	調査対象の生徒に対する国語の授業で、前年度までに発展的な学習の指導を行いましたか							55.3	50.9	4.4	
58	調査対象の生徒に対する国語の授業で、前年度までに目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか							83.5	76.1	7.4	
59	調査対象の生徒に対する国語の授業で、前年度までに書く習慣を付ける授業を行いましたか							92.5	90.9	1.6	
60	調査対象の生徒に対する国語の授業で、前年度までに様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか							82.9	82.7	0.2	
61	調査対象の生徒に対する国語の授業で、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか							95.5	97.9	-2.4	
62	調査対象の生徒に対する数学の授業で、前年度までに補足的な学習の指導を行いましたか							92.6	86.1	6.5	
63	調査対象の生徒に対する数学の授業で、前年度までに発展的な学習の指導を行いましたか							59.7	55.5	4.2	
64	調査対象の生徒に対する数学の授業で、前年度までに実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか							62.7	49.9	12.8	
65	調査対象の生徒に対する数学の授業で、前年度までに計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか							88.8	94.9	-6.1	
66	発達障害を含む障害のある生徒に対して「個別指導計画」を作成していますか							78.4	75.5	2.9	
67	調査対象の生徒に対して、前年度までに地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか							58.2	56.6	1.6	
68	調査対象の生徒に対して、前年度までにボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか							11.1	18.5	-7.4	
69	調査対象の生徒に対して、前年度までに博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか							20.1	16.7	3.4	
70	職場見学や職場体験活動を行っていますか	96.3	96.0	0.3	94.7	96.8	-2.1	97.8	97.1	0.7	3.1
71	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	94.8	92.0	2.8	91.6	93.0	-1.4	88.0	92.5	-4.5	-3.6
72	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか							47.7	55.1	-7.4	
73	調査対象の生徒に対する国語の指導として、前年度までに家庭学習の課題(宿題)を与えましたか							91.7	87.0	4.7	
74	調査対象の生徒に対する国語の指導として、前年度までに保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか							70.2	69.8	0.4	
75	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか							85.8	70.5	15.3	
76	国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか							97.7	93.6	4.1	
77	調査対象の生徒に対する数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか							95.6	90.5	5.1	
78	調査対象の生徒に対する数学の指導として、前年度までに保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか							76.1	70.1	6.0	
79	数学の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか							87.3	70.7	16.6	
80	数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか							97.7	92.9	4.8	
81	調査対象である第3学年の生徒に対して、前年度、定期的な家庭訪問をどれくらい行いましたか							68.6	82.1	-13.5	
82	調査対象である第3学年を対象とした授業参観を、前年度、どれくらい実施しましたか							11.9	6.5	5.4	
83	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか							61.2	58.7	2.5	
84	保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどのくらい実施しましたか							98.5	99.4	-0.9	
85	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか	97.8	74.6	23.2	98.5	76.9	21.6	88.1	77.2	10.9	-10.4
86	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	69.4	83.1	-13.7	65.9	82.9	-17.0	67.2	82.6	-15.4	1.3
87	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	85.1	78.5	6.6	85.6	81.2	4.4	88.9	82.5	6.4	3.3
88	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	99.2	90.3	8.9	96.2	90.9	5.3	99.2	91.0	8.2	3.0
89	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか	70.9	52.9	18.0	65.1	55.2	9.9	61.2	54.5	6.7	-3.9
90	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか				96.2	86.6	9.6	95.5	86.8	8.7	-0.7
91	指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力合っていますか				94.0	90.9	3.1	95.6	92.3	3.3	1.6
92	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっていますか				100.0	96.7	3.3	100.0	96.8	3.2	0.0
93	学校運営に校長のリーダーシップが発揮できていると思いますか	92.6	90.6	2.0	88.6	89.3	-0.7	91.0	88.1	2.9	2.4
95	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか				85.7	65.2	20.5	86.5	68.3	18.2	0.8

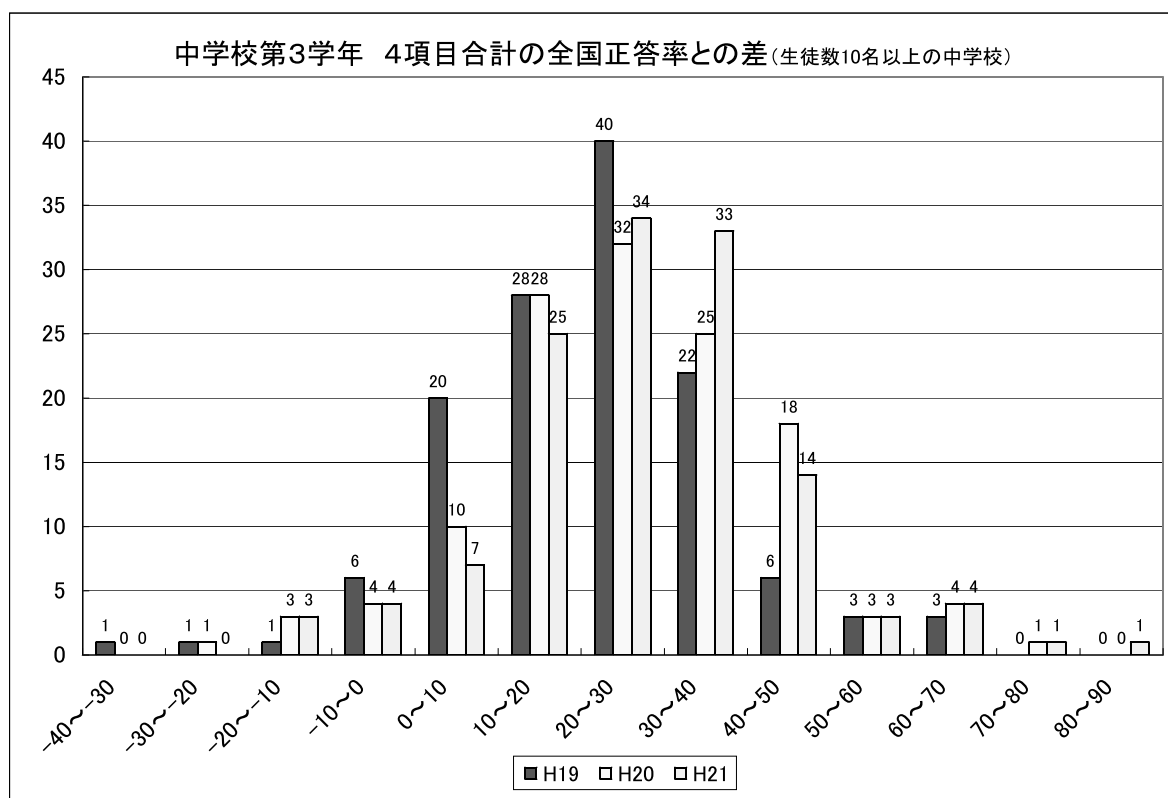
全国平均との差について学校度数分布グラフ

— 児童生徒数10名以上の学校について —

【小学校】



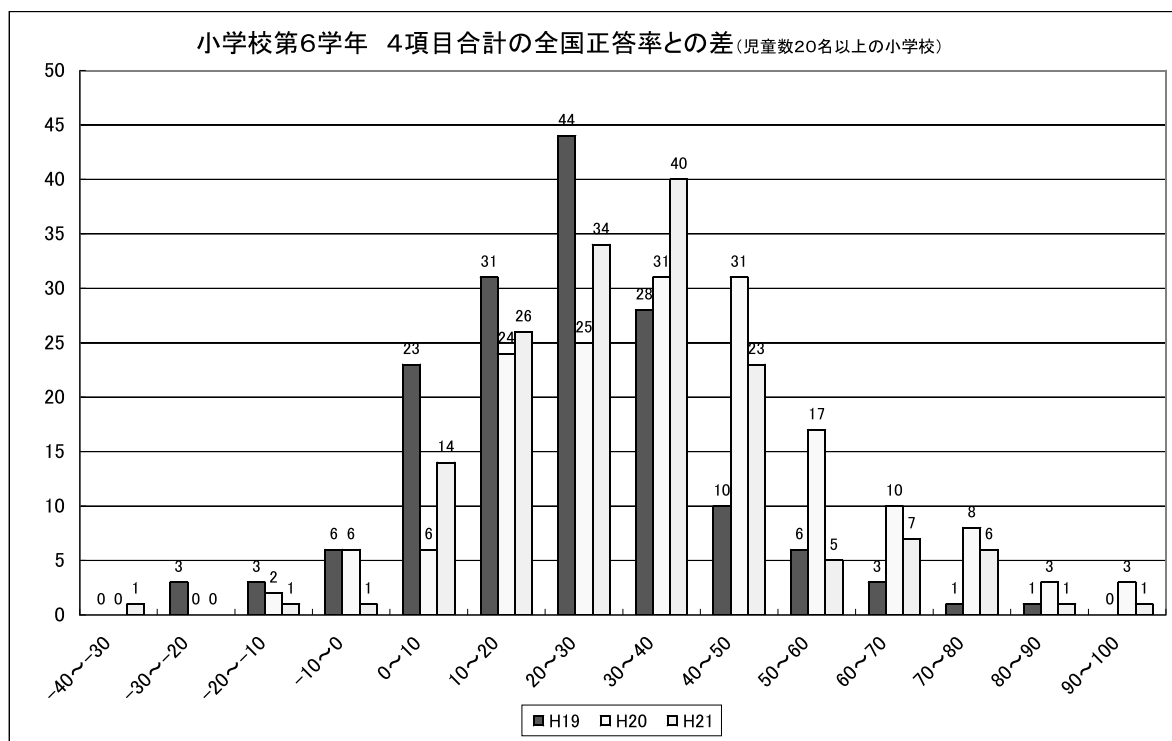
【中学校】



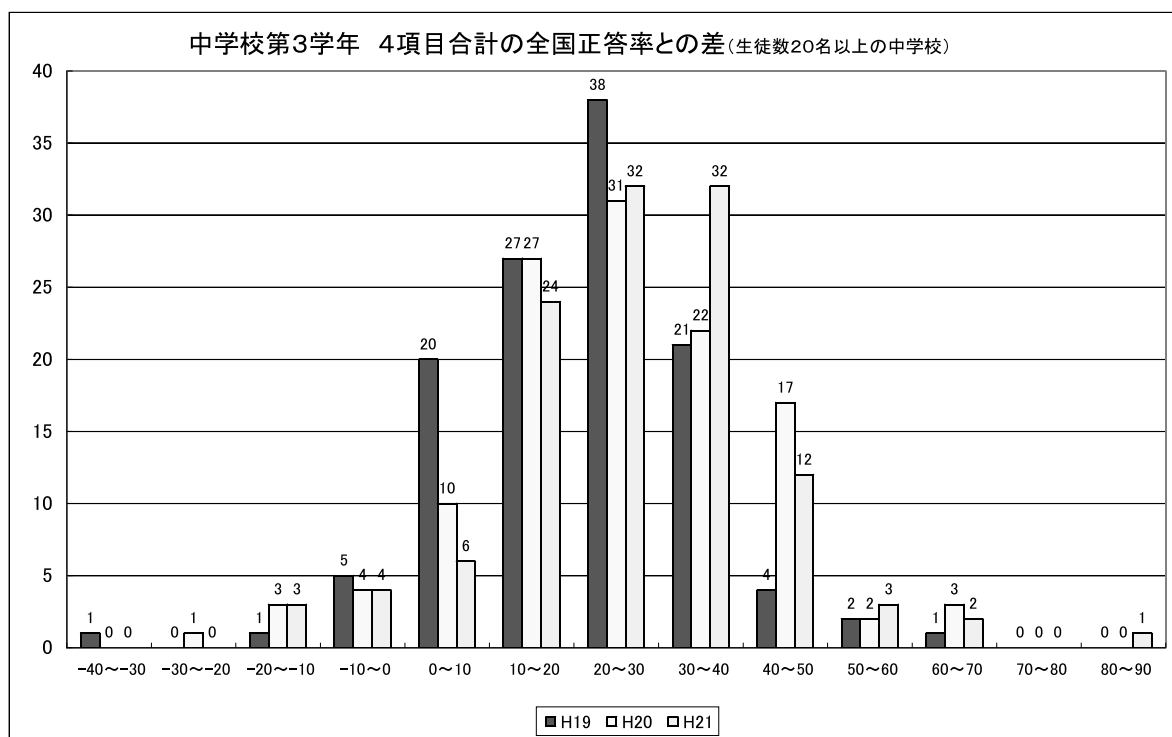
全国平均との差について学校度数分布グラフ

— 児童生徒数20名以上の学校について —

【小学校】

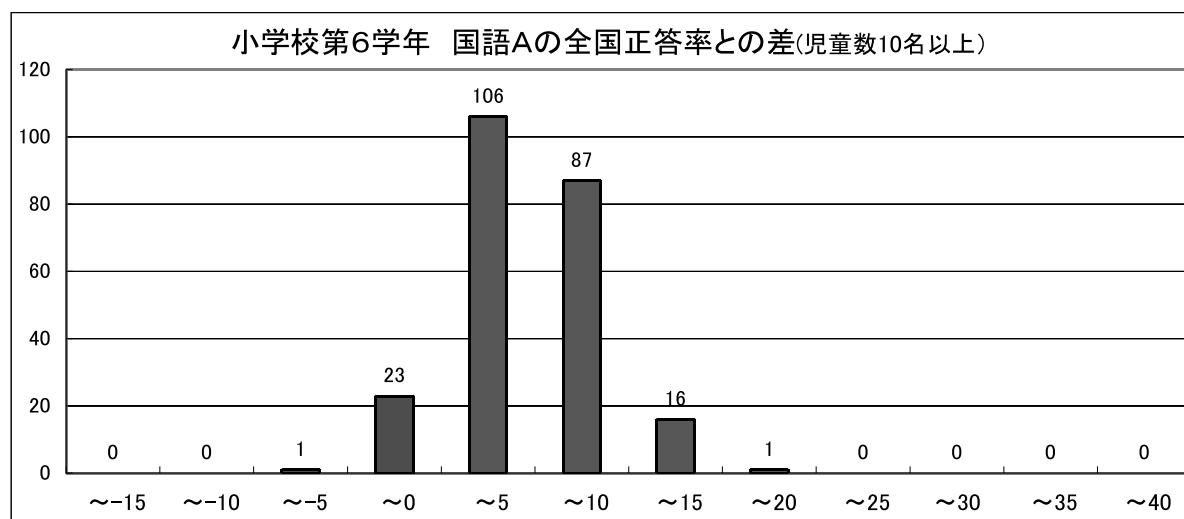


【中学校】

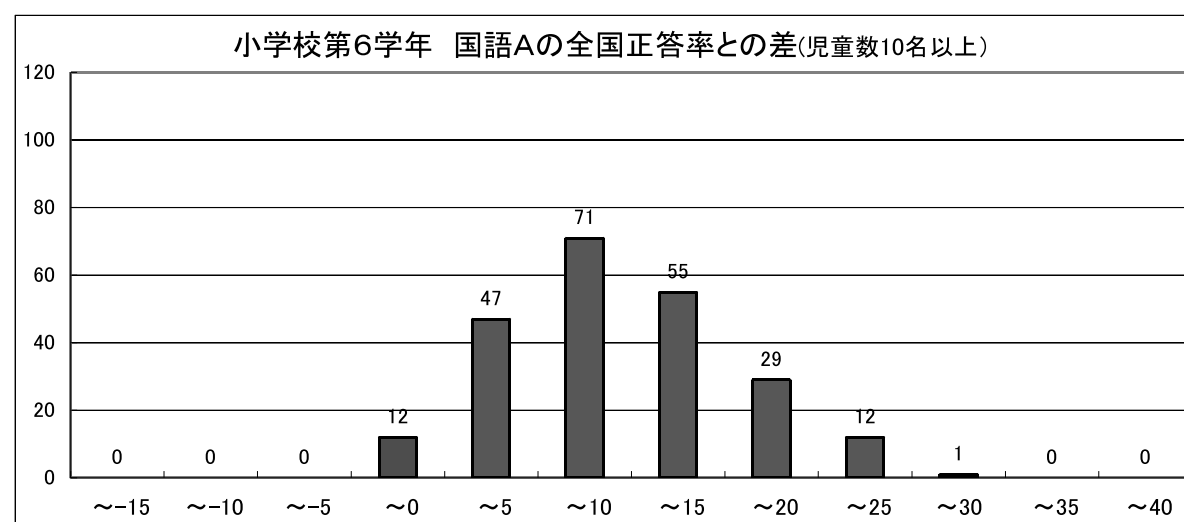


学校度数分布の３年間の推移－小学校国語Ａ

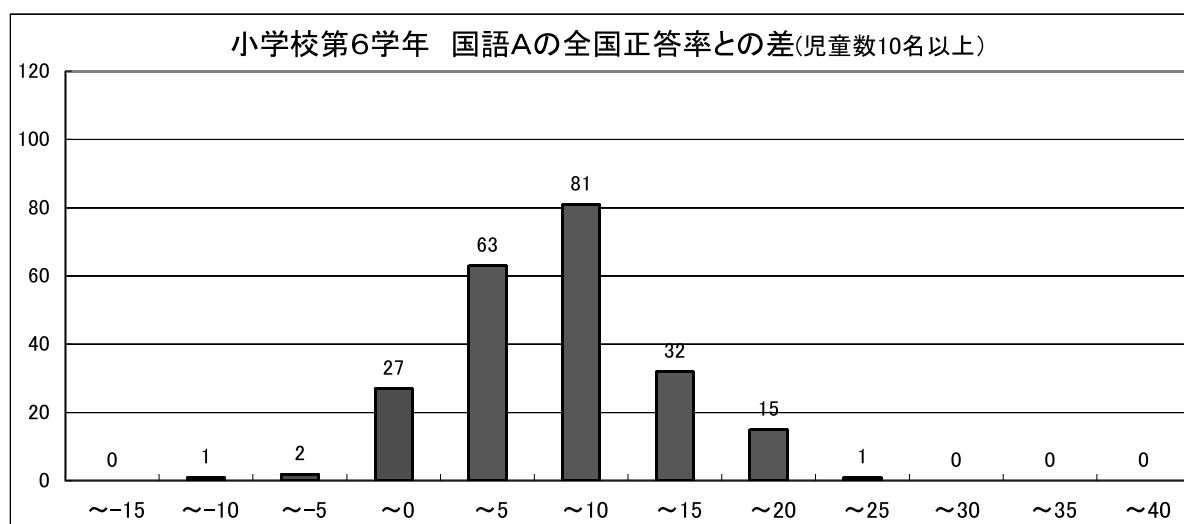
H 1 9



H 2 0

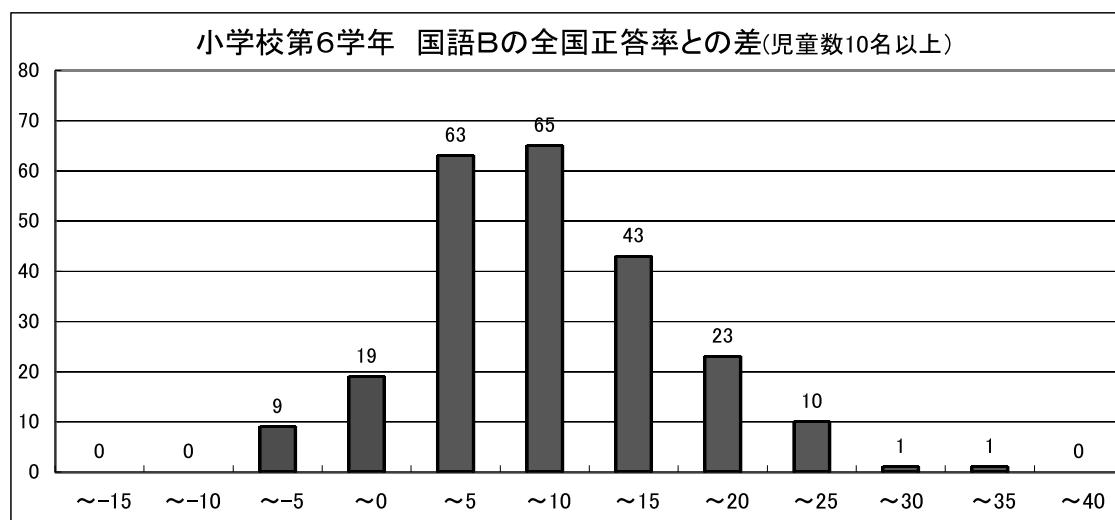


H 2 1

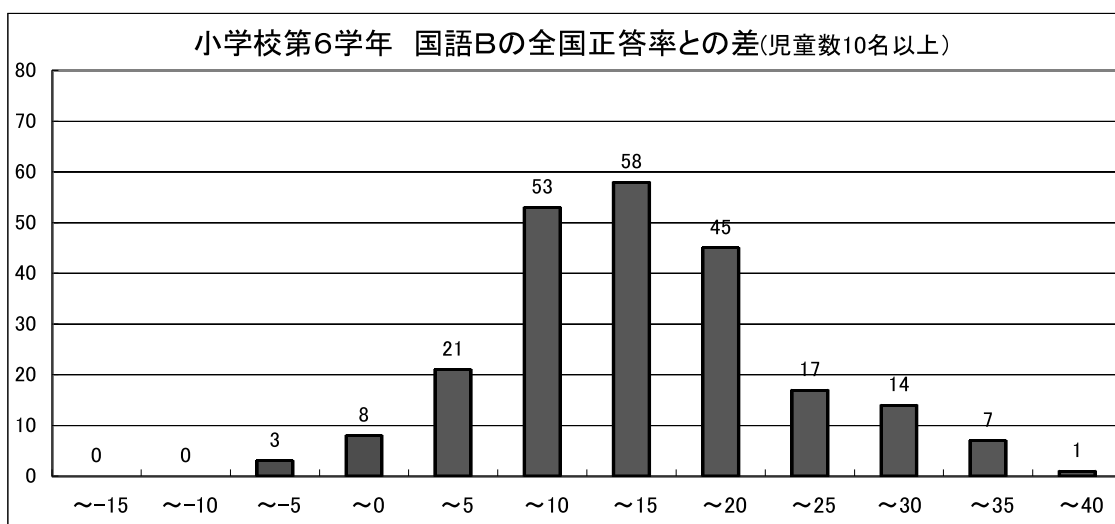


学校度数分布の３年間の推移－小学校国語Ｂ

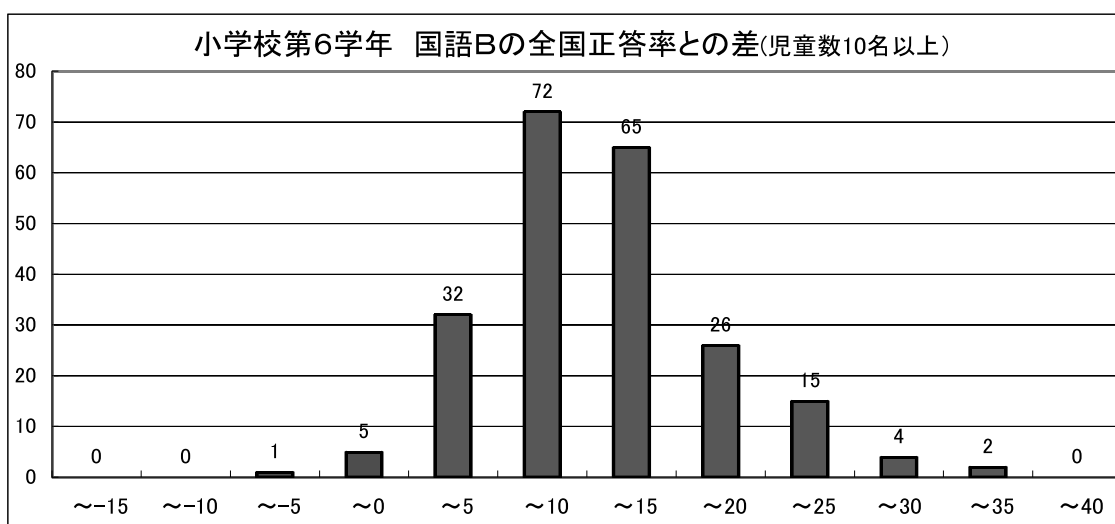
H 1 9



H 2 0

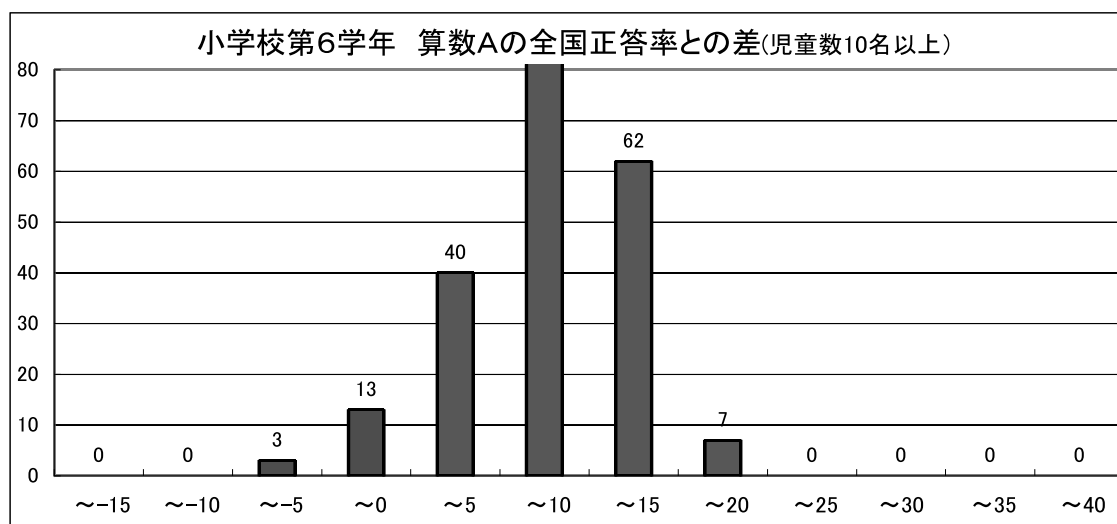


H 2 1

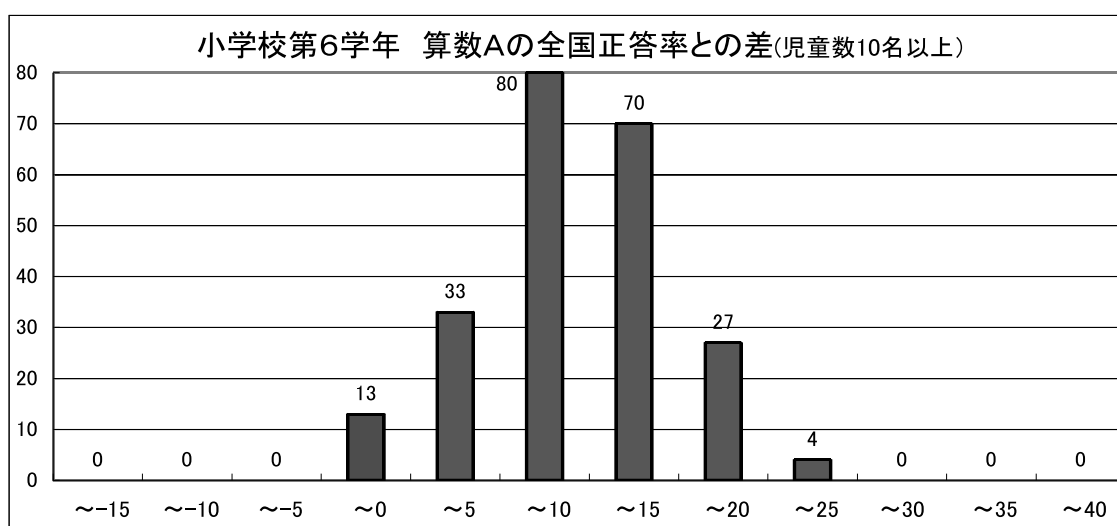


学校度数分布の３年間の推移－小学校算数Ａ

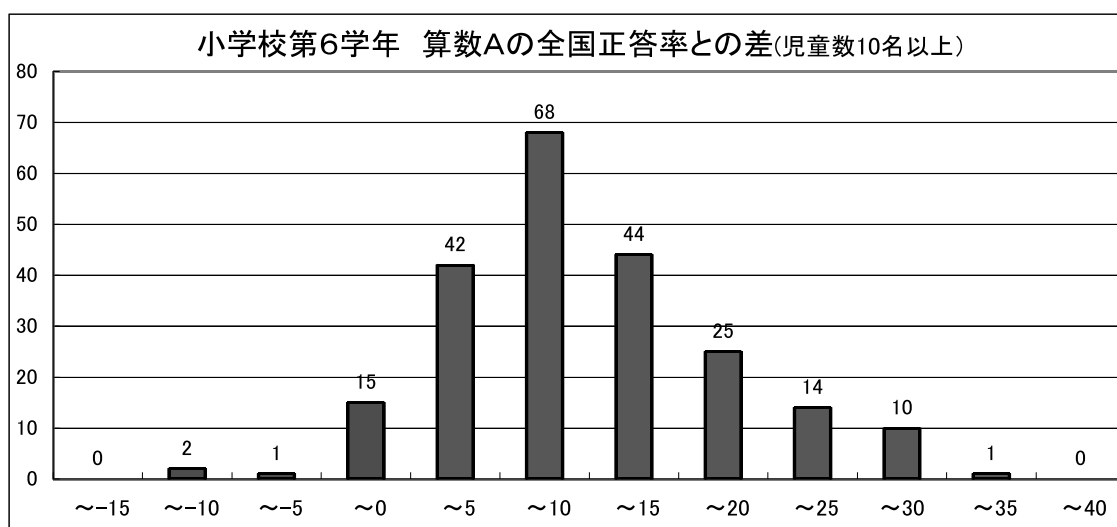
H 1 9



H 2 0

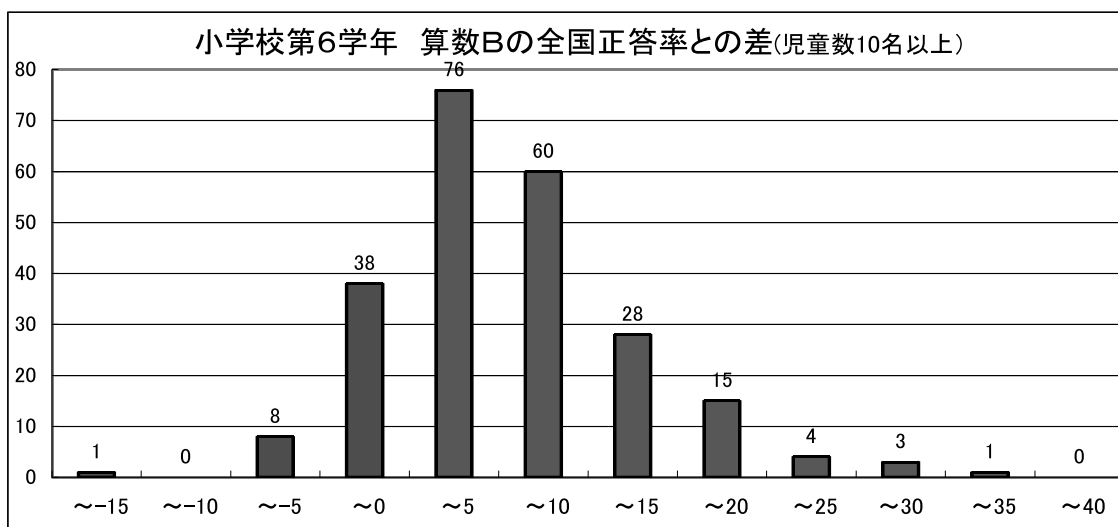


H 2 1

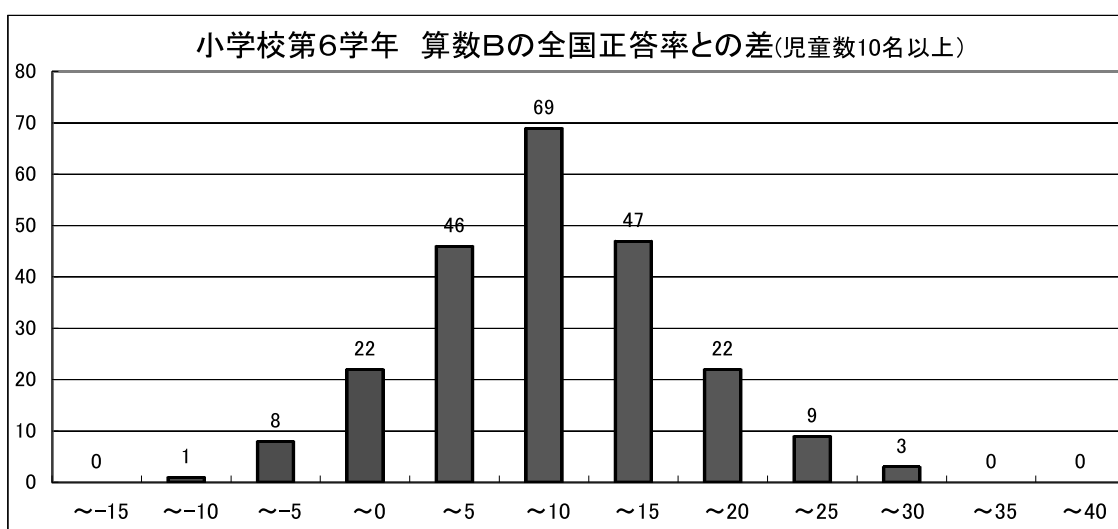


学校度数分布の３年間の推移－小学校算数Ｂ

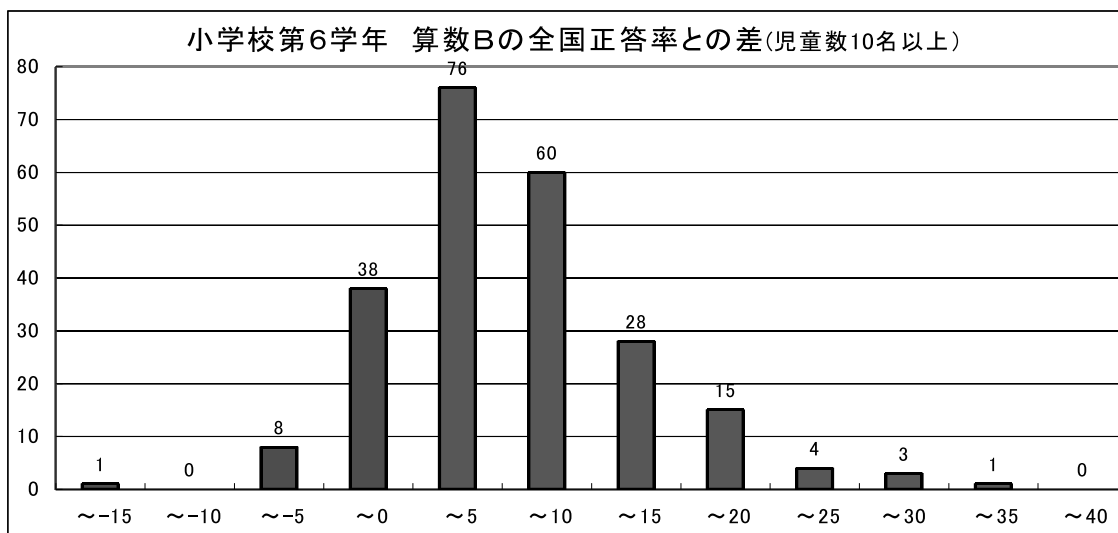
H 1 9



H 2 0

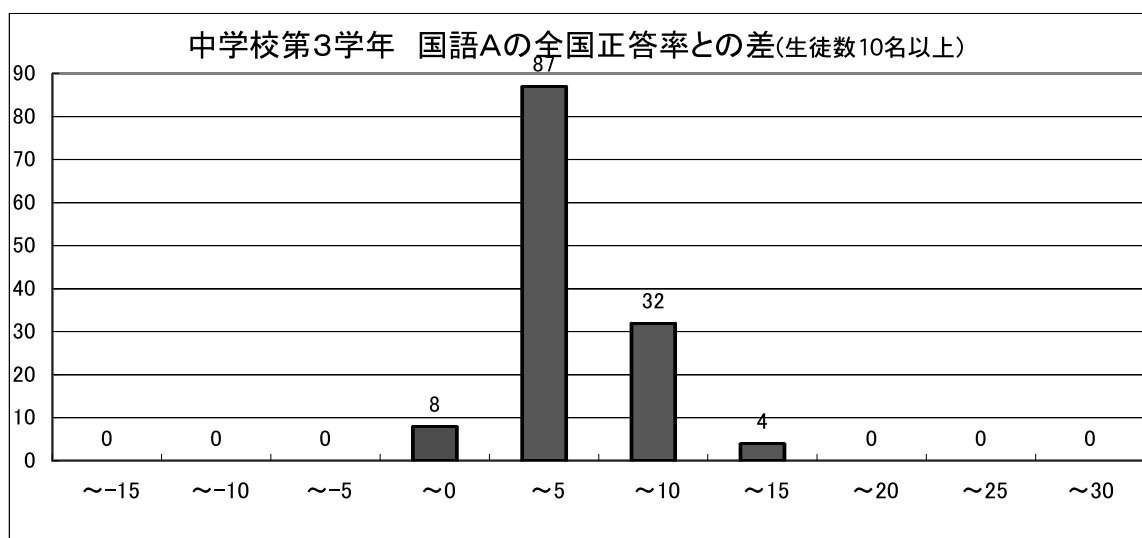


H 2 1

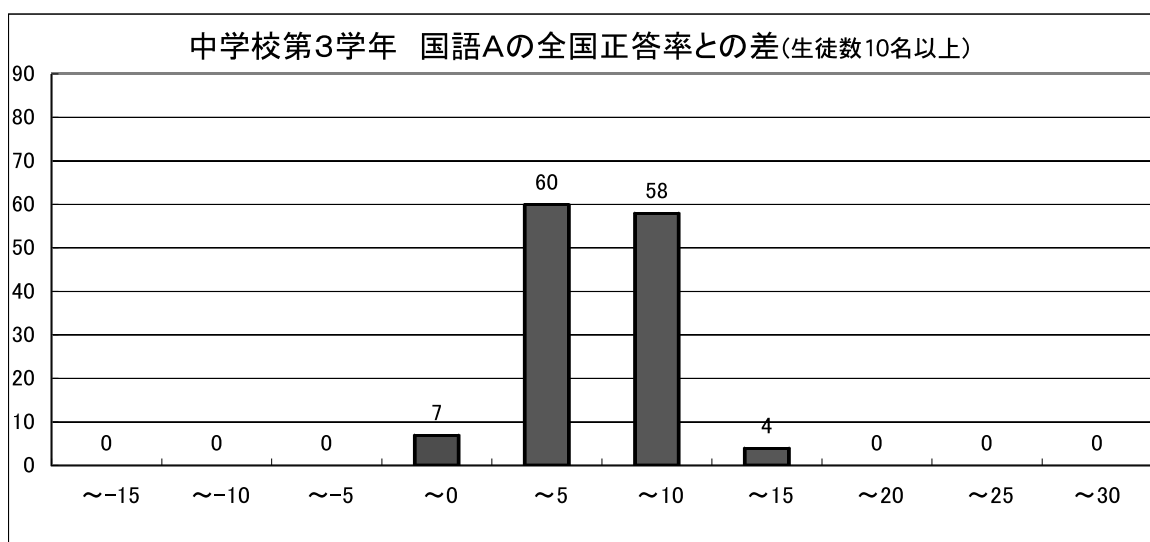


学校度数分布の3年間の推移－中学校国語A

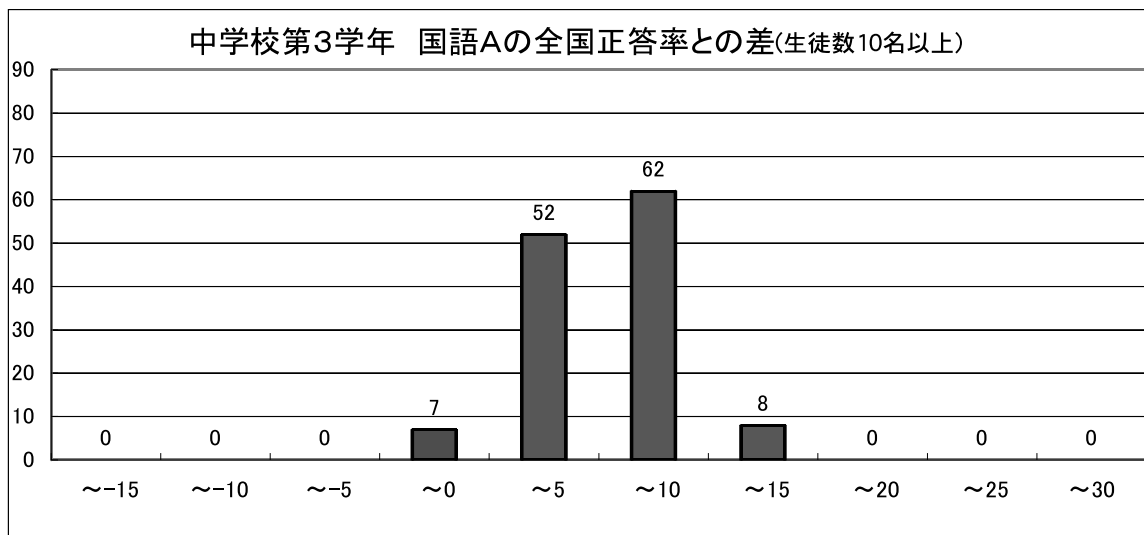
H 1 9



H 2 0

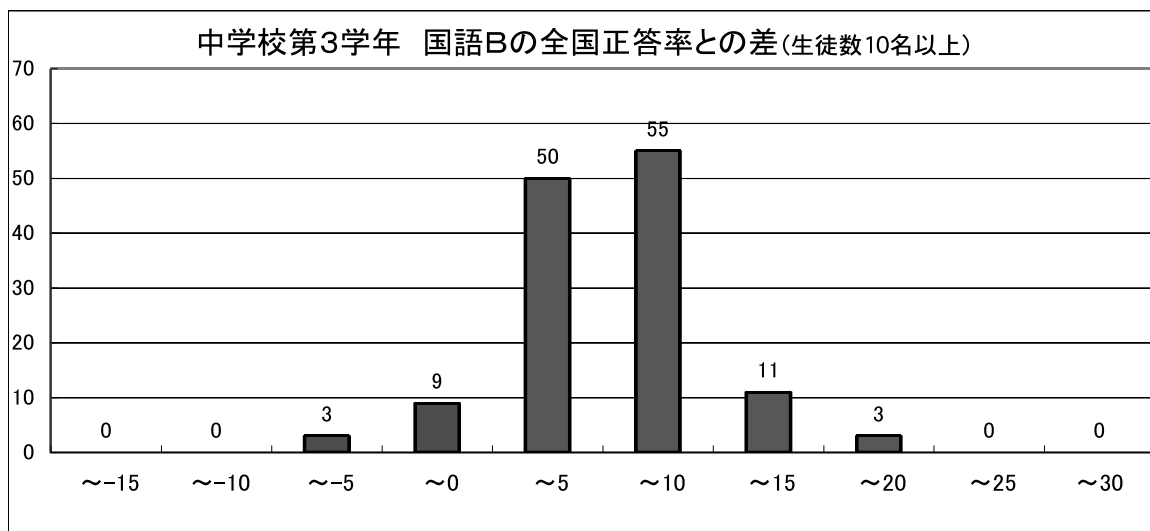


H 2 1

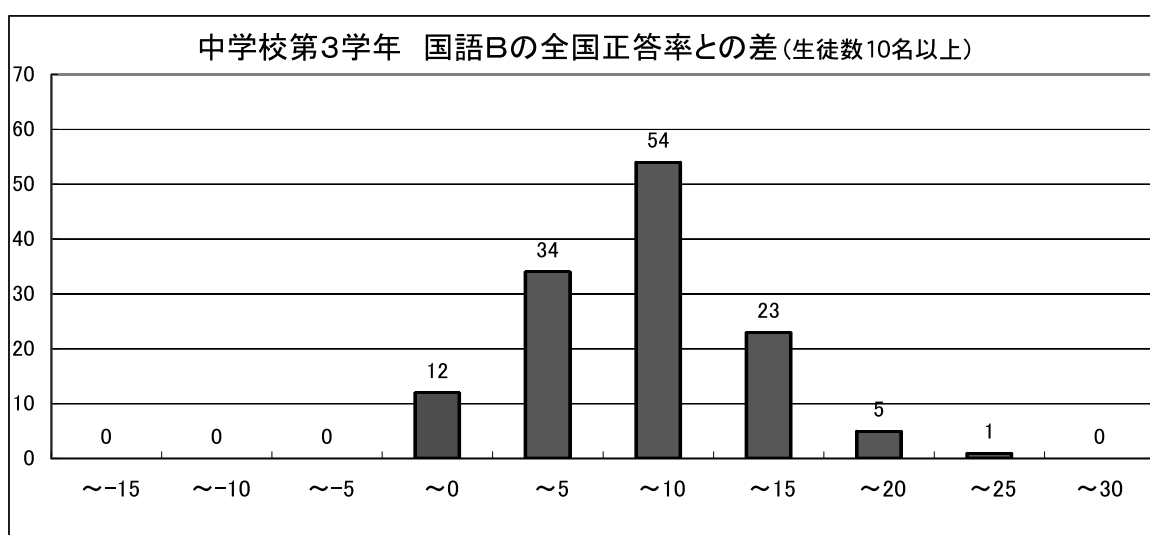


学校度数分布の３年間の推移－中学校国語Ｂ

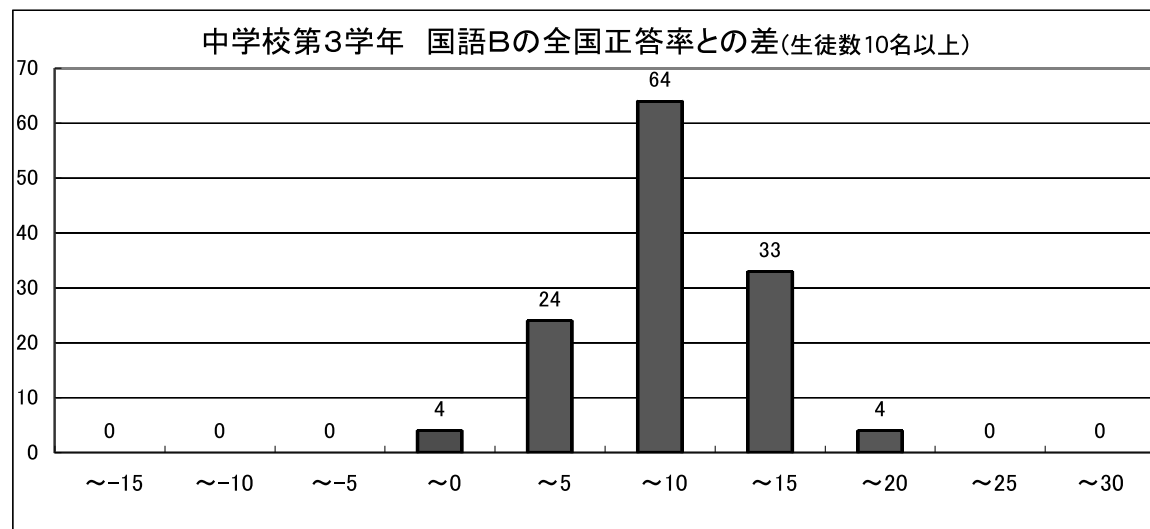
H 1 9



H 2 0

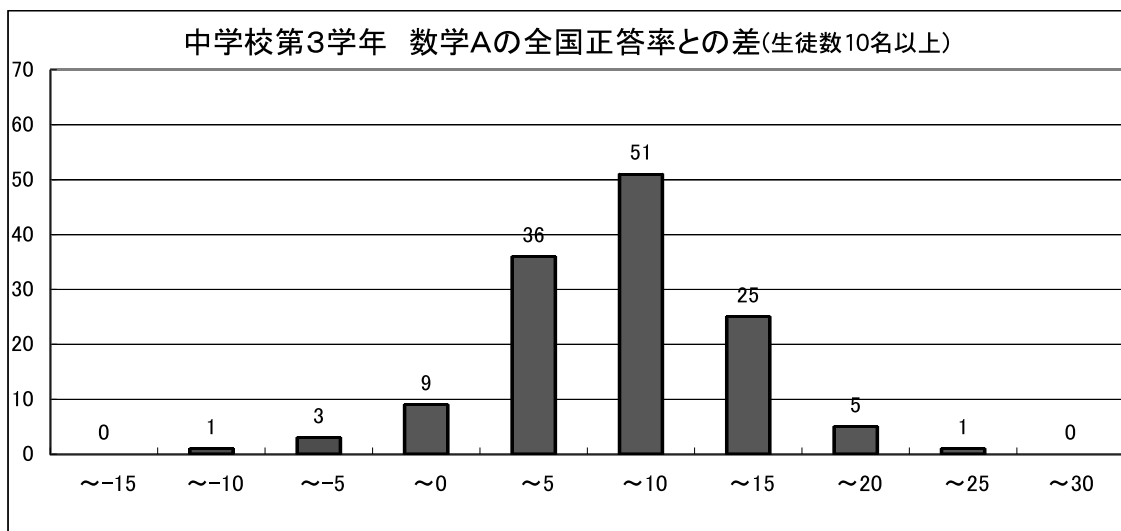


H 2 1

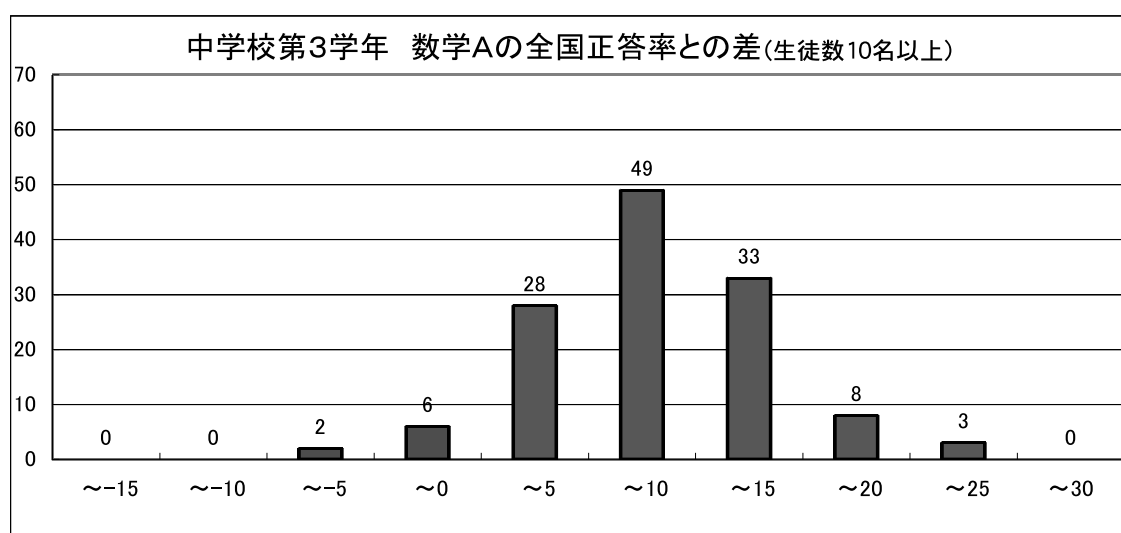


学校度数分布の３年間の推移－中学校数学Ａ

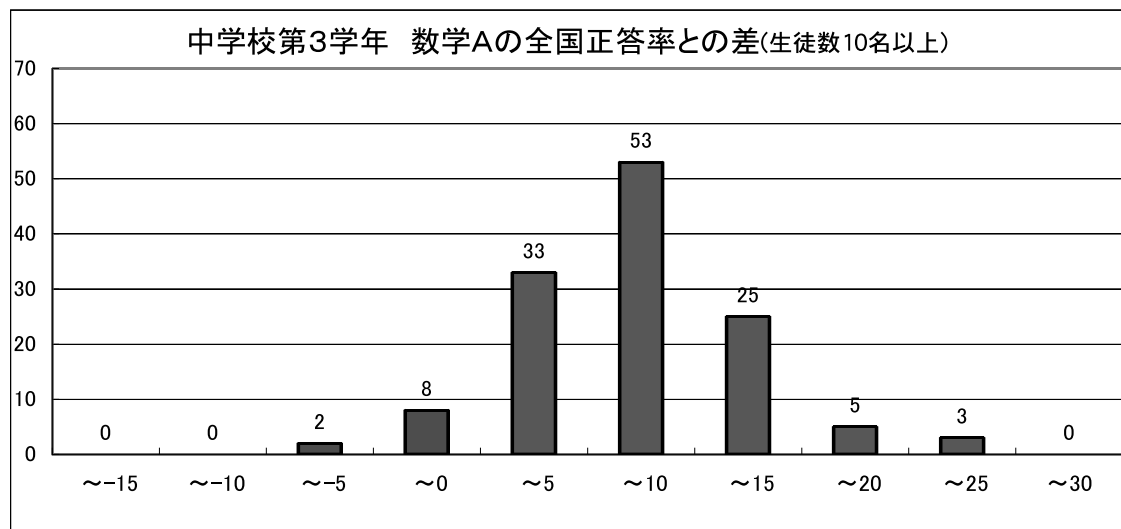
H 1 9



H 2 0

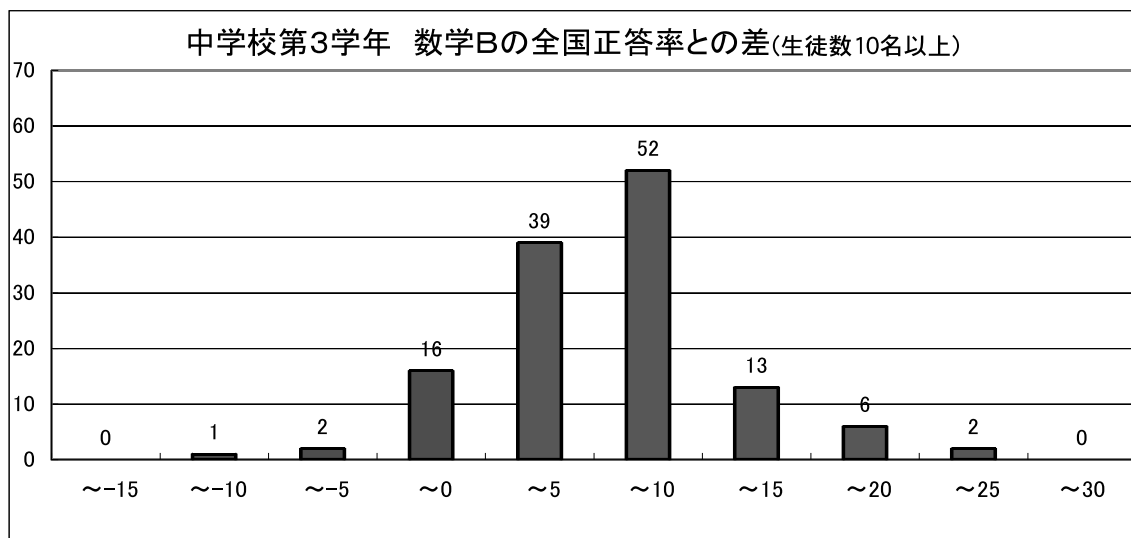


H 2 1

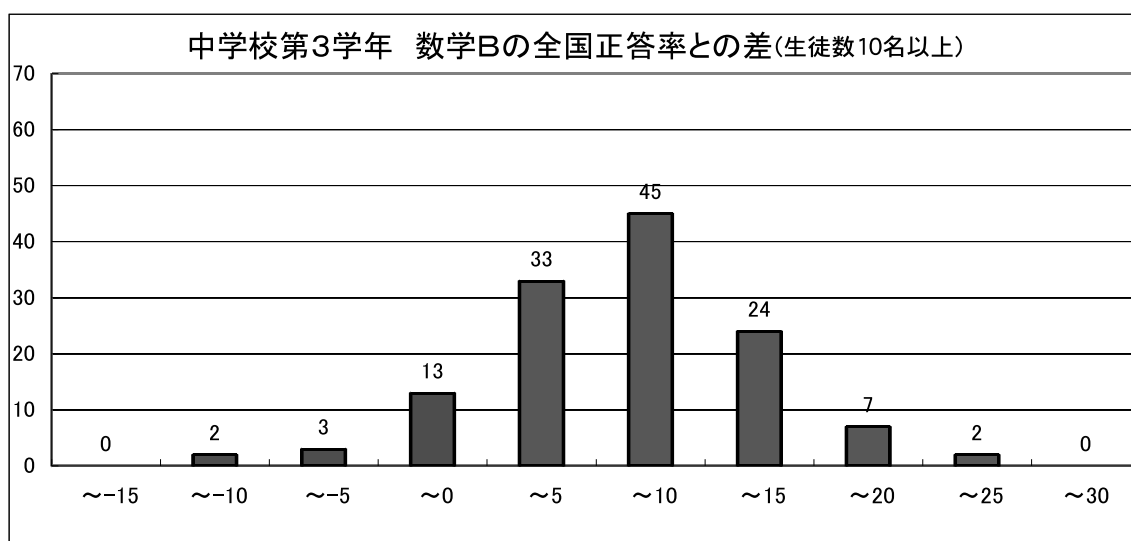


学校度数分布の３年間の推移－中学校数学Ｂ

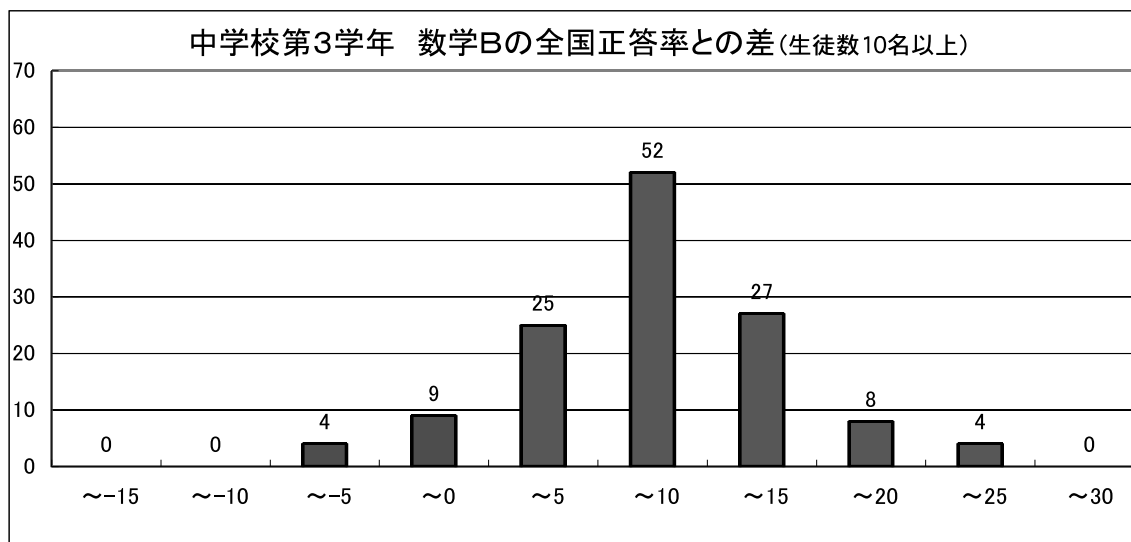
H 1 9



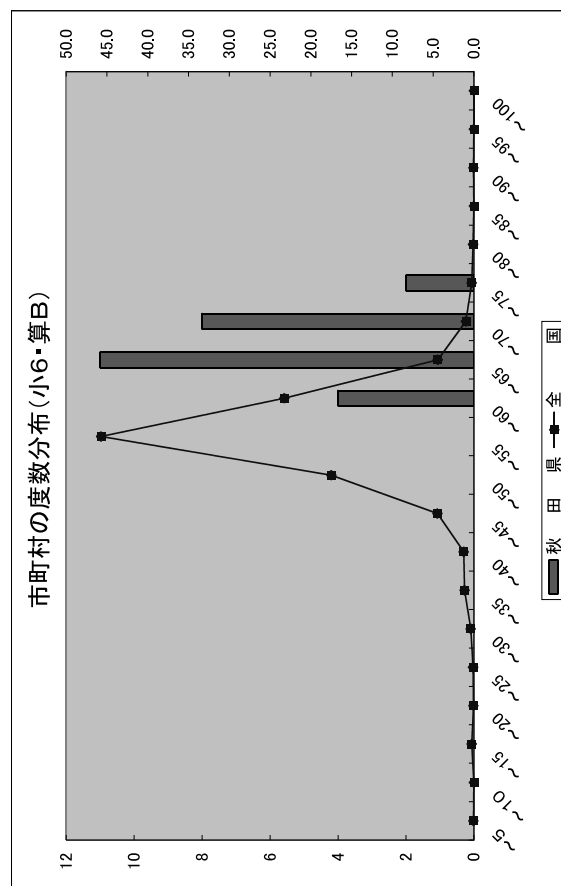
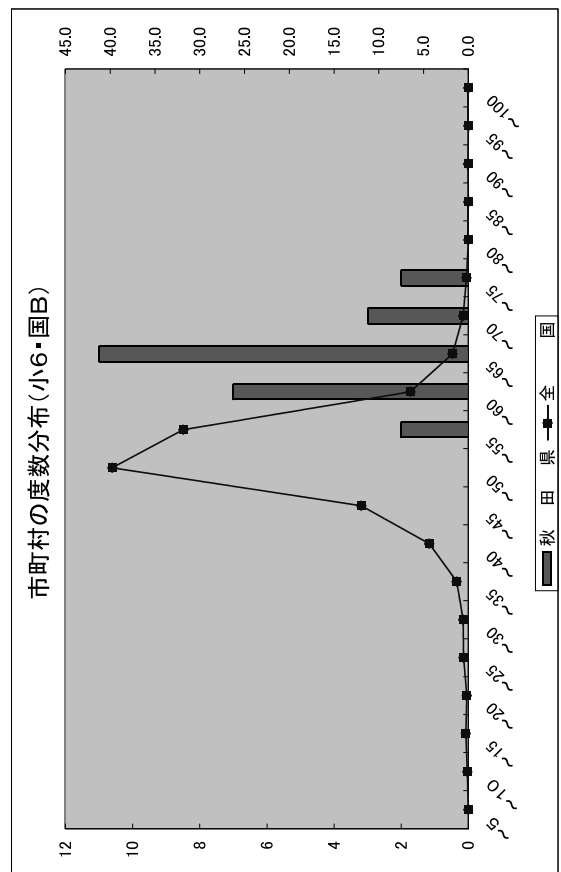
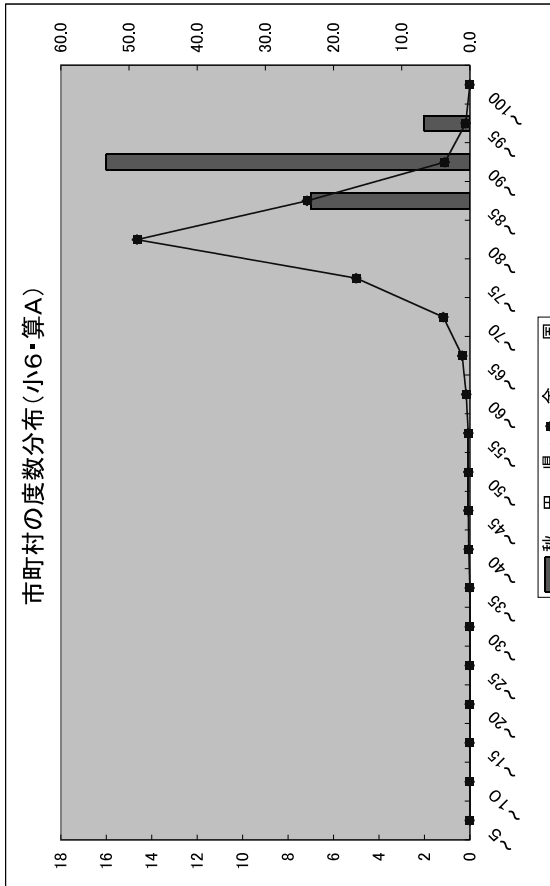
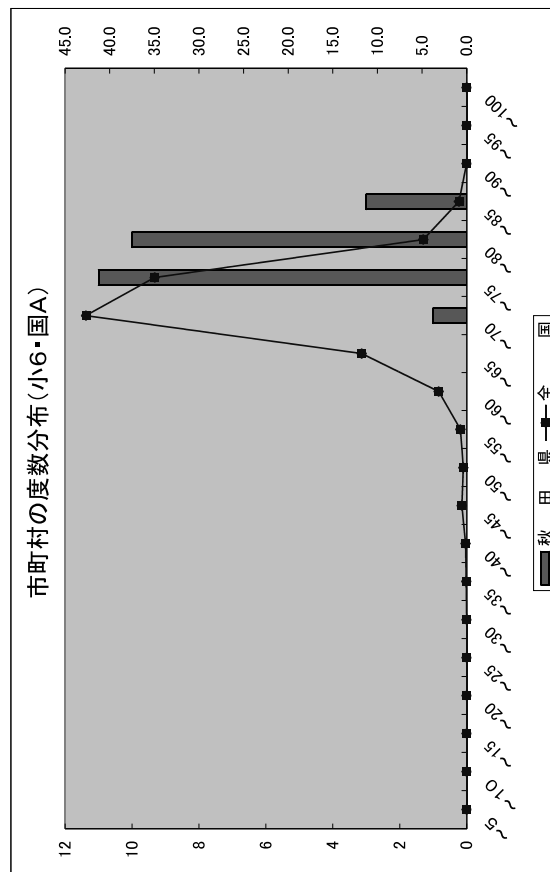
H 2 0



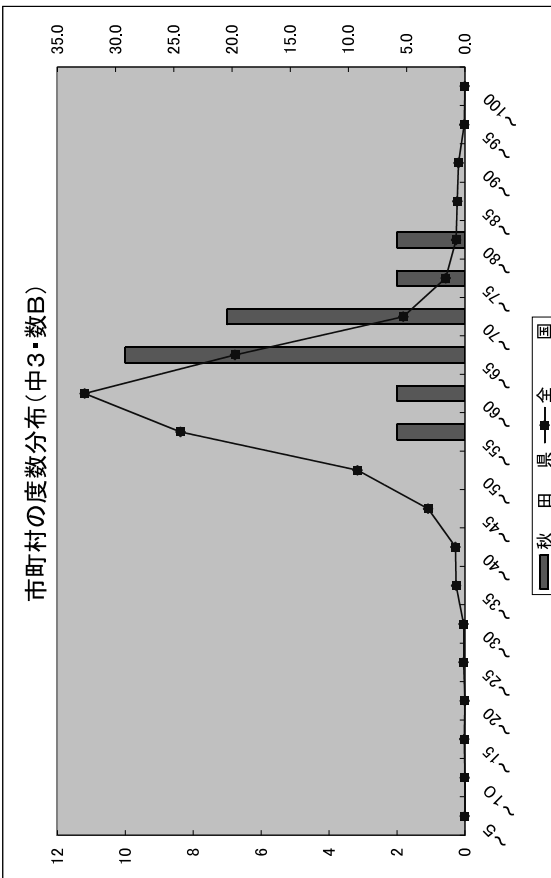
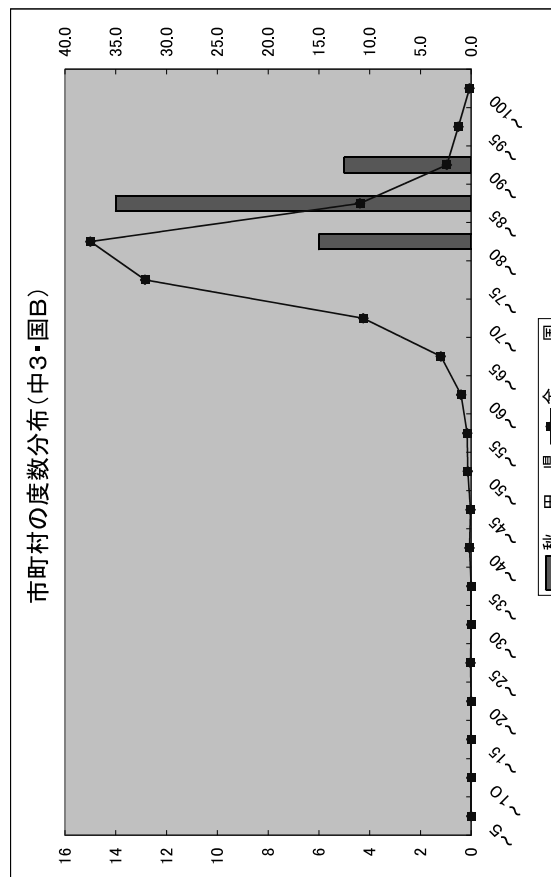
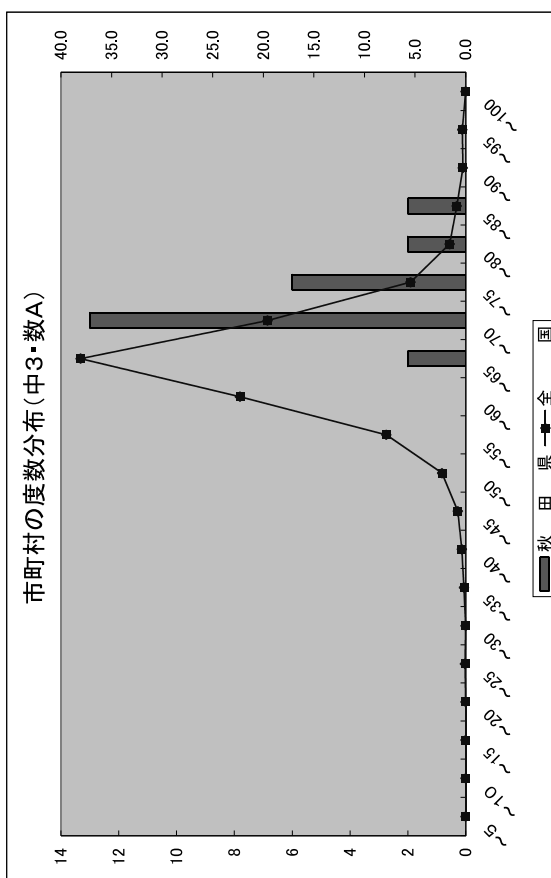
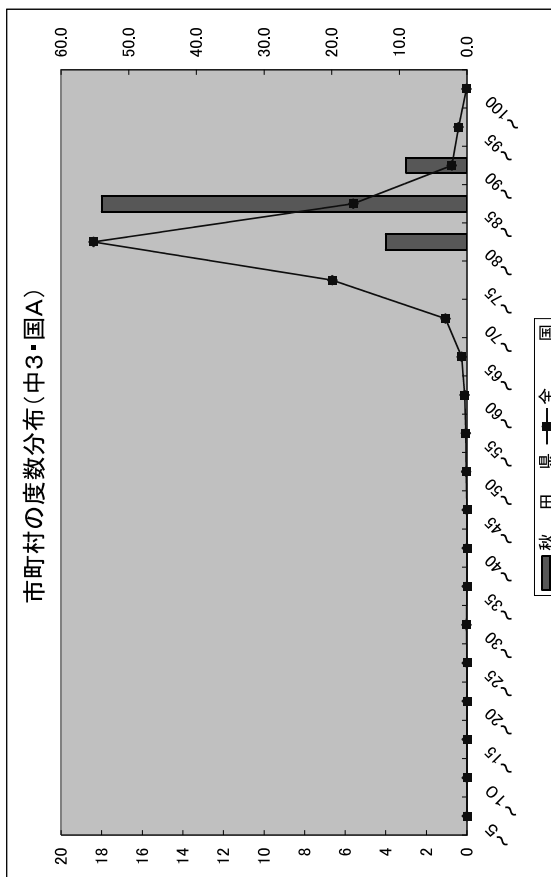
H 2 1



科目毎平均正答率市町村度数分布…小学校



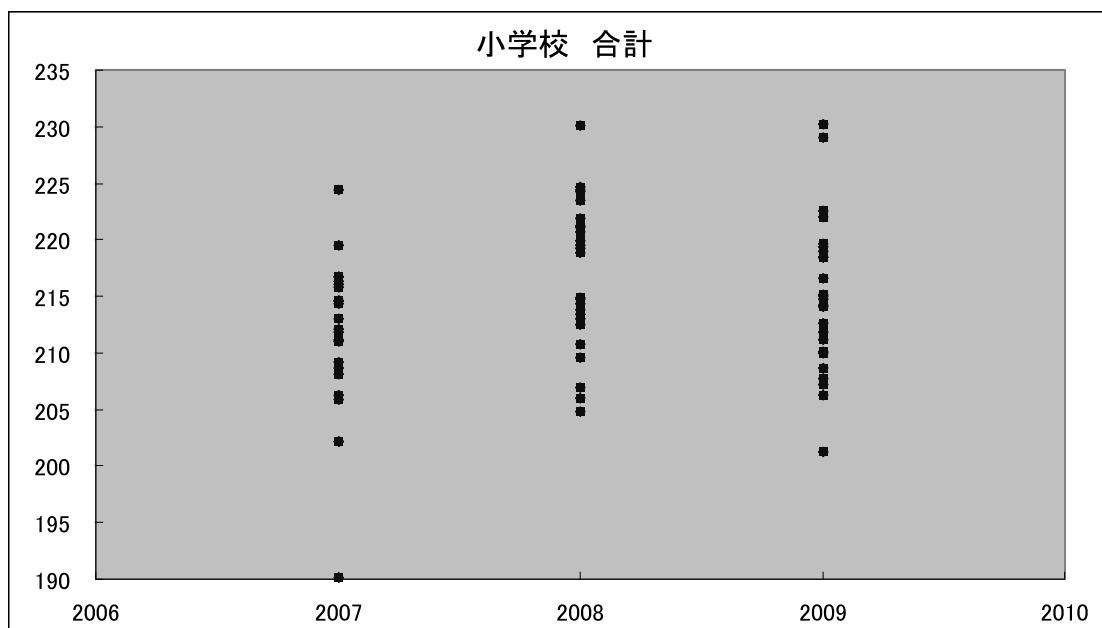
科目毎平均正答率市町村度数分布…中学校



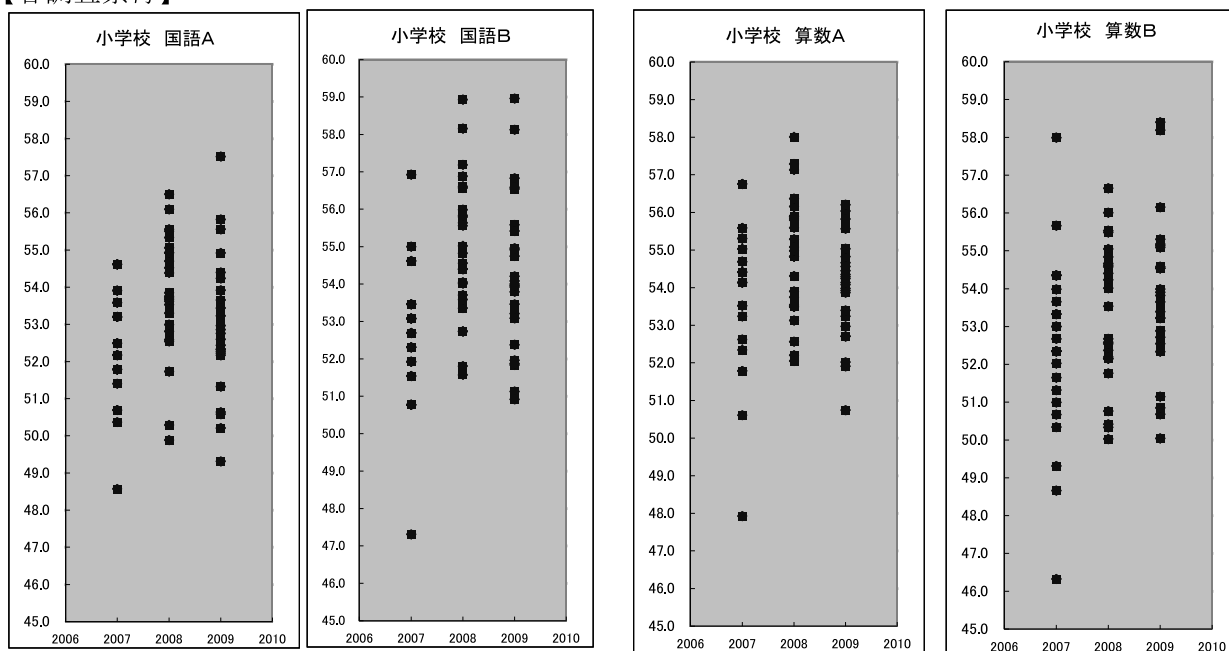
市町村の分布の推移（小学校）

— 偏差値による経年比較 —

【合計】



【各調査票毎】

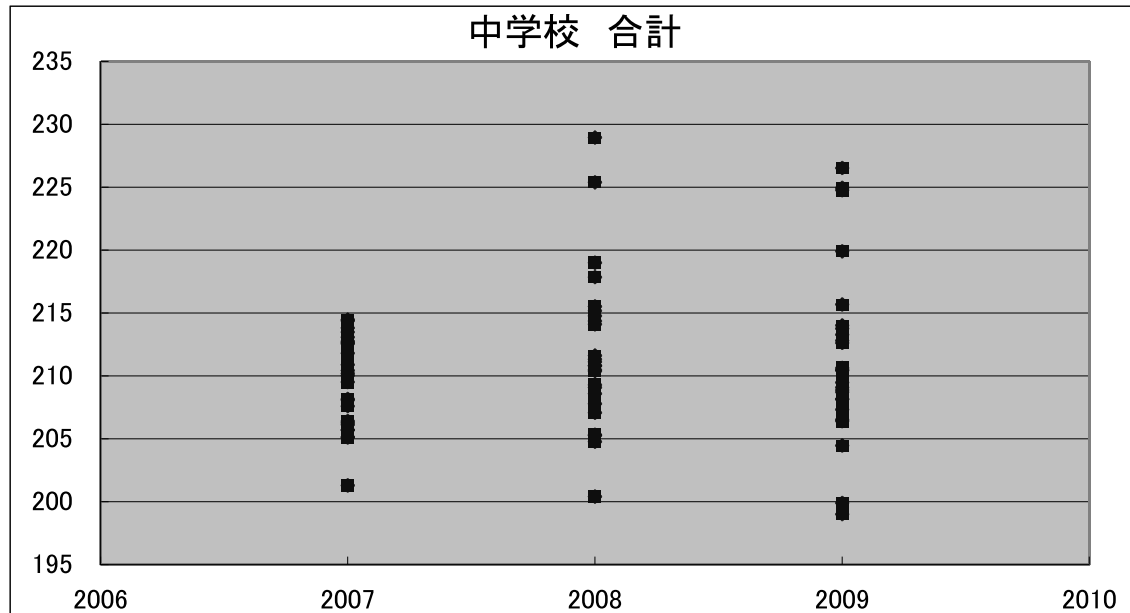


小学校	国語A			国語B			算数A			算数B			合計		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
最大値	54.6	56.5	57.5	56.9	58.9	59.0	56.8	58.0	56.2	58.0	56.7	58.4	224.4	230.1	230.2
最小値	48.6	49.9	49.3	47.3	51.6	50.9	47.9	52.1	50.7	46.3	50.0	50.0	190.1	204.9	201.2
範囲	6.0	6.6	8.2	9.6	7.4	8.0	8.8	6.0	5.5	11.7	6.6	8.4	34.2	25.2	29.0
標準偏差	1.47	1.63	1.85	1.79	1.86	2.08	1.95	1.59	1.32	2.34	1.88	2.06	6.77	6.49	6.82

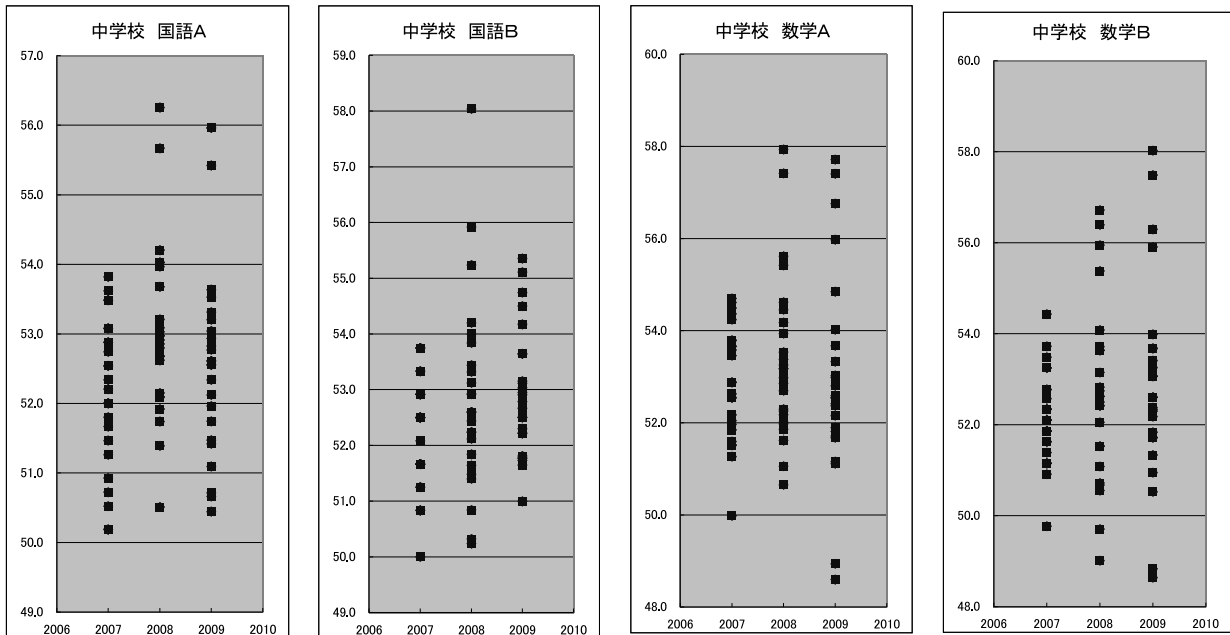
市町村の分布の推移（中学校）

— 偏差値による経年比較 —

【合計】

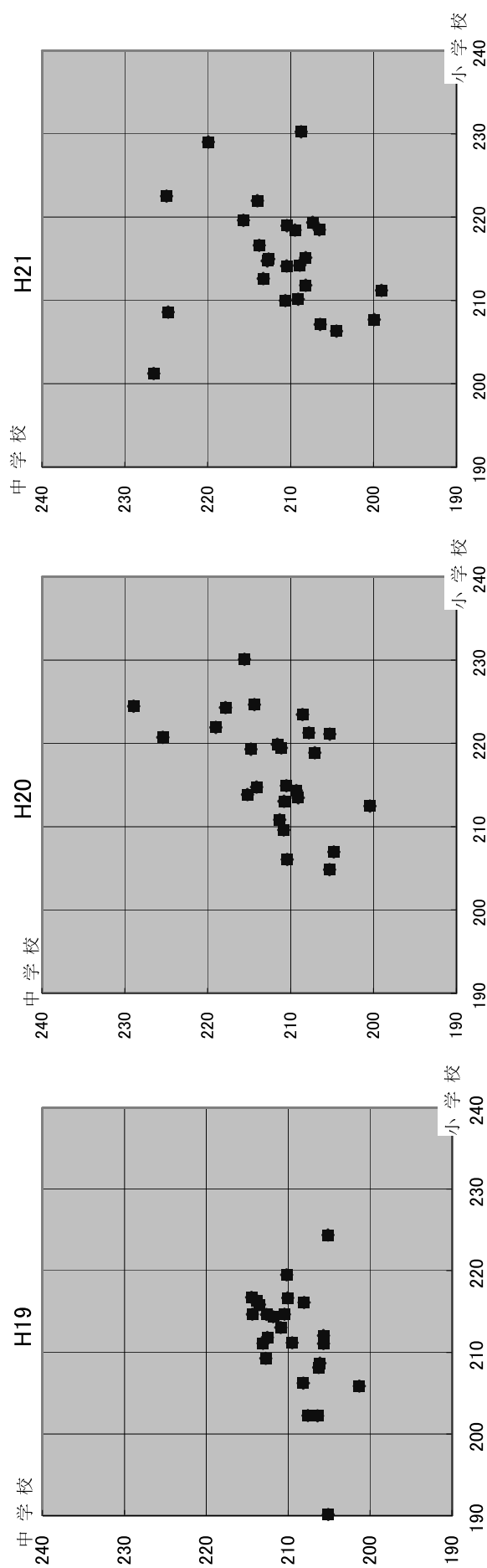


【各調査票毎】



中学校	国語A			国語B			算数A			算数B			合 計		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
最大値	53.8	56.3	56.0	53.8	58.0	55.4	54.7	57.9	57.7	54.4	56.7	58.0	214.5	228.9	226.5
最小値	50.2	50.5	50.4	50.0	50.2	51.0	50.0	50.7	48.6	49.8	49.0	48.6	201.3	200.4	199.0
範 囲	3.6	5.7	5.5	3.8	7.8	4.4	4.7	7.3	9.1	4.7	7.7	9.4	13.2	28.5	27.5
標準偏差	1.07	1.24	1.47	1.00	1.73	1.15	1.23	1.79	2.24	1.01	1.97	2.26	3.58	6.28	6.91

— 比較年経るによ り差値に —



- ・直線 $y=x$ 上に点がある市町村は、小学校、中学校共に相対的に同じような位置にあると解釈することができる。
- ・直線 $y=x$ よりも上部に点がある市町村ほど、小学校のときよりも中学校で伸びていると解釈することができる。
- ・反対に、下部に点がある市町村ほど、中学校になってからの低下が大きいことになる。

平成 2 1 年度

学力向上推進事業 実践事例集

発 行 月：平成 2 2 年 3 月

編集・発行：秋田県教育庁義務教育課

住 所：秋田市山王三丁目一番一号

T E L：018-860-5144

F A X：018-860-5862

